夕刊 滿洲日報 五月二十九日

學良氏通電を發し中央擁護を聲明
大勢蔣介石氏に有利なりと見て東北四省の態度決定

【奉天特電二十九日發】過般來の蔣介石、馮玉祥兩氏間の軋轢に關し東北四省としては、未だ何等表面的の意思表示をしなかつたが、大勢は蔣介石氏に有利との見極めがついたので、廿八日附を以て左の如き中央擁護の通電を張學良、張作相、萬福麟氏等以下七十餘名の連名の下に中央黨部、國民政府蔣主席、國軍編遣委員會等宛に發した

凡そ國家の官吏たる者は中央に服從し政端の補弼に挺るべきであるに劉郁芳等の通電を見るに蔣主席を誹謗し黨國に對し背反行爲を瞭にして居る、諸政は公議に決すべきであるから若し主張あらば直言するも可なりであるに輕々に戰端を醸し、鐵道を破壞して交通を遮斷し、又は糧秣を抑留して人民を苦しむ、其の罪實に大である、今や赤化の跳梁横溢の際、學良等黨國に忠を竭し中央擁護の志人後に落ちるものでない

馮玉祥氏の下野で戰亂の危機を脱せん
孫良誠氏のみを元兇として南京政府で處罰か

【上海二十八日發電】韓復榘、石友三氏を寢返らせ大勢を轉換せしめた殊勳者は何應欽氏である、即ち馮軍の結束固く蔣介石側不利の形勢の下に南京で最高軍事會議が開かれた時急遽漢口から歸京した何應欽氏は蔣介石氏其の他の悲觀説に對し必ず韓復榘、石友三氏を寢返らすべきを誓ひ爾來全力を擧げて買收に努め遂に成功し馮玉祥氏の手足をもぎ大勢を急轉せしめたものである、而して馮玉祥氏下野せば中央側は部下軍隊を罰せず時局を平和的に解決すべく廣西派も既に弱つて居り戰亂の危機に直面した支那は暫く小康狀態となるものと見られてゐる、なほ廣東政府は馮軍將士の中央に復歸する者は之を許すが孫良誠氏のみは元兇として査辦に附する模樣である

中央に歸順した韓復榘氏の魂膽

【上海大矢特派員廿八日發】韓復榘氏の中央歸順經過は最も信ずべき筋よりの消息なるに鑑みて蔣馮間の戰爭は實現すまいと信ぜられるが韓氏の中央歸順には次の如き魂膽があるとみられる

南方に於ける廣西派の發展はかゞしからず馮氏に積極的に戰を挑むも勝味なき結果南京から韓復榘拘込みにかゝつてゐるのを利用し韓氏をしてひと先づ中央に歸順せしめ其の間には河南の麥の收穫も終るのでそれをもつて西北へ退却せんとする計畫即ち韓氏をして西北軍の退却を掩護せしむる策略ではないか、なほ韓氏は從來より河南政府主席ではあり且つ今回の歸順の功により河南が韓氏の手に殘ることは確定的で河南を韓氏の手に殘して置けば河南は依然馮の地盤として殘るわけだ、韓氏の中央歸順といふもこれをもつて直に韓氏が馮氏に寢返つたとみるのは早計であるのみならず實は却つて馮氏の窮餘の一策に過ぎぬかも知れないとみられる

韓氏の態度 馮派に打擊
舊同志に通電

【漢口廿八日發電】中央服從の態度を闡明した韓復榘氏は李興中氏の第二十師一萬五千を率ひ武勝關に向け移動してゐる、韓復榘氏は舊同志に電報し

自分は馮司令に對し全然弓を引く意志はないが國內戰爭を欲せず且つ河南省首席として再び戰禍を嘗めさせ度くないので和平的解決を願つて中央に歸順するのである、諸氏が自分の衷情を諒察さるゝことを望むと云つて來た、韓氏の此の態度は曾て結束を誇つた馮派に對し重大なる打擊で馮氏は無茶な態度に出でず結局下野外遊して將來に備へる途を執るであらうと

柳條溝事件 圓滿に解決す
支那側見舞金を贈る

【奉天特電二十九日發】既報去る廿六日午後四時頃柳條溝の我守備隊分遣所附近に於て支那人群衆の爲めに小山軍曹及び朝鮮人李參玉が負傷を受けた事件に就いては奉天總領事館より嚴重抗議中のところ廿八日金公安局長から陳謝と共に小山軍曹及び李に對しそれぞれ見舞金を差出すことゝなつて圓滿に解決した

滿蒙鐵道驛傳競爭

貨車利用に成功し紅班有利に展開
白班の第三走者神藏選手は今夕ポクラに到着

怪電報問題を解決して紅白兩班の第二、第三走者は孰れも所定のコースを走つてゐる、即ち白班の神藏選手は廿八日午後七時十五分哈爾賓發ポクラニチナヤに向ひ廿九日午後五時半同地着、三時間を經て八時半發の西行列車で直に哈爾賓に引返す豫定である、此の邊ダイヤは紅班よりも好都合に行きさうな形勢にある、又紅班の第二走者木村選手は廿八日午後八時廿分敦化發の貨物列車を利用して吉林に引返し廿九日午前八時吉林發吉海線に入つた、即ち此の行程は先日白班が不幸にして成功しなかつたものが紅班によつて達成されたのであつて從來の經過から見て動もすれば不利と想像された紅班の行程の上に極めて有利な展開を與へたので兩班の競爭はいよいよ接戰狀態となつた

木村選手 輝吉線入り

【吉林特電二十九日發】紅班第二走者木村選手は二十八日午後八時二十分敦化發貨物列車に便乘して引返し今朝六時廿六分吉林歸着、直に吉林總站に到り八時發列車にて朝陽鎭に向つたが、氣遣はれた木村選手の貨物列車が運轉したゝめ木村選手は豫定のダイヤより一日を短縮し得たと語つてゐた

秋山、加藤兩選手歸社

紅班の第一走者として去る十九日大連發以來滿鐵本線、四洮、洮昂、齊克、呼海、東支の各線、此の實走行程約三千哩を十日間にわたり走破した秋山選手は、白班の第二走者加藤選手と共に廿九日午前八時廿分大連驛着歸社した、秋山選手は大體經驗のあるコースであつたが加藤選手は四洮、吉長、吉敦、瀋海等初めてのコースを順序よく踏破して白班のダイヤ運行を確實ならしめた兩選手とも元氣である

きのふ中央黨部に孫文の靈柩安置
夫人等泣崩れて哀愁一入深く南京第一夜を過す

【南京二十八日發電】孫文靈柩は二十八日午後二時過ぎ中央黨部に到着大禮堂內に入り本館正面玄關…け天井は青天白日旗、菊の花輪で裝飾されてゐた廳て正面机上に安置さるゝや軍樂隊哀の曲を奏し諸員最敬禮裡に喪主孫科氏花輪を捧げ靈前に進み之を手向けた時には宋美齡、孔祥熙氏夫人等はよゝとばかりに泣き崩れ哀愁一入深きものがあつた、一同黨歌を歌ひ默禱を捧げ三鞠の禮をなした後式は終り散會したが、孫科夫妻、宋慶齡、孔祥熙夫妻、宋美齡女史等の孫文親戚

日本側 參列者の立並び

前恰も犬養、頭山兩氏以下向へる前にとゞめられた、次で宋慶齡未亡人、蔣介石氏夫人宋美齡、孫文の令孫等親族家族は向つて左に、吳稚暉、胡漢民、蔡元培、蔣介石、陳果夫、林森、于右任氏等の中央黨部要人は右側に整列して迎へた、一同最敬禮裡に二十餘名の靈柩捧持者が孫文の義兄孔祥熙氏指揮の下に靈柩を玄關から大禮堂に運んだ、大禮堂正面には等身大の故孫總理の寫眞を揭げ其の兩側には「革命未だ成功せず」「同志須らく努力せよ」の孫文の遺訓を書いた對聯を掛

遺族等

は今夜中央黨部の靈柩前にしめやかな御通夜をする、六月一日奉安祭の政府首席、各院長の連名の祭文は蔣介石氏が朗讀することゝなつた

外人參列者は日本人のみ
犬養翁の外約三十名

【南京二十八日發電】孫文靈柩移靈祭に我犬養翁はフロックコートにシルクハット、頭山翁は五つ紋附羽織袴の扮裝で宮崎滔天未亡人等婦人連は黑紋附白襟姿、隨行員二十餘名と共に孫文氏親戚の資格で列席した、此の日中央黨部大禮堂に參列したものは僅に八十餘名に過ぎず、其の內日本人が二十九名加はつた外外人は一名も參加しなかつたことは日支兩國の關係が離るべからざるを國民政府要人の胸に深く刻みつけた如くである

滿蒙鐵道驛傳競爭踏破行程

凡例 予定線 …… 紅班 —— 白班 ——

驛傳競爭成績

十九日午前八時十分開始
廿九日午前八時十分現在

紅班 踏破鐵道 二一一七・九哩 (實走行程三一四二・三哩)

白班 踏破鐵道 一六六五・一哩 (實走行程二五四八・九哩)

鐵道改善の材料を供給せん
米國が支那への投資 結局一億ドル程度を實現か

【東京二十九日發電】支那鐵道の全國的統一及び根本的改善のため鐵道部長孫科氏の委囑を受けて過般來支せる米國各鐵道會社代表オーダー博士は目下多數の專門技師を指揮して鋭意鐵道現狀調查中であるが最初アメリカは鐵道投資を一手に引受けんとし米貨五億弗までの出資を應諾してゐたが調查の結果甚だ理想に遠きものたること判明し五億弗の出資は到底覺束なく一億弗程度の改善材料の供給を實現するだらうと見られてゐる

支那代表に抗議せん
カラハン氏から

【哈爾賓廿八日發電】露西亞總領事館は本日平常通り執務してゐるがメリニコフ總領事は[illegible]政府に打電し請訓中である、なほモスクワに於てはカラハン氏からモスクワ駐在支那代表に抗議するはずであると

田中大使近く歸任す
奉天通過は四日頃

日露漁業條約改訂に關する打合せ其他の用務を帶びて久しく滯京中であつた田中駐露大使は島田同大使館附書記官帶同、六月一日午後九時廿五分東京發列車で朝鮮經由直行歸任する旨滿鐵に通知があつたが多分一行の奉天着は四日午後二時となるべく目下例の邦人の自由出漁問題等が紛糾してゐる際ではあり同大使の歸任は可成り注目されてゐる

拓務省案可決さる
けふの樞府本會議にて

【東京二十九日發電】樞密院定例本會議は二十九日午前十時宮中東溜間に開會、去る二十五日政府が再諮詢の手續を取り天皇陛下行幸前樞府に御諮詢になつた左記拓務省官制並に之に伴ふ諸案件十一件を上程した

一、拓務省官制々定に關する件(去る二十三日第三回精査委員會で政府原案の拓殖省の名稱を拓務省に改め實施期六月一日の豫定を同十日に延期し又朝鮮部を特設し朝鮮總督の上奏權を拓務大臣を經ず直接總理に依り上奏する等修正を加へたるもの)
一、各省官制通則中改正の件
第一條 拓務省追加
一、奏任文官特別任用令中改正の件(拓務省理事官追加)
一、拓務省理事官特別任用に關する件
一、臺灣總督府官制中改正の件
一、關東廳官制中改正の件
一、樺太廳官制中改正の件
一、南洋廳官制中改正の件
一、鐵道省官制中改正の件(滿鐵の監督權削除)

右につき金子精査委員長から去る七日第一回精査開始以來の經過並に結果につき報告あり直に審議に入り二、三顧問官から質疑あり田中首相初め政府側委員より説明をなしたる後採決に入り內田、石井兩顧問官反對したるも結局政府が再諮詢を仰いだ原案即ち金子精査委員長の報告通り修正案を承認可決し午後一時五分散會した、依つて倉富議長は此の旨直に行幸先に奉答申し上ぐべき手續きを執つた

三、今年新に特別委員會を設け調查すべき事項は、(イ)產業振興に關する國家施設、(ロ)公私經濟に於ける冗費節約、(ハ)失業難、就職難對策、(ニ)金融制度及國際貸借改善、(ホ)農村生活安定 農村經濟 の改善の五項とする
尚政務調查會を來月四日臨議承認を求むることゝした

政友政調役員と黨幹部の聯合會
きのふ本部にて開會

【東京特電二十八日發】政友會の新政策に關する調查項目を決定すべき政務調查會役員と黨幹部の聯合會は二十八日午後本部に開會協議の結果、本年度の調查會の進行方法として

一、前年度より引繼ぎたる事項即ち社會立法、思想問題、稅制整理、對支問題、救貧制度、產業立國の具體化、貴族院改革、知事公選選擧法改正、行政整理等は新設特別委員會又は各部會に調查を委託すること
二、今期議會で審議未了となつた重要諸政策も同樣右特別委員會又は各部會に調查を委託する

政府の言動に民政黨警告

【東京廿九日發電】民政黨は最近財界の動搖相當深刻なるものあるについて政府當局の不謹愼輕率なる言動が動もすれば其の原因をなすものありとし之が對策につき協議を續けてゐたが二十八日協議會の結果いよいよ六月二、三日頃大會に代るべき兩院議員と評議員の聯合會か又は議員總會を開いて黨として正式態度を決定することゝなつた、當日は濱口總裁起つて金解禁に關する所信、財界對策と政府の處置等につき詳細演説し政府に警告を發し輿論に愬へる

神鞭理事上京

神鞭滿鐵理事は來月二十日東京に於て開催される滿鐵株主總會に出席のため山本社長より一足先に二十九日出帆のばいかる丸にて上京した

萬國工業大會

【東京廿八日發電】數年來の懸案たる萬國工業大會及び動力會議は愈今秋十月廿九日より一週間に亘り帝國議會議場にて行はることゝなり目下着々準備中である、我國に萬國工業大會を開催するに至つたのは大正十三年ロンドンの動力會議席上加茂正雄博士が説明し努めたもので既に各國より參加決定の專門家工業家は四百二十餘名に上り內地の參加者を合せば二千名に上る見込みである、尚總裁に秩父宮殿下を奉戴し首相を名譽會長とする筈である

人事

▲森岡正平氏(芝罘領事) 廿九日得利號にて來連直にばいかる丸にて上京
▲神鞭常孝氏(滿鐵理事) 廿九日出帆のばいかる丸にて上京
▲川上精一氏(獨立守備隊附步兵大尉) 同上
▲熊本縣立宇土中學生一行八十三名 同上歸校
▲宮崎縣教育會第四回鮮滿地方視察團一行二十四名 同上
▲福岡市西南學院高等部生一行十八名 同上
▲山下汽船東光丸船員一行二十一名 同上歸任

大觀小觀

◇馮派がへこたれたのを見て安心して閻責の通電を出した奉天政團は、さすがに頭が好い。
◇遠方の火災に糶まれもせぬ消防隊を出して、飛火が近くに燃え移らうとしてゐるのを知らぬらしい。
◇スポーツでは日支親善が出來てゐる。驛傳競爭も支那側の大歡迎を受けてゐる。あまり排日々々の聲に固くならぬことだ。
◇拓務省漸く生まる。事務次官だけ決まつて、大臣が出來ない。乃ち首相兼攝とある。
◇三億元の奉票大受渡しの翌日暴騰と來る。檢擧すれば相場が昂るのだから仕事がしよい。

歌集 木蓮
長尾昌一

君おもふさみしきことを旅に來て胸にも病むかかなしかぎりに
命數を靜かに花の散る夕よ生命終れば終れ今今
吾れ知れる總ての世界未知の世界任しまつらむ人はあらずや
宿世てふ因根果てふかくなるもかかるさだめに生れたる吾か
現實の歎かはしさに追憶の頁くるはいかにさみしき
やまず雪小路も大路もうづむ夜さ君忘れしやかの日かの頃

天氣豫報

三十日(晴) 南西の風 一時曇り
日出四時卅一分 日沒七時十一分
滿潮午前二時 午後二時三十分
干潮午前八時 午後九時三十五分

聖上陛下御恙なく けさ八丈島御上陸

艦載水雷艇に召れて

【八丈島神港二十九日發電】御召艦那智は廿九日八時神港着、那智長門、五十鈴の三艦から二十一發の皇禮砲を發射し次で那智檣頭の天皇旗は艦載水雷艇に移され、陛下には八時五十四分長門に御移乘皇禮砲轟く中を長門から艦載水雷艇にて九時二十分御恙なく御上陸あらせられた

元村近村四ケ村小學生約六百名が午前四時ごろ元村に參集、青年團員七百名も同じく奉迎する筈で三原山は二十九日全部登山者をとどめ全山登山道の大掃除と共に消毒を嚴重に行つた本日の天候の模樣では元村に御上陸にならう、此の場合は午前七時御召艦長門は元村沖着、八時五分御乘艇同二十分御上陸、四里餘りの嶮岨な三原山道を御踏破午後五時波浮の港御出港關西に向はせられる御豫定である

愈よ明日は 大島へ

元村御上陸か

【大島元村廿九日發電】卅日陛下大島御上陸地は當日午前二時決定御召艦より大島支廳に無電で通達されることになつてゐるが、御上陸地點が豫定通り元村なる場合は

天候快晴に復し 歡喜、全島に漲る

【八丈島八根廿九日發電】昨夜風浪高きため八根港沖の那智に御假泊の天皇陛下には今朝同港より御上陸の御豫定であつたが、颱風未だ全くおさまらざるため御豫定變更午前六時御召艦は神港に廻航した、島民は雨にもかゝはらず、午前二、三時頃より八根、神港兩港海岸を埋めた、御召艦那智は長門以下を從へ午前八時神港に入港したが此の時風も漸次靜かになり波のうねりもおさまり快晴となり島民の潮の如き萬歳の聲が沿岸に溢れ亘つた、午前八時十分天皇陛下には艦上に伺候した平塚府知事、和田第一師團長等に謁を賜つた

獨立守備隊 新入營兵

明朝着連する

本年度滿洲獨立守備隊に編入された第一、二、十四師各團の新入營兵七百六十六名は三十日午前九時入港の海福丸にて來連するが滿鐵では同日午後四時半から協和會館に將校以下全員を招待して歡迎會を催す可く當日は活動寫眞、少女舞踊等各種の餘興のほか辨當茶菓の饗應をなし繪葉書等を贈つて大任を帶びた新入營兵の遠來の勞を大に犒ふと

兒童四十名 死傷す

【眞岡二十九日發電】惠須取廳附近の山火事次第に猛烈となり二十八日朝に亘り全町に危機迫り小學校燒失し生徒四十名の死傷者を出だすに至つた

心臟の音を 東京から放送

慶大の久保博士が

我ラヂオ界では最初の企て

【東京特電二十九日發】東京放送局では家庭講座として毎週一回生理學を放送してゐたが、今回右講座擔任の慶大教授加藤基一博士が米國に赴いたので慶大助教授久保守德博士がその後を擔任することゝなつた、同博士は

來月四日

火曜日午後一時四十分より心臟の音を放送することゝなつた、此の放送には米國ウエスターン會社の電氣聽診器を使用するが、大體ステーションの構成器と同樣の原理で心臟の原音を忠實に出すため非常に精徴な構造を有するマイクロホンによつて心音が電氣の波に變化しこれを數倍に擴大するものであつて當日の放送は成人の心音と

マラソン

選手の心音及び兩人を驅らせた後の心音、兒童と大人の心音、兎の心音特に兎の神經に刺戟を與へた後の心音で放送局最初の企であるだけ多大の期待を以て迎へられてゐる

人妻の家出

市內財神街五番地山本神勵方竹下丈作妻キン（三九）は二十八日午後八時ごろ夫婦喧嘩をして家出し間もなく何處からか電話を掛け「永々お世話になりました是でお別れ致します」と夫に告げた儘所在不明となつたので家人は小崗子署に搜索方を願出た

實滿野球 爭霸戰前記

三選手を加へたる 實業團の新陣容

守備の堅實を恃む滿俱も 油斷をゆるさぬ

今年の滿俱の多士濟々であるのに對し實業團の陣營を見るに洵に一種の寂しさを感ぜざるを得ない、今年新に加はつた選手は鮮鐵から來た木下投手、釜山商業出の渡邊捕手、滿俱投手團の一人藤枝君と共に松山高商の二壘手として聞えた梶下選手、京阪商業からきた橘本選手で、木下選手が岩瀨投手を輔けて

善投する

ことは勿論であるが岩瀨君がプレートに立つ場合には右翼に入るであらう、渡邊捕手は中等學校を出て間もないことであり、古つはもの達の多い實業の連中に伍して捕手の重任が勤まるかどうかといふ點が實業晶負の間に相當懸念されてゐたが先輩の岩瀨君その他の熱心な指導激勵と、自身の不撓不屈の眞劍な練習の結果昨今では岩瀨、木下兩投手の剛球を輕く捕球するやうになつた、二壘投球モーションと一、三壘走者に對する牽制が

更に進境

を示せば二段の努力によつて中學選手級から脫却することが出來るであらう、唯一つ一般から案ぜられてゐるのはそしてエキサイトする大試合に臨んで少壯選手にありがちな、極度の昂奮狀態に伴ふ心理的動搖より來る焦燥に災ひされぬこと、即ち人に醉うてあがらぬやうな精神的の落つきが必要だといふので、先輩も當人も專らこの點に留意してゐるので、試合當日は案外の

出來榮え

を示すかも知れない、次ぎは安藤二壘手が他の壘に廻つた場合、當然二壘に入るべき梶下選手は倭軀短少ではあるが左利きで敏捷隼の如く、強肩ではないが守備は頗る好い方である、以上の三選手の打擊は特に異色のある方ではないが、渡邊、木下兩選手は長打、梶下選手は短打で何れも好い當りをしてゐる、宮武、安藤、高橋、福山、中島等

強打者に

交つて相當の成績を示せば守備の堅實を恃む滿俱にとつても決して油斷の出來ぬ相手であらうと思はれる、以上新入選手を交へた實業守備の位置を豫想すれば大體左の如くである

瀨邊田勝藤下橋武山島下藤
岩渡平安安梶高宮福中木
投捕一二三遊左中右

活躍を期待の 新加入選手

實業（左）上＝梶下二壘手、同下＝渡邊捕手（右）木下投手

軌道に石を積んで 列車の顚覆を圖る

營口行の旅客列車危く難を免る きのふ奉天柳條溝で

【奉天特電二十八日發】二十八日午後四時五十分奉天驛着の營口行第二十二號旅客列車が奉天柳條溝守備隊分遣所の附近に差懸つた際線路上に直徑約三十サンチもある岩石十數箇も積重ねあるを同列車の看守が發見し、直に列車を停車し該岩石を全部取退けて發車したので漸く顚覆を免れたが同地點はこれまで度々斯かる事件があり、しかもそれは子供のいたづらとも思はれず、同日は張學良氏の誕生祝の準備のため支那側も大警戒してゐるにも拘らず、これを默過してゐるとは全く支那側で故意にしたものか、それとも官憲の煽動によるものであるとしか思はれぬので日本側關係者も非常に緊張して犯人の搜査につとめてゐるが一方總領事館からも嚴重抗議を申込む筈である

中華青年會蹴球部員ら 十二名けふ起訴

邦人四名を毆打、重傷を負せた

去る四月二十八日小崗子寶來街二番地に於て市內若狹町蠟瀨牛次外三名を毆打重傷を負はせた傷害犯人中華青年會蹴球部員張覇京外十一名は大連檢察局池內檢察官係で取調中であつたが、罪狀明白となり二十九日起訴され、六月六日公判に附せられることゝなつた

男は女のどこに

心を惹かれるか？各方面の名士が『あゝ美しいな！』と感じた印象を婦人俱樂部六月號に發表！

馬に蹴られて 支那人死す

二十八日午前九時ごろ香爐礁三區二二四劉作禮方門前で同家馬車夫左遠平（二七）が馬を引き放して居た處突然何物かに驚いた馬は狂奔し（？）を歩いてゐた同四區四一劉在香（三）は蹴倒され腦震盪を起して人事不省に陷つたので、直に同壽病院に擔ぎ込み醫師の手當を受けたが間も無く死亡した、加害者劉は業務過失で目下沙河口署に於いて取調中

中央公園內の辻强盜は 僅か十九の支那人

ゆふべ虎溪橋附近に潛伏中を 發見、格鬪のうへ逮捕

夜の大連を脅かした辻强盜搜査のため所轄大連署では連夜署員を督勵し中央公園一帶を警戒中、廿八日午後十一時ごろ公園內虎溪橋附近の木蔭に潛伏してゐる怪しげな男を張込み中の佐々木巡査が發見誰何すると件の怪漢は脫兎の如く逃走したので同巡査は警笛をならして追跡

應援の

莊司刑事、今谷巡査、張巡捕と共に大格鬪のうへ逮捕し、本署に引致嚴重取調べると、右は山東生れ當時若狹町車夫合宿所內無職柳長勝（一九）といひ、懷中に刃渡り一尺餘の支那刀を所持してをり、去る二十二日中央公園內で田部豐次郎を脅迫三十五錢を强奪したのを手初めに連夜附近に出沒し宮下某、松山某、小田某を襲ひ强盜を働いた旨を自白した餘罪多數の見込で引續き取調中

僞醫者遂に捕る

ふたりとも浪速町で

醫師を裝ふて良家を訪れ得態の知れぬ藥を押賣して暴利を貪る怪漢が市內を徘徊する事を大連署で探知搜索中、廿八日午後一時頃市內浪速町二丁目先を通行中の二人の男を擧動不審と睨み同行取調べの結果、右は市內伊勢町山岡旅館止宿原籍長崎市大浦町三二山下久三郎（？）同市松山町七四河野慶次郎（？）と云ひ先月初め頃市內乃木町尾辻淸方で高貴藥なりと稱して怪しげな藥を廿五圓で押賣りしたのを初め外八ケ所に於て同樣の不正行爲を働いた事を自白尙餘罪ある見込みで引續き取調中

播磨町警官派出所

新設の市內播磨町（電車交叉點）警官派出所は六月一日から事務を開始する

鮮人を毆打して 肥料車を奪ふ

犯人は支那巡警と判明 奉天の排日愈よ甚し

【奉天特電二十九日發】最近支那官民の對日侮の觀念は鮮人に對する迫害となり被害頗々たるものがあるが廿八日瀋陽原農場內の鮮農崔成萬は城內に肥料を購入に行つた際西北門外に差掛ると彼が鮮人なるが爲めに邊に居た巡警に荷車の上から引降ろされ袋叩きにされた、崔は命からぐに逃げ歸つたが明鮮の鮮人が急を聞いて駈けつけた時には既に遲く加害者は勿論肥料積の荷車も跡も形もなく支那警察も相手にしない、此の爲在奉鮮人の神經は昨今非常に苛立つてゐる

けふ華北運動會 盛大に擧行さる

北陵新グラウンドにおいて わが學生選手ら招待

【奉天特電二十九日發】參加選手二千名その規模に於ても前例なき第十四次華北運動會は時恰も孫文移柩祭に當るので張學良氏も開催を躊躇してゐたところ、二十八日午後三時南京政府より差支へなしとの電報に接したので六月一日を休むことにして二十九日朝八時より北陵新運動場にて擧行に決した

孫總理

先づ靑天白日旗の掲揚、肖像への三鞠躬禮、遺囑の朗讀、三分間の默禱など全然國民黨式の儀式があり八時三十分より男子の百米突競走より競技開始された、午前十一時となるや張學良會長は夫人以下多數を同伴臨場、始終熱心に競技に見入り時々夫人と何やら私語し愉快そうであつた、今回の第十四次華北運動會は民國十年奉天で行はれたほか、多く北平、天津、保定、大原、開封、濟南に於て開催され

奉天と

してこれが第二回目である、日本側よりは岡部平太氏等張學良氏の招待で各專門學校學生選手團を引率して參觀した

◇…奉天松島町の神木は廿五日愈撤去したが、滿鐵では祟りを恐れる支那人夫を督勵して地下五尺ほど掘り下げたところ二百餘發の小銃彈が飛び出して二度ビツクリ、該小銃彈は日露戰役當時露兵の隱匿したものだと

大連映畫界の 急・行・展・望（上）

立花高四郎

門司で抱へ込むだ滿日の一束、洋上平穩のあまりに耽讀したへ但映畫關係ばかり）耽讀するに堪える程左樣に映畫方面の記事が多いのに驚いた譯だ、貴紙に對して甚だ失禮な申分ではあるが、正直に申上げるとさうなのである。其折將に大連映畫館は改造期に達して居る「大日活」並のものがドシ〳〵出て來てよい樣な記事があつたと思ふ、それで大連着即夜に市內各館を大急ぎ、最大急行で廻つて見たのである。疾走中の列車の窓から驛名を讀むだ位しか、大連映畫界に就いての知識はない。けれど私の眼に映つた印象を無秩序に書きつけるとかうである

×

映畫館の多くが、最初からその目的、映畫劇場として建てられたかどうか、お話によるとあながちさうでない、つまり改造して映畫館にしたのがあるさうで變造映畫館と云ふ感じは全く如實に見せられた、して見ると改造期に達して居る所の騷ぎでない、達し過ぎて居る、經營難と云ふ聲もあるとかで、容易なことでないに相違ないが、その間題に觸れずに考へると、何と云つても達し過ぎて居る。それよりも大連市民諸君――ファン諸君はよく我慢して居る、知識階級の方々が應接間を奇麗にして御夫婦で蓄音機にきゝ惚ることはあつても、常設館へ行く氣にはなれないと言ふが、私は成程アノ樣子では御尤も至極である映畫興行の不振（もしありとするならば）は當業者諸君が求めてやつて居ることであつて、消極的態度の結果と見なければならぬ、千客萬來の設備を盡してそして尙且不振なればそれは眞の不振であらうが、來られない樣な仕打をして置いて、不景氣をかこつのは考へ直す必要がある。映畫館は私的に考へたら金儲けをする場所かも知れぬが、一面社會教育方面から考へたら文化學院でもある、こと改めて固くするにも及ばぬが、映畫館の使命を少しは考へてもよい。

第六期決算公告

（昭和四年參月參拾壹日現在）

貸借對照表

負債之部	
株金	10,000,000.00
法定積立金	[illegible]
社員退職手當基金	[illegible]
保證預り金	[illegible]
仕拂手形	[illegible]
借入金	[illegible]
未拂金	[illegible]
假受金	[illegible]
後拂納金	[illegible]
社員貯金	[illegible]
他店借	[illegible]
荷主預り金	[illegible]
取立代金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

資產之部	
拂込未濟株金	[illegible]
土地	[illegible]
建物	[illegible]
船舶	[illegible]
牛馬	[illegible]
什器	[illegible]
有價證券	[illegible]
營業權買收金	[illegible]
保證預ケ金	[illegible]
未收金	[illegible]
假出金	[illegible]
受取手形	[illegible]
荷爲替付手形	[illegible]
貸金	[illegible]
保證金代用證券	[illegible]
他店貸	[illegible]
荷掛金	[illegible]
得意立替金	[illegible]
備品	[illegible]
貯藏品	[illegible]
銀行預金	[illegible]
振替貯金	[illegible]
現金有高	[illegible]
合計	[illegible]

右ノ通リニ候也
昭和四年五月
國際運輸株式會社

平安異香(3)

葉・多默太郎作
中一彌畫

非常線(三)

栖倉右京太夫様の御邸を、小一丁の目前にして俄に周章てだした彌陀六、——こいつはいけねエ。一體おつうちやんはどんなつもりでゐるんだらう。このまゝ栖倉様へ擔ぎ込まれると事は忽ち露見と來らあ。おつうちやんはもとの牢へ逆戻り、俺は御主のお手かけの女を誘拐したてんで首が飛ぶ——

「おつと待ちな、待つてくれ」思はず叫んだ彌陀六。

「へえ? どうしました?」歩きながら振向く輿丁。

「お前達は一體何處へ行つてるんだ」

「何處へつて、それそこの栖倉様へ、それがどうかしましたかい?」

「うん、なに、違はあ。栖倉、栖倉様ぢやねえや。す、すみ、すみよし様だ。住吉様へ御參詣だ」

彌陀六は、一生懸命、汗をかき〳〵叫んだものだ。輿丁はとぼけてゐる。

「ヘエー、住吉様? さうですかい、そいつは飛んだ聞き違エだ。お客様、栖倉様でなくて住吉様へ御參詣なんですか? これから」

「あい、さうでござんす」輿の中からおつねの地聲を殺した艶な聲だつた。

「あたしや住吉様へ詣でるつもりでござんすよ」

「しつかりしろよ、兄い」

「うん、だが相模さんは確に栖倉様へ送るんだと云つたやうだつたがなあ」

輿丁は笑つてぐるりと向を變へた。

「御苦勞だな」

彌陀六はすたこら輿について往く。芋虫のやうな眉の奥で酒に濁つた眼が笑つてゐる。

それから濱傳ひの攝津街道、御影の濱を過ぎて住吉までは四里半。はあらう、輿が住吉明神の大鳥居の前に下された時には、陽はすつかり傾いて、山麓に湧いた夕闇が波のやうにひた〳〵と、冷たく迫つて來る時分だつた。

「うまい都合だつたね。六さん」

「うむ、うまい都合だつた」

輿丁が邸へ歸つて、この方角へ逃げたと知れて、直ぐ追手がかゝるとしても二時の間は充分かゝる。まづ〳〵これで逃げ了せたといふものだ——と思ふと、俄に女はぐつたりとなるのだつた。

俄に氣疲れが出てくた〳〵と崩れるやうに路傍の松の根に腰を下すと、その硬い松の根からも、足を下してゐる土からも、冷冷とした夜氣が身内に滲みて、腰のまはりが金のやうになつて來る。輿に乘つてゐた時からチクチク痛んでゐた胸先がキリキリと錐を揉み込むやうな苦痛になつて來る。熱い茶の一杯も飲めば助かるのだがと思ふが、それさへ叶ひさうもない場所であり時でもある。

「いまいましい唐變木だ」

無闇と、間の抜けた彌陀六の面が癪に障つて、思ふさま張飛ばしてやりたいやうな苛々した氣持になるのだが、癪にでも縋りたい場合なのでじつと我慢をしてゐるおつね。

「六さん、これからどうしたものだらう。こゝ迄逃げて來るのは來たが」

「どうするつておつうちやん、お前はどうせ京へ行くんだから、この足で直行かうぢやねエか」

「行かうぢやねエか、もいゝが、あたしや先刻から胸が痛くつて堪んないのだよ。足だつて凍えて動きやしない」

「つつ、おつうちやん、お前は二口目には敵々といふが、そんな氣の弱い事で色の怨みが晴らせるのか」

「その時にはその時の氣持になるのさ」

「怪しいもんだな。第一お前の方から御前様に首つたけだつて云ふぢやねエか。それがうるさいんで納屋へなんぞへ押籠められたつて……」

「くどいね。自棄になつた女がどんな事をするか見てゐるがいゝ。お前だつて、そんなに愚圖愚圖云ふなら世話にならないよ。さつさと何處へでも勝手に往きな」

「たにもお前、そんなに血相變へなくたつて。さあつかまんな」

云つて差向けた戸板のやうな廣い背へ、おつねが負さつて頸玉にかぢりつくと、それから二時間ばかり、物も云はず歩き續けて、大物の浦へかゝつたのが今で云ふ入時過ぎ、ふつと彌陀六が立停つたかと思ふと、

「變だぜ」と云ふ。

見ると、行手の方の樹隱れに、六ツ七ツの灯火だ。長刀らしいものも見える。捕棒も見える。何か物々しい大捕物でもあるらしい様子だつた。

映畫と演藝

淺野舞踊團大好評 今夜も開催

滿鐵社員倶樂部並に大連高等音樂院舞踊科主催滿鐵社會課後援の淺野童謠民謠舞踊大會の第一夜は二十八日午後七時半から協和會館に於て開催されたが、可愛い少女達の洗練された舞踊と巧な照明でいづれも大喝采を博した、殊に淺野ユリ子孃の舞踊は素晴らしい出來榮であつた、尚今夜も引續き開催されるが、少年少女達の情操教育に適はしい催しものとして各方面から歡迎されてゐる

梅澤昇の劍劇來る 歌舞伎座に

劍劇團梅澤昇一派が村上演藝部の招聘で六月初旬來連し歌舞伎座で開演することになつたが、演出物は澤正の出世狂言と目されたもの許りを選び國定忠治、月形半平太等を他の劍劇團の追從を許さぬ眞劍な立廻りを以て上演すると、また觀劇料も大衆本位として破天荒の料金で安く面白い芝居を見せると【寫眞は月形に扮した梅澤昇】

發聲映畫雜話(四)

矢野クニジ

トーキー製作は従來の無聲映畫の撮影方法を根底から覆へした。而も其の撮影たるや我々の豫想以上に困難で我國での最近の試作はどれもこれも殆ど失敗である。撮影には非常に鋭敏なと云ふより神經質なマイクロフオンがある爲め、雜音一切禁物で準備萬端が整ひ、俳優が所定の位置に就いたならば、サイレンス!

と先づ叫び、次に、インターロツク! と、命ずる事により俳優のアクションが初まり音響防止になつたキヤメラ、ブースの中では、モーターによつてキヤメラは音も無く廻轉を初め、俳優の動作は普通の如く一秒時十六マス位の速度で撮影されて行くのである。同時に一方レコーディングルーム内ではキヤメラの廻轉と全くシンクロナイズして大型の蠟圓盤も廻轉を初めて音響をレコードして行くのであるが、何故にフキルム、メソツドに斯く二重に音響を記錄するかの理由は後に讓るとして、マイクロフオンに依つてピツク、アツプせられた音響—臺詞は制禦されたマイクロフオン電流となり、眞空球の擴大裝置にて所要の大きさ(二十萬倍—百萬倍)に擴大せしめて撮影機内に導き、こゝに裝置せる一種特別な白熱電球を、この擴大電流によつて直接點火せしめるのである。モウこゝまで來ればシメたものであるが、この特種電球には一寸說明を要する。同くフオレー博士の苦心の發明であつて、フオーシヨン電球と命名され、適當に排氣された硝子球内にセリウム、モリブデナイト等の金屬を鍍金したフキラメントより成り、光りに對して非常に鋭敏な感度を有し、而も最も大切であるところのタイム、ラツグが非常に少く毎分三千回程の電流の脈流即ち一種の交流に對してまでも忠實にシンクロナイズして、其のフキラメントの光輝度を變化すると云ふ、一種特別な白熱電球なのである。

西郷南洲先生傳

南洲神社五十年祭奉賛會編（最新刊）
菊判クロス天金　定價壹圓五拾錢　送料二十二錢

正しき南洲傳

明治維新の鴻業は神武創業以來の大變革であつた。南洲先生曠世の雄資崇高なる人格を以て大勢の嚮ふ所を達觀し、深謀遠慮勇斷果決此の千古の大業を翼賛された偉績は萬人の景仰する所。維新史料編纂官勝田孫彌氏豐富なる史料により茲に正しき南洲傳を編述された。書中挿むに幾多人物と史蹟の寫眞を以てした。一面維新の大業を傳ふると共に偉人の眞面目を髣髴たらしむるに於て間然する所がない

◎維新の大立物・偉人南洲の姿を見よ!!

文學博士幸田露伴著　頼朝・為朝　定價貳圓　送料二十二錢
山路愛山著　勝海舟　定價壹圓五拾錢　送料二十二錢

新選名作集　新選相馬泰三集

新選 吉田絃二郎集／新選 北原白秋集／新選 前田河廣一郎集／新選 山本有三集／新選 長田幹彦集／新選 葛西善藏集／新選 藤森成吉集／新選 秋江集／新選 松本淳三集／新選 夏目漱石集／新選 森鷗外集／新選 葉山嘉樹集／新選 豐島與志雄集

改造文庫（最新刊）

社會主義の發展 堺利彥譯／マルキシズム認識論 石川準十郎譯／辯證法的唯物觀 山川均譯／哲學の貧困 山川均譯／神と國家 本荘可宗譯／エミール（上卷）内山賢次譯／エミール（下卷）内山賢次譯／國家論 廣島定吉譯／金融資本論 猪俣津南雄著／日本開化小史 田口卯吉著／日本工業史 横井時冬著／經濟學の實際知識 高橋龜吉著／リッケルト論文集 リッケルト著／女工哀史 細井和喜藏著／社會進化と婦人の地位 山川菊榮譯／中江兆民集 中江兆民著／幸德秋水集 幸德秋水著／財産起源論 荒畑寒村譯

俳諧七部集 萩原蘿月校訂／奥の細道 他紀行文集 荻原蘿月校訂／北村透谷選集／樋口一葉選集／坊つちやん 夏目漱石著／草枕 夏目漱石著／それから 夏目漱石著／一握の砂・悲しき玩具 石川啄木著／我等の一團と彼 石川啄木著／山盛土塔その他 島崎藤村著／作曲白秋民謠集 北原白秋著／獄世家の誕生日 佐藤春夫著／日輪 横光利一著／勞働者の居ない船 葉山嘉樹著／海に生くる人々 葉山嘉樹著／ホワイト・ファング 堺利彥譯／自選歌集 空を仰ぐ 土岐善麿著／自選歌集 人間往來 與謝野晶子著／自選歌集 海やまのあひだ 釋迢空著／皇正統記 宮地直一著／日本商業史 横井時冬著

（布裝上製）百頁十錢　數字は定價を示す　1は拾錢、2は貳拾錢、3は參拾錢を以下之に倣ふ。送料は1二錢、2四錢、3六錢、4八錢、5十二錢（以下續々刊行）

啄木を繞る人々

吉田孤羊著（最新刊）四六判布製上製　定價壹圓　送料廿二錢

情熱と革命の詩人啄木の周圍にはどんな人々が潜んでゐるか？啄木研究十年の著者が彼を繞る人々七十餘氏との交情を描いて多角多面、歌のモデル、痛々しい戀物語、埋れた薄倖の詩人等々眞に小說以上の盡きざる興趣。（目次大要）啄木夫人の生涯の藝術・啄木を繞る人々・啄木と女性（寫眞四十葉入）

發行所　東京市芝區愛宕下町　振替東京八四〇二番　電話芝(43)二三一四　改造社

植民　六月南大陸征服號

大アマゾン縦斷記／サンパウロ州實話／アルゼンチンへの發展／映畫南米移住物語／運命を開拓する道／何故日本に同情すべきか／ブラジル語講義／植民萬案内

本號前金注文千名限原色版植民繪葉書一組呈　五拾錢稅貳錢　振替東京三三二五一　東京市麹町區下六番町五〇　日本植民通信社

滿蒙　六月號　一日發行

いそがしき妻（支那民謠）／中國に於ける農民問題／支那に於ける奴婢の發生と其沒落／大觀小察／北支那建築雜觀／滿洲に於ける日露の接近／中國に於ける印刷術の沿革／滿洲考古學資料餘話／孫中山氏の移靈式／土匪と紅槍會に接するの記／佛教國西藏／關東州の戶口調査（思ひ出るまゝの記）／滿洲昔話の會記事／怪しげな支那語の御利益／私だけの日露戰役秘話／免許海賊商賣／支那の新文學街道／燕人群（滿蒙民謠集から）／西藏傳說三篇／勇ましき主婦（戯曲）／吉日聖會（歌）／協會記事／娘々廟にて（歌）／編輯私記

滿蒙フラグ　滿蒙の山と水／金州大和尚山

發行所　大連市紀伊町　社團法人　中日文化協會

品質優良　白米　多少に拘らず御用命願上ます
大連市若狭町　米穀商　志摩洋行　電話(三)三二六九　(三)三二六六番

日華自動車學校

始開日一月六　集募生學
大連山兆通
世界最高速自動車　時速260粁

大連の紙屋　和洋紙各種　製圖小間紙　大連大山通　光明洋行　電話七〇五九　振替大連三三四〇

大連市西廣場西入る電車通
池田小兒科専門醫院
池田嘉一郎
電話六三六五番

東亞タバコ

高級兩切
オーシス

童謠
◇
からころく
鈴の音
何處へ行くのか
駱駝が通る
積んだ荷物は
東亞の煙草
◇
からころく
鈴の音
やつと來ついた
泉のほとり
憩ひの宴は
東亞の煙草

徐州西方に於て方軍孫軍と開戰

孫軍は鄭州附近で韓軍とも衝突　韓氏は何れにか逃走

【北平二十九日發電】隴海線徐州西方に於て方振武軍と孫良誠部隊との間に戰鬪開かれ方軍は相當大なる損害を受けたとの報が達した、尚孫良誠軍は一方又鄭州附近で韓復渠軍と衝突し韓軍を撃退したと

【北平二十九日發電】其の後の情報に依れば韓（復）渠軍は鄭州の西南登封附近で孫良誠軍に包圍され韓自身は何處かへ逃走したとも傳へらる

韓復渠軟化經緯

于右仁の勸告が奏功

【上海大矢特派員二十八日發】南京政府部内の某要人が某氏に對して韓復渠氏の中央歸順の經過について次の如く洩らしたと

一、現在南京に滯在中の西北第二十一師長楊虎臣は同じ西北軍中でも孫良誠に惡感を抱き韓復渠もまた孫とよくないので蔣介石は楊虎臣を利用して韓復渠抱き込みを計らせた

二、韓は南京武漢戰爭のとき南京政府より第三路總指揮に任命された蔣介石氏が漢口に行つてゐたとき賀耀祖が劉驥を利用して韓を漢口に連れて來さしめ蔣氏と會見したとき蔣氏は極力韓を慫慂し韓氏をして蔣氏に好感を抱かしめた

三、以上の如き下準備をしたる上愈よ馮氏との關係決裂狀態となるや何應欽は漢口より密使を開封の韓復渠の下に遣はし中央歸順を説かしめた結果韓氏の心漸く動くにいたつた

四、韓復渠は于右仁に對しては平素多大の尊敬を拂ひをり于氏は最近馮氏を憎むこと甚しく今回南京政府が馮討伐を決意するに至つて始めて南京に赴き蔣介石氏を援けて討馮のことに參畫することゝなつたほどで于は韓にあて「再び戰端を起して人民を苦しめる勿れ」と密電を發した結果韓氏は遂に中央歸順を決意するにいたつた

五、中央歸順を決意せる韓氏は南京政府に對して
イ、馮氏の生命の安全を保證すること
ロ、暫らく討伐令を出さぬこと
の二條件を何應欽氏の密使に對し托した、何應欽氏が過日漢口より飛行機で南京へ飛んで來たのはこの二條件を齎らして韓復渠氏抱き込みの相談のためであつた、二十三日の中央常務會議で討議の結果韓氏の條件を容れ馮討伐令を改めて査辦令とした次第である

きのふ芳澤公使南京に入城

儀仗兵にまもられて　各國碇泊艦より禮砲を發す

【南京二十九日發電】わが政府を代表して孫文奉安祭參列と信任狀捧呈の重大任務を帶びた芳澤公使の搭乘せる軍艦矢矧は午前八時半公式に日章旗を掲げて下關に入港した、この時港内碇泊中の米、佛、英の各國軍艦より禮砲を發し九時十分公使は國民政府衞戍司令部派遣の儀仗兵に護られ晴やかな南京入りをした

着京後のプログラム

【南京二十九日發電】芳澤公使、重光總領事、横武商務書記官等の一行八名は出迎への岡本南京領事佐々木、藤原兩駐在武官等と共に直に艦載水雷艇に移乘して日清汽船ハルクより上陸し領事官邸に入つた、尚公使はわが政府より孫文靈柩奉安祭に際し贈つた檜、山櫻松及び政府と田中首相から孫文靈前に捧ぐべく委託された銀製大花環各一個を携へ來つた、尚公使着京後のプログラムは左の如くである

三十日午前九時國民政府に於て國書捧呈
同十一時より蔣介石、王正廷兩氏連名の奉安祭列席の各國代表招待會に出席
三十一日午前中央黨部の大禮堂に於て行はれる孫文靈柩告別式に列席
六月一日總理靈柩奉安式參列

浦鹽在住の鮮人黨化策

在住鮮人に警告

【哈爾賓】浦鹽からの情報によると同地共産黨少數民族高麗委員長イワン（鮮人）は在住鮮人に對し次の如き警告を發し鮮人の共産黨化を促した

露國内にあつては黨化せざるものは公民權を與へられざるのみならず境外へ放逐されることになつてゐる、然るに現在浦鹽にある鮮人の黨化振りは實に遲々たるもので全く慨歎に堪へざるものがあるが斯くては露國當局の信頼を失墜し延いては將來入露せんとする同胞鮮人の支障ともなる次第であるから諸君はこの際努めてソウエート治下に住するに適しく黨化すべきである

浦鹽支那領事を勞農官憲が威す

哈爾賓勞農領事に異變あらば直刻貴下を監禁すと

【ハルビン廿九日發電】浦鹽駐在支那領事よりハルビン支那官憲に宛た電報に依れば、浦鹽駐在ロシア官憲は同支那領事に對しハルピンロシア領事の身邊に異變を來せる場合は即刻貴下を監禁すべしと通告したと、尚支那官憲はロシア領事館手入れ事件を起點としてロシア官憲が右に對する報復手段として在露領支那人に峻烈な壓迫を加へるものとして憂慮してゐる

共産黨活動の實情を公表

押收文書の翻譯が終了次第支那官憲から

【ハルビン二十九日發電】監禁中のロシア共産黨員三十九名は支那官憲の取調べに對し異口同音に東鐵沿線より身分證明書下附願の爲め來哈したに過ぎないの一點張りで官憲を手古摺らしてゐる、他方押收文書は目下支那文に飜譯中であるが、右終了の上英支兩文を以て支那に於けるロシア共産黨の活動の實情を公表するに決した尚支那側は曩に封印したロシア領事館内の圖書館の過激書籍數萬部を沒收すると

佛國領事抗議

佛亞銀行問題で

【哈爾賓】當地の佛亞銀行支店を支那交渉署が承認せずその取消し方を張行政長官に申請せるは既報の通りであるが右問題に對し當地佛國領事は同行は既に奉天においても各方面の諒解を得て開業式まで濟まして目下營業しつゝあるもので且つ支那側の危惧する東方儲蓄銀公司と比較するが如きは無稽も甚だしいものであると交渉署に對し反駁抗議した

寺兒溝棧橋築造の測量

關東廳港務局では寺兒溝棧橋築造計畫のため六月一日より明年三月末日まで深淺測量及び海底鑽孔調査を開始すると

弔魂團の日程

帝國在郷軍人會弔魂團一行八十名は安藤嚴水中將引率の下に三十日旅順より來連するが、大連における日程は左の如くである

三十日午後十時二十分大連驛着直に關東倉庫及海務協會に分宿▲三十一日は午前八時二十分中央公園忠魂塔へ參拜忠魂祭典執行後滿蒙資源館、露西亞町波止場等を見學して星ケ浦に向ひ樂天閣に於ける大連市役所の招待午餐會に臨み、午後一時十分星ケ浦發埠頭へ直行見學の上埠頭施設の概要に就て紺野案内係員の講演を聽き、夫より滿鐵本社を見學社員倶樂部に小憩、三時四十分より協和會館に於て高柳中將の通俗滿洲事情講演及活動寫眞を觀見、更に大廣場附近見學の上同五十分監部通泰華樓に於ける大連軍人後援會の招待會に臨み同夜關東倉庫及海務局に分宿▲一日午後五時出帆の御用船に便乘内地へ歸還

領事の指揮權で樞府の論戰

内田、石井兩顧問官反對す　拓務省案審議の經過

【東京特電二十九日發】廿九日開かれた樞府本會議では拓務省官制案に就いて顧問官間に大議論を起し遂に内田康哉、石井菊次郎兩氏は反對を表明したが他の顧問官が贊成したので可決された、今其の議論の要旨は左の如くである

石黒忠悳子　政府は曩に提出せる原案の拓殖省を今回拓務省と變更した理由如何

田中首相　拓殖省の名稱は朝鮮其他を植民地扱ひにするといふ批難もあつたので斯る誤解を受けるのを虞れて省名を變へた

石井菊次郎子　移植民問題に關しては在外領事が外務大臣を經由し拓務大臣の指揮監督を受けることになつてゐるが拓務大臣を經由することは對外關係上問題を生ずる虞れあるからこれを修正して外務拓務兩大臣の協議によつて領事を指揮監督することに改めては如何

田中首相　拓務大臣經由とするも實際は兩相協議の上指揮命令するから何等差支ない

石井子　更に事外交上に關する問題は外務大臣の指揮監督に委任する方がよいではないか、將來外交上面白からざる問題に逢着することを憂ふるものである

田中首相　外交上何等差支へを來す虞れなし

内田康哉伯　拓務省の駐外職員は何れの國に駐派するか

前田法制局長官　移民が多く行つてゐる伯國に駐派する方針である

かくて第二讀會に入るや石井子から「領事の指揮監督權を外務大臣を經て拓務大臣に於て行ふ」とあるを「外務拓務兩相協議の下に指揮監督す」との修正案を提出す、田中首相前田法制局長官極力原案支持論を述べ

久保田男　石井子から修正案提出された以上本會議を延期し審議し直しては如何

金子委員長　今更審議し直しの必要なし

倉富議長　石井顧問官提出の修正案は贊成者なしと認め消滅したと宣言し江木顧問官またこれに同意し直に第三讀會に入り一括拓務省官制案を議題とし可否を起立に問へば石井内田兩顧問官のみ起立せず多數をもつて可決した、終つて

久保田男　さきに金子委員長より報告あつた樞府顧問官増員に關し政府は近く樞府官制の改正を行ふといふがその際樞府の根本的改正を企圖する考へなきかまたこれを希望すると希望的質問を爲したが政府側答辯しなかつた

六月十日に官制公布

小村侯次官を正式に受諾

【東京二十九日發電】拓務省官制は來る六月十日公布すると同時に田中首相は兼任拓務大臣となり、小村欣一侯次官となるに決定し、小村侯は二十九日午後四時半田中首相に對し正式に受諾の回答を爲した

不動産金融の考慮を請願

黒田次官に奉天商議が

【奉天發】過般奉天商工會議所より黒田大藏次官に對し陳情したもののゝ中「滿洲に於ける不動産金融に對し特別の考慮方請願の件」の要旨は左の如くである

滿洲の如き零下三十度乃至四十度の地にありては勢ひ耐寒的建物を要し從つて其の建築費も亦増大すべきは玆に贅言の要なし一方滿洲では國際都市として相當輪奐の美を保つの要ありとし關東州内は建築規則の拘束を受け、滿鐵附屬地は滿鐵會社制度の建築規則により其の羈束を受くる結果、更に之れが増額を餘儀なくせられつゝある、然してこれが資金化に對しては東洋拓殖會社あるも同社の不動産貸付規程によるときは鑑定價額の三分の二以下に制限しありて資金化極めて不充分なるのみならず其の金利の如きも最近當所の請願を容れ多少低下されたるも尚一割の高率にあり、更に其の一面滿鐵附屬地にては不動産を有利に處分せんとするも地權は總て滿鐵會社に屬するため同社の方針たる讓受人に對しての制限を受くる結果、在住商工業者の被る不利不便頗に甚大である、依つて政府は之等の事情を詳細に御調査の上特別の御考慮を煩はし度い

市長辭職までは一切の妥協排除

大連市會革新派申合

大連市會議員中革新派即ち市長反對派に屬する人々は廿九日午後一時頃某所に會合し過般來の紛糾善後策及び村田議長辭職に伴ふ態度等につき情報を交換し協議を行つたが要するに最近の狀勢では市長も何等反省の實なく擁護派も意地づくで自派の面目を立てるといふ行掛りに拘泥して抜き差しならぬ狀態にあるやうであるから此の際斷乎として飽くまで當初の方針に從び市長の辭職實現まで一致結束して邁進する他ないといふので姑息なる妥協案は一切これを排することに申合せた

爲替相場弱含

【神戸廿九日發電】對外爲替市場は米日高ながら買氣多く弱含み、對米四四弗十六分の十五にて八月物に十萬弗の出合ひあつた

青年聯盟演説會

滿洲青年聯盟大連支部では來る三十日午後七時より沙河口社員倶樂部にて左記の通り演説會を開催すると

一、開會の辭　龜頭虎吉
一、在滿邦人の覺醒期　新井勝作
一、所感　月輪太治郎
一、滿洲に永住すべき根本的方針　小林友作
一、所感　大城戸貞治
一、百の美言よりも一の實行　久保田廣次
一、青年聯盟の將來　岡田猛馬
一、平和戰に於ける吾人の覺悟　是安正利
一、未定　醫學博士金井章次
一、未定　三宅亮三郎
一、支那に於ける排日の眞相　仙波清
一、未定　牛島芳松
一、在滿同胞として二十有餘年を顧て　吉廣眞雄
一、閉會の辭　寺島富一郎
　　　　　　　仙波清

驛傳競爭秘策の側面觀

中るも八卦中らぬも八卦の白熱化してきた驛傳の投票（上）

藤森圓郷

餌なしで鰡を數へ切れない程澤山に釣り上げた大吉の夢を見たから的中疑ひなしとか高い嶽に登つて頂上で雲霞の如く押寄せた幾萬の大衆に向つて大聲叱咤した夢を見たから勝算既に瞭然たりとか或はまた覆面の怪盜に鈍刀で肩先を深く切り込まれた夢を見たから當るかも知れぬなどと流言は夫れから夫れへと傳はつて愈驛傳競爭の話題は白熱化して來た。中るも八卦中らぬも八卦なら骰子の目が丁と出るか半と轉ぶか此の興味ある話題は上海競馬の馬券や兩國の星取りどころの騷ぎではないと思ひ切つたことを言ふ人があつたが、斯うなつて來ると走る選手よりも見てゐる方が氣が氣で無い。

◇

滿漠、先に北滿を長驅した紅班が早いかそれ共小刻みに縫つて行つた白班が勝つか何れにしても一日位の差で勝負を爭ふのであらう。兩班共走程既に半を越えてゐるのであるから是れから先きのコースも略見當が付いた。し特別の事故でも突發しない限り白班は二十日二時間卅七分位の處で歸つて來るであらう、二時間三十七分と言へば八日の朝の十時四十分頃と言ふ計算になるが、紅班は第三走者木村選手が吉敦線の貨物でも使へることになると白班の加藤選手に比してまる一日の短縮が出來るし、更に輝吉線と瀋輝線へ入つて朝陽鎭發の貨物列車が利用出來れば此處でもまる一日が短縮出來るから十八日十五六時間で先着するかも知れぬ。

◇

兩班共に殘る處は貨物列車をどの程度まで利用し得るかと言ふ問題になつて來た、而して筆者の探知した範圍内に於ける一般の豫想日數は概ね二十日以上であつたが、ダイヤグラムと首引きをやつてゐる連中の算定日數は何れも十八九日處であつた、多數の中には全然ダイヤグラムを繰らずに振り出した骰子の目分量で匙加減をやつた人もあるし、豫想時間を書いた幾つもの紙片を圓形に並べて其の中心に箸の棒を立て倒れた方向の時間を其の儘出したと言ふ者もあれば中にはトランプ占ひで書いたと言ふ樣な毛色の異つた投票もあつたことを聞いてゐるが、偶然にも若し萬が一好卦が中つたとすれば蓋し突飛にして捧腹絶倒的な幸運者の感想談が紙上を賑はすことであらう。

◇

オートバイは山分けのこと、後日の爲め一筆證文を差し入れ置くも苦しからず、貴殿の豫想日數幾何？と曩に驛傳競爭についての歎文を稿した筆者は圖らずも頻々たる問合せに面喰つた。だが筆者は素より專門家でもなければ直接關係の椅子に座つてゐる者でも無いから如何樣に穿られても明言の出來得る筈がない、其處でお互が寄つて研究して見た譯であるが實は第一案第二案と言ふ風に前後十二三種のダイヤグラムを作つて見ただけである。

◇

白班第一走者能勢選手が貔子窩普蘭店間の自動車を利用せずに金州へ逆戻りをしたのは意外であつたかも知れぬが、北行難關の開豐線を濟まして一氣呵成に安奉、溪城、撫順の各線を突破して著しく時間を短縮して第二走者加藤選手を僅か二十五分間の差で突出したのは實に手際が鮮かであつた。

東支東部線を神藏選手征服

明日は呼海線に入る豫定　木村選手の成功

白班加藤選手が慘澹たる苦心の甲斐なく運休に遭つて失敗した吉敦線敦化發二十四次貨物列車の利用に美事成功した紅班木村選手は、二十九日朝八時輝吉線に轉じ吉林總站を發し午後四時四十五分朝陽鎭に到着一泊の上今朝七時同地發瀋輝線の踏破に移る筈であるが、一方長驅哈爾賓より東してポグラニチナヤに向つた神藏白班選手は無事二十九日午後五時半同地をきはめ、休憩僅かに三時間にして八時半發西行列車に投じ哈爾賓に向つたが海林、横道河子、一面坡等を經て同日午後五時半哈爾賓に歸着して一泊明日は松花江を渡つて呼海線に入る豫定である

輝吉線の連絡成功　木村選手

【吉林總站廿九日木村選手發電】吉林、敦化兩地とも一泊もせず連絡し得たことは最も愉快であつたが、敦化より貨物二十四列車で吉林に着後果して輝吉線にうまく連絡し得るか否かゞ極度に神經をいらだたせてゐたけれど、吉林驛と吉林總站驛間（邦二里餘）連絡のため自動車と馬車の手配が遺憾なく用意されてゐたゝめ、吉林總站午前八時發に乘り込み朝陽鎭へ向ふことが出來たことは感激措く能はないことであつた

排日の風評を裏切つて支那側鐵道の歡迎

我社の趣旨はよく諒解された

廿九日までに歸社した驛傳競爭兩選手の實見談を綜合するに我社の今回の擧に對して支那側の各鐵道はよく其の趣旨を理解し歡迎に努むると共に出來得るだけ選手の利便を講じたことは全く豫想以上であつて感謝の他はない洮昂線の如きは各驛とも歡迎の標幟を立て主要驛には國旗を交叉して選手を迎へた即ち我社が滿蒙交通系統に對する知識を一般に普及し以て經濟發展に貢獻しやうとする目的が充分に理解されたゝめに他ならぬと想はれる殊に呼海線の如き近來排日風潮の盛な地方として見られ同線の踏破は危險であるとまで謂はれ秋山選手が同線に入るに際しては例の標幟を除いた方が宜いと勸告された程であつたが同選手は顧慮せずに其儘進入し案外の歡待を受けてゐる、此等の事實によつて見ても所謂排日運動云々は不良學生等輕佻の輩の盲動に止まり多數の民衆は全く沒交渉であることが窺ひ知られる、要するに徒らに排日といふやうな噂に捉はれて遲疑することは双方のため却て不得策であるから進んで握手し先方を理解せしむる態度に出る必要があるといふ歸結を得た

驛傳ゴシップ

驛傳の兩班踏破哩數は最初から徹頭徹尾紅班が優勢を示してゐるので結局紅班が勝つだらうと一般は見てゐる、處が鐵道屋の一行十七八名は十八日朝の急行で沿線に於ける來年度の豫算査定に出懸け安奉線査定中インスペクターカー内で驛傳に花が咲き、最後の結果は兎もあれ今日までは依然班として紅が踏破哩數に於て優勢を維持してゐる

◇

この哩數だけでも白班より勝ち得てゐることは貝塚顧問の顧問振りがいゝからであるからと貝塚氏に顧問振料一圓也を科せようといふことになつた、然るに一圓の顧問料は餘りに安すぎるやうだ、折角だから紅班の優勝を可決して戰勝の祝儀まで課する必要があるといつて遂に顧問料を合せ即決金二圓也仰せつかつた。

◇

處が顧問で顧問の重責を盡してない貝塚氏は罰金をとられた上紅班が敗けでもすれば一大事と受持の査定を終つた某君を急遽大連に歸して加藤事實顧問に紅班必勝の作戰方を激勵せしめた

關東州内に於る農産物の作況

關東廳殖産課への報告

關東州内に於ける本年度の農作物作況は早春來旱魃甚だしかつたので耕地が乾燥し且つ播種期に際し氣温低下した爲め、農家は一般に播種の準備を整へて居り乍ら播種を控へた結果、例年に比し約五日乃至十日遲延した、普通作物はかうした氣候の狀態で四月下旬の降雨より一般に播種を開始したが、關東廳殖産課が各管下民政署より蒐めた四月末現在の作況報告によると大體左の通りである

旅順

一、普通作　播種の準備中で農家は多忙を極めてゐる、南山裡方面の如きは粟、包米等の播種の了つた所もある
一、蔬菜　春蔬菜の蒔付中で收穫としては菠薐草、韮菜等を成績良好
一、水稻　播種の準備中
一、果樹　苗木の植付、剪定、施肥、藥劑撒布等の作業に多忙を極め
一、棉花　本月下旬より蒔付を始めたる所もある

大連

一、普通作　早春來天候一般に不順だつた爲め一般作業幾分遲延し包米、高粱等本月中に全部の播種を了するに至らず
一、蔬菜　春季蔬菜は播種を了し廿日大根及各種の蔬菜類は順次採收して市場に出でつゝあるも冷氣の爲發芽生育共に不良である
一、棉花　普通作物と同樣播種期遲れ下旬に入りて漸く着手したが本月中には豫定反別の半を了したるに過ぎず
一、果樹　發芽開花共に例年に比して五、六日遲れ苹果（祝、紅玉に甚し）は開花多く寧ろ樹勢以上の觀あり本月に入りて藥劑撒布を施したが一般に病害虫の發生を見ず
一、桑園　發芽生育共に甚だ不順で從て蠶種の催靑亦例年に比し五、六日の遲延を見た

金州

一、普通作物　氣候不順の爲め播種の準備を整へたが播種することを得ず下旬の少雨を得て漸く播種を開始した、大小麥は成育良好ならず草丈二、三寸に達せるのみ
一、蔬菜　灌漑の設備を有するを以て水分の不足を來すことなく水蘿蔔、小白菜、菜豌豆等は上旬胡瓜、茄子等は中旬播種を了し何れも發芽生育共に良好である、馬鈴薯は中旬、伏薯を行ひ菠薐草韮は上旬より收穫を行ひ菠薐草は一斤二錢韮は十錢内外を以て賣買されてゐる
一、果樹　一般に開花良好
一、棉花　下旬より播種を開始した

普蘭店

一、普通作物　天候不良だつた爲例年に比し一週間乃至十日遲れ麥は上旬、粟は上中旬、包米、高粱は中下旬より五月上旬に播種四月中下旬より屢々降雨あり病害虫の發生もなく發芽生育は良好に進んでゐる
一、蔬菜　上旬馬鈴薯、菜菔、菠薐草等播種中下旬に亘り瓜類播種、興農會にて優良蔬菜普及の目的にて各種種子を購入配付氣候の關係にて發育幾分遲延した
一、水稻　本月は播種の準備をなし五月上旬蒔付着手の豫定である中、下旬の雨にて用水は豐富の見込
一、落花生　月末より播種を開始した、本年は市價低落の爲作付面積は大體前年と同樣であらう種子價格も前年に比し二割安の支那一石十二圓位である
一、棉花　下旬に蒔付を爲した

貔子窩

一、普通作物　氣候不順にして播種遲れたるも下旬の降雨により包米の大部分、粟及高粱の一部は本月中に播種を行つた
一、蔬菜　菜豆、馬鈴薯、甘藷、紅蘿蔔等は本月中下旬に下種を終つた、菠薐草、葱、韮、菜、蒜は發育佳良である
一、棉花　本月下旬より播種を開始し五月上旬迄に終了の豫定
一、落花生　未だ播種せず
一、果樹　新植果樹は本月上旬迄に栽植終了したるも移植當時天候乾燥なりし爲憂慮されしも、下旬に至り適量の降雨ありたるにより活着良好の見込である
一、桑樹　桑樹は氣温低き爲發芽展葉の遲延を免れざるに付播種の催靑着手も例年に比し遲るゝ見込

神田局長東上

關東廳神田内務局長は六月上旬東京に於て開催される地方長官會議に出席の爲め來る六月四日大連發のうらる丸で東上せるが、滯在日數は約三週間の豫定であると

關東廳辭令（二十一日）

依願免本官　關東廳技手　古澤忠夫
任關東廳高等女學校教諭　大分縣臼杵商業學校教諭　長濱純義
同（二十七日）

出船入船（五月三十日）

▲出船　△長平丸午前十一時
▲入船　△はるびん丸午前八時半　△天津丸

人事

▲前田蓮山氏（中央新聞主筆）二十九日午後九時發の列車で奉天哈爾賓方面へ
▲古澤幸吉氏（哈爾賓地方事務所長）二十九日午後八時半着列車で來連遼東ホテルへ
▲萬國賓氏（洮昂鐵道局長）秘書三名を伴ひ二十九日來連星ケ浦ヤマトホテルへ

安開捐子

蔣、馮兩氏の對抗で馮氏が戰はざるに早くもへコんだと一般に傳へられてゐるが斯ういふ説もある▲上海電報はよほど割引して見ねばならぬ又北平でも蔣派の勢圏であるから此處の宣傳も眉唾ものである▲馮氏は交通不便な處にゐるので同系の消息といふものが一向に傳はつて居らないがやがて馮氏が途方もない方面に顔を出して來るとき世人はアッと驚くであらうといふのであるが▲これもあまりアテになりさうもない、何しろ宣傳戰のことであるから

本日廳報及廳報附録を添ふ

特産

◇定期後場（銀建）▲大豆（軟調）

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	四十車			

▲三等大豆　出來不申

▲豆粕（軟調）

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	二千枚			

▲豆油（出來不申）

▲高粱（弱保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	三十五車			

▲包米（出來不申）

◇現物後場（銀建）

品名	寄付	大引
混保（袋込七日物）	[illegible]	[illegible]
裸物	—	—
出來高	二十車	
三等大豆	出來不申	
豆粕	二・一八〇	二・一八〇
出來高	六千枚	
豆油	一六・二五	一六・三五
出來高	二千箱	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔

◇定期後場（單位錢）

期	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	期近七十一萬圓			

◇現物後場（單位錢）

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	銀對金十萬七千圓	銀對洋六千圓	

商品

後場　出來不申

神戸特産物（廿九日）

品名	値
大豆現物	七五〇
大豆先物	六五〇
豆粕現物	二二六
豆粕先物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

東京株式（長期）

銘柄	寄	引
東株	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
中先	[illegible]	[illegible]
信先	不申	不申
中先	不申	不申
新豆	不申	不申
中豆	[illegible]	[illegible]
先豆	[illegible]	不申

東京株式（短期）

銘柄	寄	引
東新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
寄値	[illegible]	[illegible]
引値	不申	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
郵船	不申	[illegible]

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]

神戸期米

限月	後場寄	後場引
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]

滿洲日報

內亂終熄すべきや

◇

馮玉祥氏が果して下野したか何うか未だ確められて居らないが、孰れにしても、中央政府に對する反抗を斷念し、甘肅に還り、時機を見てロシアに赴くに決したといふことはもはや確定的の事實と見て宜い。乃ち蔣介石氏を中心とする南京政府は、眼前の難局を無事切り拔け得て心措きなく孫文移靈祭に奉仕し大に黨國の礎地を固めることが出來るのは、中國民衆のために欣ぶべしと謂はねばならぬ。

◇

然しながら、之を以て一切の內訌が終熄したりと見得るであらうか。極左の大立物汪兆銘氏を中心とする一派は、廣西派と結んで擡頭の機會を狙ひ、既に大體の陣立が成立したと謂はれて居り、一方馮玉祥氏の下野なるものも、其の腹心韓復榘氏の離叛のため一時開戰を見合はすといふだけであつて、甘肅、綏遠地方に根强い勢力を有する馮氏は、復びロシアと提携することによつて、捲土重來を期してゐることは想像に難くない。斯く見れば、今回の安定も果して何時まで續くか疑問である。

◇

我等は强て事態を過大に見やうとするものではなく、又民國の內亂を拍手して悅ぶといふやうな心持は寸毫も有せぬのみならず、支那大衆の康寧のため常に之を憂へるのである。從つて現在の各勢力者が一日も速に渾然融合し、私利私慾の爭ひを拋つて、國利民福の增進に專念し兵火の對抗を廢して、言論の抗爭の時代に移らんことは、夙夜我等の切望する處に他ならぬ、若し蔣馮兩氏の正面衝突が、幸に回避された今日を一轉機として、支那の兵燹が永久に根絶されたならば、幷は單り民國人の幸福のみに止まらぬであらう。

北滿のクーデター

◇

嘗て北京に於てロシア公使館に對しクーデターを行ひ、外交問題を惹起せる前例を有する支那官憲は、又もやハルビン及びポクラニチナヤに於いて同樣の手段を敢行したと傳へられる。支那側の主張する處によれば、勞農官憲は馮玉祥系と相呼應して、東北四省赤化の重大なる陰謀を企てつゝあつたといふことである。果して事實か何うかは不明であり、或は風聲鶴唳の類であるやも知れず、或は又之を口實に東支鐵問題を一擧に解決せん底意であるかも知れないのであるが、從來の經過及び露支國境方面の近狀より見れば、全然無根の事實でもないやうに考へられる。

◇

問題は寧ろ今後に在らう。支那側の高壓態度に對するロシアの反撥の相當强力なることを想像せねばならぬと共に、從來孜々として營まれつゝあつたソウエートロシアの外蒙政策が、馮玉祥氏の中央進出陰謀と共に一層具體化するであらうといふことも想像せねばならぬ。孰れにしても滿蒙は多事多端となるであらう。我等は張諸明目して推移を監視するの要がある。

滿蒙鐵道驛傳競爭

齊克線で面目一新せる 齊々哈爾の繁盛振

自動車に驚き走る野兎の群

（第十一信） チ、ハルにて 秋山紅班選手

◇十年振りに見たチ、ハルの姿は齊克線の敷設によつて面目を一新した。齊々哈爾驛前に乘合自動車が十餘臺並んでゐるだけでも其の變遷の跡が窺はれ、新開地の都市と云ふ感じがする。この自動車が車輪を沒する泥濘のうねに波濤を畫いて疾走するのであるからウカ・・・ウカすると車からほうり出されさうな氣がする、自動車に馴れない地方民はもの珍しさうに見てゐる、城內の雜沓と、素晴らしい勢ひで延て行くこの市街は益々發展の餘力を想はれるに充分だ、今は萬福麟氏が省政府主席委員として權勢を握つてゐるが、南方政府からの指導員代表派遣には反對の樣子である。

◇其の萬福麟君が私財三十萬圓を投げ出してホテルを造る計畫があるとかで、黨政府になつた今日でも主權者は金儲けには決して拔け目がない。城內各方面の對日思想は奉天、吉林に比較しては左程でもないが、矢張り依然として餘り香しからぬ風潮があり、日本人に對して一切土地を貸與してはならぬと云ふ密令を發してゐる。

◇チチハル城の將來は齊克線が延長し訥河、嫩江に至り黑河に達して初めて北滿中部穀倉が開拓され經濟的により一層惠まれる時代が來るであらう、元來黑龍江省省城として探鑿が設けられた原因はロシヤとの關係による軍事的必要に迫られた爲めであるが、今はロシヤの勢力失墜とはいへ新興ソウエートロシヤの思想勢力と外蒙、コロンバイルの聯盟運動が伏在してゐるので前途は決して樂觀を許さないものがある、郭道甫君のコロンバイル獨立運動は郭君の政府の懷柔策で一時挫折した樣子にあるが、全然終熄したのではない。當時外蒙に遁竄した德明泰君が時々糸を引き再擧を計らんとしてゐるので哈滿司令梁忠甲君は遼寧省政府に對して飛機、彈藥、重砲等の武器送付方を要請してゐる但し今直ぐ擧兵をせんとする程に危機は迫つてをらぬが、何とはなしに風雲低迷の形で將來の禍として殘された傾向はある、この點は黑龍江省のもつ不安の一つであらう。

◇日本人の居住者は百數十名であるがソウエート聯邦代表者として領事もゐる早川公所長夫妻の厚意で晩餐を共にし所長獨特の對滿政策の名論を聞かされ暫時休憩、夫妻から「一路平安を祈る必勝を期せられたい」との激勵を受け、城頭高く朧月かゝる北滿の春宵、うら冷やかな露を含んだ平原を自動車に身を托して東支齊々哈爾驛に向ふ、一望遮ぎるもの無き平野はうす明りに照らされ大海に孤舟を泛べた如く自動車はヘツドライトを一縷の頼みとして進む、道路は凹凸甚しく少しく進路を誤ればいづこの涯に至るやも知れぬ方向を支那人運轉手は無闇に疾走する、時々この魔の如き異樣の怪物に愕いた野兎が畑中から飛び出し右往左往する、同車した加賀山局長は「斯う云ふ情調と風光は到底內地でみられぬ」と感嘆する。

◇其夜齊々哈爾驛前唯一の日本旅館昂榮館に宿る主人の井杉延太郎君は滿鐵公所の案內係として齊々哈爾に出張したきり家には歸つて來ない、ランプの火影で照り出された旅館は昔の女郎屋であつた樣式を備へてゐる、旅客の少いので經營も却々容易でないらしいが、勿論設備も充分でない、唯親切な點が旅情を慰める、夫妻は昔ハルビンで料理屋を經營してきたことがある頓知の人であつたが、語らず去る、翌朝午前一時廿七分加賀山局長一行と別れて滿洲里へ！、バラ／＼と降る雨を冒して旅館から驛まで砂路を辿る、北滿の夜、星は落ちて四邊は陰慘の氣が漂ふ

吉長の車窓に見る 紅い陽と豐穰な土

支那人に判らぬ「リレー」の字

（第十一信） 吉長車上 加藤白班選手

◇白班びいきの齋藤車掌と別れて長春驛に下車、丁度五時十五分神藏支局長、田上警部その他多數の人々の出迎を受ける、神藏氏とは戰友だ從つてかゆい所へ手の屆く樣な周到ぶり、十五分間にライスカレーをかき込んで吉長鐵路の人となる、漸くたそがれ時、旅愁がグツと込みあげてくる。支那鐵路の夜は私の前に大きな不安となつて擴つてゐる。

◇美くしく掘返された畠地が兩側に眞黑い豐穰な色合を見せてゐる。ねぎの一尺許り、栗種の入寸許り、生々としてゐる、羊、馬、牛、豚が窓外至るところに放牧されて慣れぬ目に奇異の感を起させる、吉長路は四洮路と共に民國國有の鐵道で、全線營業哩は一二七哩七であつて、開業當時は經營困難であつたが最近收入の增率を見たものであると、先輩は私に教へて呉れた。

◇最初のダイヤグラムでは長春泊りの筈であつたが、幸運は我軍に吉林まで足を延ばさしてくれたのだ、勝たねばならぬと云ふ意氣込みだ。寢なくても好い、一哩でも遠くまで飛びたいのだ。支那人が物珍らしげに肩にかけた白たすきを見乍らブツ／＼云つてゐる、リレーと染め出した片假名が解らないのだ。

◇日本の片田舍に行くとよく曲がりくねつた木橋をゾロ／＼人か通つてゐる、興隆山、□倫、龍家堡を通過する、一帶に地帶平坦、河流の灌漑よく肥沃の土地である巨大な太陽は眞赤に染まつてコロリと西方に沈んでしまつた。只一人の旅だ歌でも唄へ幸ひ一等の客車には私一人だ、大きな聲で唄つてやつた。いつの間にか飲馬河に來る、昔、高勾麗の駐兵した大城子がある、この邊楊柳の多いのが目につく、暫く行くと濁つた水の河を渡る。この河からこの街の名が出たさうな、下九臺、營城子、土們嶺を過ぎる頃全くの宵闇と化した。さあいよ／＼淋しい、慌ただしい旅である丈けに一つの村一つの山にも何かしら名殘惜いものがある樣な氣がする。こゝらの支那人は氣が荒いと聞いてゐたが、案に相違實にオツトリしてゐる、哈大門、粉刀王、さては仁丹なんかの廣告が人家の壁にベタ／＼貼られてゐる。今夜の八時半吉林着の豫定。

―蒙古婦人の風俗―

農民の貯藏穀物 遂ひに强制徵發

稈、高粱の食法も研究さる 沿海州の食糧缺乏

【間島】沿海州方面の食糧缺乏に就ては屢報の通りであるが最近某情報機關に達した調査によれば浦鹽地に於ては本年二月上旬コペラチーヴ食糧賣出しに一層制限が加へられ共產黨員、各種職業組合員並にその家族に對してはパン及び副食物一日大人一フント半、小兒一フント、一般市民に對しては購買券所持者に限り一フントを供給することゝし一般市民は購買券を得る爲め三錢づゝの手數料を支拂ひ二時間乃至四時間長い列をつくつて待つといふ有樣で時間外は一切販賣せぬ爲め購買券を持つてゐても買へないまた購買券は發行當日のみしか通用しないので翌日は新たに下附を受けねばならない、而して最近に至つては食糧益々缺乏をつげ一日一人四分三フントまで量が減ぜられる事もあり、帝制時代の一人當り二フント半乃至三フントに比し約三分の一に減ぜられたわけである、地方に於てもまた食糧の缺乏深刻を極め大麥、燕麥、米等が漸次主食物の地位を占め來り最近には粟稗、高粱等の食法が極力考究されつゝある狀態であるが當局は都市の食糧缺乏を緩和すべく非常對策を講じ農民の貯藏穀物を集める爲めゲ、ペ、ウ員を派遣して臨檢せしめ公定相場を以て强制買上げを行ひ隱匿者を發見すれば全部沒收の手段に訴へてゐる。從つて一般物價の昂騰も著しく農民中には被服に窮する結果麻袋を衣服に仕立てゝ着用してゐる者もあるなど恰も原始時代へ逆轉した觀がある、以上の如くで三岔口ボグラニーチナヤ地方から支那領へ移住するもの續出し此の現象は收穫期までに愈深刻化するに至るべく或は憂慮すべき事態が勃發するのではあるまいかと懼れられてゐると

排日運動首謀の學生十名を放校

―支那側の芝居か

【哈爾賓】當地支那紙の傳ふるところによると去る二十二日から二十五日に亘つて斷續的に行はれた哈爾賓國民救國會主催の排日示威運動には學生の參加を張行政長官から嚴禁されてゐたにかゝはらず第一中學生がその禁令を冒して該運動に加はつたことが後になつて發見されたので張長官は教育廳長に對し首謀者十名の放校處分を命じた、然るにこれを聞いた一中生は右放校處分にあつた十名の者は全部優秀生ばかりであり且全學生の犧牲となつたものであるといふので大擧し長官公署に押かけ長官並に教育廳長に對し右十名助命方を請願したが長官は頑として聽諾せず十名の放校學生に旅費三千元を給し本年學校を卒業するものは大學に送り未だ在學中のものは他校へ轉校せしめることゝなつたと傳へてゐるが、これは全く支那側の芝居で曾て八木總領事が發した抗議に對し張長官が學生の排日運動は一切禁止すると回答した言質に對する責任回避の手段であると見られてゐる

投書歡迎

新聞行數五十行以內のこと 中傷を目的とするのは採らず

市長問題と助役、收入役

若翁

一、吾輩は一旅行者であるが最近論議されてゐる大連市長問題について自由の立場から少し批判して見たい。

一、問題の基因は市長選擧の際滿鐵系の議員が現市長石本氏を選擧するに際し小數賀前助役を留任する事を條件としてゐたといふ處にあるものゝやうであるが、かゝる條件なり密約なりがあつたとすれば其の罪は双方にある、斯る密約條件が即ち政治の腐敗の根源をなすもので「明るき」行政を希望する市民は絕對に反對なるのみならず正に將來監視する必要があると思ふ。

一、但し一面より觀測すると双方に理由はあると思ふ違約せる市長に對し村田議長が憤慨辭職するのも當然であるし市長が板挾みになるも當然である。

一、玆に於て助役を（收入役は問題外として）事務官とするか政務官とするかに依而本問題は解決すると思ふ、政務官的にするとしたなら市長に一任するが先づ穩當であり又政治道德上當然の義務である。

一、助役收入役の否決に依る結果市長に辭職を强要する理由は無いと思ふ。助役收入役選擧は議事日程として上程した一議案に過ぎない其一議案が一票の差で否決せられたる理由を以て市長が辭職する先例を作るは大連自治行政の發達を阻止する者で必ずや惡例となると思ふ、市長としても自分の推薦者たる候補者が反對派の爲めに否決せられたりとせば宜しく反對派に對し候補者を推薦せしむるが好い、又否決した反對派も政治道德上より好き候補者を推薦する義務がある。

一、殘る所面子の問題であるが、市長の面子村田議長の面子問題否決候補者の內海[illegible]の面子の問題である。政治の要諦は反對派を餘り窮地に陷いれ無い程度がよろしいと思ふ、村田議長並に革新派市議の一考を希望する

一、大連には多士濟々、市の長老もある事故對市長問題も此邊にて打切り村田議長の辭表撤回、助役の選擧を圓滿に解決せられん事を希望する

一、市長の議員兼任問題は法規上差支無しとするも市長當選と同時に辭任議員する先例を作り度いと希望する、石本市長もし助役問題解決と同時に實行す可きであると思ふ

排日月刊雜誌

章廳長が計畫

【間島】吉林省政府民政廳長章啓槐氏は民政に關する月刊出版物を發行することゝなり六月十五日ごろ創刊號を發行するとの事であるが同氏は名うての排日家である處から其の內容は必ず排日記事で充たされ之を以て反日思想の皷吹に努めるものと見られてゐる

滿日詩壇

賀田岡喜代女士新婚 韓宗東

學通東亞又西歐、際此桃夭賦好逑、宜室宜家昌百世、紀元佳節叙千秋（女士紀元節生）

賀田岡喜代女士新婚 楊希三

郎才女貌結同心、璧合珠聯邁古今、韻雅風流輝漢史、齊眉好合靜如琴

賀田岡喜代女士新婚 劉雅羔

絕艷清標兩不群、天教玉女配參軍、賀方南國才吟絮、謝撰東瀛巧運斤、一代文壇欣續、九重春色喜平分、瑤琴調作同心曲、半治閨風半入雲

恭賀田岡喜代女士新婚之喜八首（錄一） 瀋陽 趙德[illegible]

蛾眉畢竟惜娉婷、故教詩書受過庭、志在相夫方下嫁、身肉繼父好傳經、瑤琴錦瑟停花燭、雲髻香鬟擁玉、南望迎淵有銀漢、紅鸞祥護女牛星

世界的！

AJI-NO-MOTO
ESSENCE OF TASTE
味の素
調味精粉
TRADE MARK
日英米佛
専賣特許

他に求めて他になし

使へば必ず美味化せずには措かぬと、世界的に相場の決つてゐる調味料、何處の臺所でも使はぬは損と大評判

味の素

宮内省御用達　味の素本舗　鈴木商店

東京　大阪　名古屋　上海　紐育

文藝

新劇の危機
＝（滿洲に素人劇出でよ）＝

青木實

（三）（つゞき）

新劇協會は今年創立十周年だつたそうで、五、六月頃その記念公演をやり、プロ作家葉山嘉樹作「海に生きる人々」を脚色して上演するとの事、以後河上肇の「貧乏物語」なぞも脚色の上、上演するとのことだ、そして寂しい新劇界に最も時代に適應したものを上演すると新劇協會のピカ一畑中蓼波氏は言つてゐるが、果してそううまく行くか知らん、同協會は創立十周年とは云へ、一時中絶したりして大して良い成績を遺したでもなく、徒らに馬齢を加へたに過ぎぬと思ふ。自分は昨年十二月(?)久々振りでの公演をみて、俳優の未熟、上演作品選擇の下手糞さ、寧ろ出鱈目に驚いたのである。

心座は、歌舞伎の新人河原崎長十郎、市川團次郎、市川笑猿が同人で、演出は村山知義が受持つてゐる。四月下旬第九回公演として、ロシアのメイエルホリド演出で成功したエレンブルグ作「トラストD・E」を、ジャズ舞踊、幻燈、映畫等を取入れ舞臺裝置は衝立を立てるだけで、花道までも使つて華々しく演るんだそうだが、それが單なる奇拔、思ひつき等に終らなければ幸ひである。

左翼劇場は、俳優難、劇場難、經濟難だそうで、近頃ア、トルストイ作「ダントンの死」を演じ、三日間を通じて滿員といふ經濟的成功を收めたそうだが、不幸にして見に行かなかつた。

一體自分は、左翼劇場には、見たい魅力を餘り強く感じないのである、自分一個の考へを言はせて貰ふならば、勿論劇は一般大衆を相手とする丈に何かの、衛生でも、火災でも、共産主義でも、その宣傳には好都合には違ひない。だが宣傳劇であるのを知り乍ら見に行くことは、即ち意識して乘ぜられることは、自分には馬鹿らしいのだ——必ずしも「ダントンの死」が宣傳劇だといふのではない——勿論自分だとて、現在の社會組織を完全とは思はない。大きな缺陷があるには相違ない。だからその社會組織の缺陷が問題となつて劇にも現れるのは當然すぎるほど當然である。然しそれがその問題のみが人生の總てではない。それは一部分の問題にしかすぎない。劇の根本は、人間を描き出すに始まつて、人間を描き終つて幕が下りる。人間と人間との即ち魂と魂との葛藤を描くにある。之は最も古くして最も新しき問題であるのだ。少くとも自分一個はそう信じてゐる。

喜劇座は、長田秀雄、關口次郎、岩田豐雄氏らに依つて呱々の聲を擧げ、遂先日ピランデロ「御意に召すまま」森鷗外作「生田川」岸田國士作「可兒君の面會日」三篇を提げて私演した許りである「御意に召すまま」で和服を使用したことと「可兒君の面會日」が一寸よかつたといふだけで、その存在からいへばまだ未知數である。

以上群雄割據といつてもよいが群小割據の方が、どうやら當を得てゐるやうである。

（四）

結局問題として殘るのは、築地小劇場一個である。大正十三年六月客席定員四百名、建物數地坪數二百七十坪、バラック建築築地小劇場は、銅鑼のけたゝましい音と共に幕を上げた。第一回公演、チエホフ作「白鳥の歌」ゲエリング作「海戰」海戰は開戰でもある。コムマアシヤリズムから一歩も出ない日本劇壇に擧げた開戰の狼火である。さうみるのも無理ではあるまい。

築地小劇場の強味は、常設としての劇場を持つてゐるとにある。新劇團の惱みは劇場難の惱みを必然的に伴ふ。一寸した小舎を借りれば三日間で二千圓位の小舎代を取られるのである。バラック建ての築地小劇場は、此れら群小新劇團にとつては便宜な存在であつた。

築地小劇場上演戲曲は、昭和四年四月現在にて、日本物二十七篇、飜譯物九十篇、飜案一篇、合計百十八篇である。築地小劇場は昨年十二月小山内薫を失つた。今回又俳優丸山定夫、薄田研二、伊藤晃一、山本安英、高橋豐子、細川ちか子六名の脱退を見、續いて、友田恭助、田村秋子の夫妻を携へて脱退した。

後に殘る良き俳優は汐見洋、東屋三郎、東山千榮子、村瀬幸子に過ぎない。技術的に見て最も惜しき脱退者は、友田恭助、山本安英の二名である。この兩人に、汐見洋を加へた三名が常に築地俳優の中心を爲してゐた。

然らば、この惜むべき分裂を生じた原因は何であるか？それは單なる感情問題に過ぎないのである。單なる感情問題から發生した悲劇を我々は此處にも見せられたのである。人間が個人としての感情誤解が人類としての進歩に、如何に多大なる損害を與へてゐるか知れない。そんなことも今更に考へてもみるのである。

築地小劇場全體としての統率者小山内薫を失つたとき、内部の土方派、反土方派の感情問題が露骨に表れ始めたのが重なる原因だと自分は思ふ。尤もそれは、小山内氏在世中からも兩派の小葛藤もあつたに違ひないのだが、大なる小山内氏の存在が、爆發しやうとする反感を、内に内にと押へてゐたに過ぎないのである。

築地小劇場は、土方與志出資に依つて建設されたものである、又同時に土方氏は演出をも兼てゐた。としてみれば土方氏の意志か、或ひは土方臭さが、何かにつけて表れるのは至極當然の筈である。これが反土方派を作つた、いへば土方氏の金權に對する反感が釀されたとでも言ふのだらう。

高濱虛子氏歡迎俳句會

去る廿一日夕滿鐵社員倶樂部で開かれた高濱虛子氏歡迎俳句會は市内は勿論旅順、周水子、貔子窩、瓦房店等より集つた俳人七十餘名尚遠く安東、奉天方面からの投句も有つて近來稀に見る盛會であつた。兼題「日傘」席題「苺」通じて四句、互選の後虛子氏はその選句に就き一々感想を述べ十時近くに散會した。當日の高點句及び虛子氏選句並に作句左の通り

八點句　朱城
繪日傘を疊めば搖るゝ耳環かな
六點句　三堂

砂山の一草叢や蛇苺　三味
城門を出でゝ風ある日傘かな　霞水
傾けし日傘に耳環光りけり
五點句　三堂
いさゝかの苺畑や幼稚園
四點句　默子
わが舌に夏は來にけり初苺　北仙
傾けて二階と語る日傘かな　三耕
繪日傘の水に映りて通りけり　海月
繪日傘や葉がくれに行く乳母車　夜城
磐石にのりたる徑や蛇苺
三點句　双松
繪日傘の街を見下ろすホテル　梅園

初苺摘んで佛へ供へけり　竹老
お針子の思ひ〳〵の日傘かな　日向人
重なりて石段下る日傘かな　藤城
樹洩れ日のちら〳〵當る日傘哉　三耕
馬車の上に傾け合へる日傘かな　浪々
少し外れし蟻の道あり草苺　三福
繪日傘の河面にうつる渡舟かな　方山
木苺や倒れしまゝの道しるべ　紅石
繪日傘や從者連れたる支那婦人
虛子氏選句　水光
日傘人渚はるかに立ち戻り　十三樓
大廣場支那貴婦人の日傘連れ　天潮

敷物に花の落ちたる苺かな　靜
刑務所の中の畑の苺かな　鷗洲
日傘傾け合ひてよりにける　朗月
自働車の埃をあとの日傘かな　夜城
支那服を着て誰彼や日傘　三耕
馬車の上に傾け合へる日傘かな　幸叢
支那馬車に搖られかざせる日傘かな
繪日傘や從者連れたる支那婦人　紅石
虛子氏作句
たゝみたるまゝにかざせる日傘かな
話し來る一つ日傘に出つ入りつ
支那人の黒き日傘もうち交り
つぶしたる苺流るゝ乳の中

『鷄』……常木庄藏氏作

一昨日まで開催してゐた滿洲美術協會展に彫刻が二點出品してあつた、それは常木庄藏氏の『鷄』と習作でその内『鷄』は小品ではあるが氏が最も力を注いだ新しい表現の試みであることが窺はれる、即ち首を斜に左方に向けて何物かを注意してゐる姿勢を基礎とし頭部を實物よりも小さく足を大きくして男性的な力を強調し更に線を出來る丈け單化して美の要素丈けを生かし藝術の本質に徹しようとしたところに作者の苦心の跡が見える

裸蠟燭の影

砥上榮次郎

校舎の下の木馬には、煙る様な銀絲の雨に、紫の雫が滴つてゐた。肩に擔ひだ蛇の目傘の柄をくるくる廻し乍ら、妻皮の高下駄で、落ち落ちた榛の花の地面に、幾遍も幾遍も、虹の欄を架け換へてゐた英子は、ただ一人校門の傍の藤棚の蔭で、人待ち顔に佇立つてゐた。階段の脇の職員室には、もう誰も居殘つては居なかつた。廊下の出口に吊り下がつてゐる鐘が、仲銅の様に淋しく光つてゐる。小使は通りすがり遠くの方に居る英子にお辭儀しながら、澤山の藥罐を提て長い廊下を曲つて、行つてしまつた。便所の横の壁には、松葉帶と塵取とがお行儀よく、四年生、五年生と書いた名札の所に並べてあつた。何處の廻轉窓も、カーテンも締つて、當番の生徒達も歸つてしまつたらしい。放課後の氣味惡い程な靜けさ——ただ當直の先生であらう。ピアノを叩く音か、緩やかに音樂室の方から、ポプラの若葉を漏れて流れて來るのであつた。英子は誰かしら——と考へて見た。そして浮かりこうして立ち盡して居た事が無駄事であつたのに氣付いた。——三上先生は宿直だつたにと呟やく彼女は、何かしらほつと溜息を吐いた。今の今迄どう口を切つたものかと考へ厭んでゐた事で、急に氣拔けした様に蹌踉と歸りかけた。何時も通る往還端の淫祠の前を通り拔ける時、暗がりの街角で裸蠟燭の火影に照して、怪しい繪を賣付けてゐた男の事を思ひ出して眞赤になつた。

宿に戻つた英子は、今日も彼に打明ける機會を失つた事を酷く氣にしてゐた、彼女には是迄に眠られない夜が段々續いたのである。股の間が粘い液でひどく汚れてゐる様な氣持もした。でも猿股が汚れない様になり、月經が止まつて何ケ月になるかしらと、彼女が華奢な指を折つて見た時、人事でなく切端詰つてゐる自分である事を知つたのである。其内に、其内にと思ひ乍ら、今日迄もそうした事を明瞭言へないでゐる彼女は、自分の仕事が恐ろしくさへ思へたのである。

……先生が、先生が……妊娠

そして教壇の上で、急に産氣づいて、月足らずな秘密の子でも生み落したならば……

肩を波打たし乍ら、鉛の様に變つて行く自分の顔色であらう事を思つて、輕い眩暈を覺えた。やつと冷め切つた白湯を一杯注いで、一包の粉藥を飲み終ると、たまらない氣倦さに、袴も脱がないなりで辨當空を抛り出した儘、机の上に打伏してしまつた。

旅の饒舌

教專江南旅行團

(6) 南京の味

僕の豫想してゐた南京は、鐵骨の風景に聳えてゐる青天白日旗である。そして如何に濃くその白日旗を綴どる深紅の色が燃えあがらうとも、南京は冷たい聯想の街である、もし昨日までの僕が、南京に櫻と鴬との存在を聞かされようものなら、それこそ五十の婆アさんと破瓜の美少年とが惚あつて午後三時のニューヨークの眞ん中で抱合心中をした位の荒唐無稽な話でも聞かされたあと位の侮蔑的な哄笑を惜まなかつたに相違ない。それ程に僕の描いてゐた假想の南京は、革命的であり、動亂的であり、國民政府的であり、蔣介石的であつたのだ。しかも何と現實の南京は甘い平和な味にあふれてゐることだ。

僕は幾度か
これが、
これが、
これが南京？……
そんな疑惑的な言葉を繰返した。それは南京站に下りた時のあまりに緊張した敵愾の心が、氣の拔けるまでに有ち碎かれた南京の味の所爲である。パインアップルの味の所爲である。

×　×　×

支那第一だと云ふこゝの城壁を見る爲の途中。左手の古鷄鳴寺に鴬の聲を聞いた。

×　×　×

午後五時。江南の春の陽がはるか彼方の大江の水をほの明るく照して黄昏れかゝつた清涼山頂である。案内の支那親父が流暢な日本語で説く日支親善の言葉。

彼はかう叫ぶ。

「支那人は皆教育がないです。それを宣傳でおだてるのが惡いです。分らない者を宣傳でおだてゝ、つまらない排日を起させるのです。支那人は決して惡くない。上の者が惡いです」

物の分つた親父である。人の良さうな親父である。彼は口を極めて日本と支那とは永遠の信義を重ねなければならないと説く。僕は最もあり得べからざる所で、最もあり得べからざる容姿の人間からの言葉として、偉大なる興味と會心とを感じた。丁寧に辭儀をする事をお誂できたへてゐる親愛なる我等の掘越先生がこのかくれた偉大なる親日家に贊同する快い答辯が疲れた清涼山の夕の幕に開かれた。

×　×　×

南京の第二日。

南京は流石新興の氣に燃ゆる街である。總理の墓に走る馬車の何と輕快な事だ。近く大祭をやると云ふ總理孫文の墓所は偉大である。三民を唱ふる事のおそかりしよと思つたのも僕一人ではないらしい。次に訪れた明の孝陵には總理の墓のモダーンな雄大さに對照する實にふさはしい骨董的な雄大さを感じた。それが如何にも近世に於ける一世の革命兒孫文と、明の太祖事時の大革命兒高祖帝とを象徴してる様な感じをそゝる。孝陵は盛んに改修されてゐた。そして境内には八重の櫻が亂れてゐた。

「革命者なるが故に……」誰かゞセンチメンタルな叫びをあげる。

だがきつと今頃、並んで葬られた二大革命兒は地下で堅い握手を交しながら、お互ひに支那に生れた事の幸福さを祝福しあつてゐるのではないかしら。

兩島に行幸の天皇陛下

龍顔いと麗はしく八丈島を御巡幸

島節を御興深く聞し召さる

大島へ向はせ給ふ

【八丈島三根特電二十九日發】天皇陛下には二十九日午前九時二十分神港より御上陸、行幸の第一歩を印せさせられたこの日大雨に洗ひ清められた草木は鰯が上に緑濃く神港から御道筋の要所に定められた奉拜所には光榮に感激する老幼男女の群早々から詰めかけ威儀を正してゐる、陛下には鈴木侍従長、奈良武官長、關屋次官、望月内相、宮田警視總監、平塚知事等の供奉員を従へさせられ長くも

御徒歩に

て進ませ給ひ、船着場より約二十分にして八丈富士山麓なる飛行場に成らせられたが、龍顔いよく麗しく拜されたが、それより三根女學校に行幸あらせられたが、沿道に於て九十歳以上の高齢者十二名が蓆の上に端坐奉迎せるには大御心を止めさせ給ふた様に拝された、斯くて同十一時二十分測候所御着、藤原博士の説明にて、各地の氣象圖やその他貴重な研究資料を御覽のうへ屋上展望臺に上らせられて八丈富士始め諸方の眺望に時刻を移させ給ふた、次で八丈支廳に行幸、正午勲六等以上の有勳者三名に謁を賜ひ、椿油、木油、黄八丈その他島の物産を御覽のうへ、御晝餐を聞こし召された、かくて陛下には輕快な

登山服に

御召換へあり、ステツキを御携行遊ばされ極めて御輕装で不動の瀧に御登攀遊ばされた、支廳より瀧まで半里、それから田圃道を經て急坂の山道を登らせ給ふこと十七町、途中眺臺に玉歩をとゞめさせ給ひ油繪の如く浮出した村々の景色や眼下に展ける洋々たる海原をあかず御覽遊ばされた、この日豫て支廳の計らひで附近の木立の間に配してゐた島節の名手三名がこゝを晴れと歌ひ續ける、ショメ節に陛下には暫し御耳を傾け給ひ御興深く聞し召された、瀧は三丈餘り昨日來の豪雨で水量加はり非常なる壯觀であつた

陛下には

一時間に亘り御觀賞、また微生物等を御採集になつて午後四時二十分船底土ケ濱に向はせられ、午後六時御乘艦同七時大島に向はせられた

島民の意氣沮喪を忝くも御軫念

望月内相謹んで語る

【八丈島三根二十九日發電】那智に宿泊した望月内相は語る 二十八日横須賀で陛下が那智に御乘艦遊ばされてから安東航空本部長、小林艦政本部長からそれぞれ新鋭那智の戦術的價値に就て御説明をまた、加藤軍令部長から東京灣防備状態につき御説明を御熱心に御聽取遊ばされた、艦内では艦長以下水兵に至るまで御鄭寧な御答禮を遊ばされてゐたのを拜した、尚昨夜は大變な風浪で艦體は隨分動搖したに拘らず陛下には極めて御元氣に渡らせられ「上陸が出來ぬ爲め島民が意氣沮喪しはせぬか」と忝けなくも御軫念あらせられた、然し今朝は天氣良好となつたのでデツキに上らせられ島の状況を御眺望あらせられて非常に御機嫌麗はしく拜せられた

八丈島行幸に至る迄の御模様

野口侍従謹んで語る

【八丈島二十九日發電】天皇陛下の横須賀御發航から二十九日八丈島行幸に至る御模様につき野口侍従支廳にて謹話 午後二時より御航海中戰鬪教練を覽はせられましたが、此の頃より波浪漸く高く先着の長門から「八丈の天氣は險惡にて八重根、神港も波高く御移乘御困難なり本艦も館山に引返す筈、那智も館山に引返し其處にて御移乘を願ひ夜間八丈島に向ふやう奏上しては如何」との無電があつたので、艦内で協議した結果明るい内にと云ふ事になつて三十節の高速力で八丈島に向ひました、途中波愈々高く風益々加はりましたが 陛下には何等御變りなく前艦橋に在りて薄れ行く伊豆七島を御展望あらせられ側近の者と八丈御着迄御物語り遊ばされました、二十九日朝は御移乘が一時間遅れたので御上陸になつてから途中を御急ぎになり三十時御取戻しになりました

早大又勝つ

對加大二回戰

【東京二十九日發電】加州大學對早大第二回戰は本日午後三時より神宮球場にて新田、池田、淺沼三氏の審判にて早大の先攻にて開始され九對零にて早大再勝した、閉戰五時五十分、バツテリー加州大學投手シュミツト、カルデラー、ジヤコブソン、捕手ワイヤツト、早大投手高橋、捕手伊丹

建築工事中三名死傷

昨日埠頭で

二十九日午後四時十五分埠頭滿鐵用度事務所新築工事現場に於て鐵骨の骨組丈け出來上つた三階の中央デレツキで、四十二尺重量一噸四分の鐵材を捲き揚げ作業中、デレツキの基礎が辷り同時に一方のワイヤーロープが切斷し高さ四十尺の大デレツキが右鐵材と共に轟然たる大音響と共に打倒れ墜落するはづみにデレツキの基礎横木の上に作業してゐた六人の支那工人中、山東省濟南府生れ李多賢(二〇)同青州府生れ孫學增(三〇)同李世剛(二〇)の三名が刎ね飛ばされて三階より墜落、孫學增は頭部を碎かれて即死し李多賢は頭部顏面其他に重傷を負ひ鼻口より出血して虫の息となり、李世剛は右脚骨折其他に重傷を負ふた騷ぎに水上署員出張檢視の上死體は請負者が引取り重傷者二名は直に山縣通唐澤病院に擔ぎ込み應急手術を施したが、李多賢は生命覺束なく李世剛は生命には別條ない模樣である（寫眞は現場）

新義州に愈よ鐵鋼會社を設立

資本金七千萬圓で

兼二浦や本溪湖鐵をも消化

【安東特電二十九日發】新義州に製鋼會社設置計畫は行惱んで居たが、今度やうやく進捗し鞍山製鐵所を分離して獨立會社とすると共に二千五百噸爐の熔礦爐一基を据えて銑鐵の増産を圖り、鞍山にて銑鐵及び鋼鐵の半製品を造り精製品は新義州に資本金七千萬圓にて製鋼會社を設置し、製品積出しの爲め安東縣六道溝に經費五百萬圓にて築港設備をするまでになつて居るが更に進んで原料品の補充の爲め滿鐵は朝鮮に於ける三菱兼二浦製鐵所及び大倉礦業本溪湖製鐵所と提携し、この出鐵を新義州の製鋼所で消化するの計畫を樹て、既に三菱大倉組に對し交渉を開始したと

教育映畫に就て興味の深い講演

昨夜滿鐵社員倶樂部にて

橘氏講演會の二日目

我社主催橘高廣氏の映畫に關する講演會は一昨夜に引續き二十九日午後七時半より社員倶樂部食堂に於て開催、先づ最初に滿鐵情報課の撮影にかゝる實寫「ハルビン」の多二卷を映寫し講演に移る橘氏は肥滿した體軀を壇上に運び

「私は現在警視廳で映畫の檢閲をやつてゐるかのやうに傳へられて居ますが、實は映畫の檢閲には關係はしてゐないのです」

と冒頭して教育映畫についての題目の下に先づ兒童の映畫觀覽問題より說き起し教育映畫の取扱ひ方映畫の教育的價値等に關し氏獨特の諧謔を交へ最も平易に最も趣味的に講演し、最後に「よい映畫は見せ惡い映畫は見せないやうにしたい」と結んで話を終つた講演の後再び實寫「滿蒙を開拓する者」二卷を映寫九時過ぎ散會した

梨本宮邸井に投身自殺

【東京二十九日發電】市外澁谷町梨本宮邸内の井戸に廿五歳位の色白面長の美人が投身自殺してゐるのを二十八日夕刻發見した、身分あるものらしく取調べ中である

水上署射撃會

大連水上署に於ては廿八廿九兩日市民射撃場に於て、射撃大會を開いた、成績は左の如し

▲小銃 一等四十二點内野巡査、二等四十一點奥巡査、三等三十九點島田警部、四等三十九點金井巡査、五等三十九點田上巡査 ▲拳銃 一等四十七點島田警部、二等四十五點寺田署長、三等四十二點奥巡査 ▲團體 一等警務、二等司法、三等高等、四等甲部外勤、五等乙部外勤

紛失品の辨償

滿鐵々道部新制

滿鐵々道部では從來物品の紛失に關して一般社員が甚だしく輕視する弊がありとし今回之が矯正の爲め鐵道物品辨償規定を制定責任者に辨償せしむることゝし十月一日から施行に決した

二十餘名の死者を出す

樺太で大火事のため

【豐原二十九日發電】二十八日惠須取町山火事の爲め八百戸燒失し樺太工業製紙會社全燒し死者二十餘名を出した、尚盛に延燒中

【東京二十九日發電】樺太工業會社も山火事延燒の爲め全燒とあるも東京の同會社への入電に依れば工場は無事であると

獨立守備隊新入兵

大連驛發時刻

獨立守備隊新入營兵は三十一日夫々任地に向つて出發するが大連驛發時間は左の通りである

△第一大隊一九一名（公主嶺）午後五時三十分發 △第三大隊一九一名（奉天）午前十一時發 △第二大隊一九一名（大石橋）午後十時發 △第四大隊一九一名（連山關）午

奉票暴落の餘波邦商美豐號に及ぶ

店主の嚴談に押收帳簿は返還

官憲檢擧續行を揚言

【奉天特電二十九日發】既報の如く支那官憲では奉票暴落阻止の窮策として廿九日朝一齊に奉天城内支那錢鈔の帳簿檢査を行ひ義和永も帳簿押收の厄に遭つたので田中次郎氏經營の美豐號小西門外支店では定期賣買を行つた形跡ありと氏は支那警察に出頭しその非を詰つた結果、投機を行つた形跡なきこと判明、帳簿を返還したが、支那當局では更に憲兵隊を動かし第二次の檢擧を敢行すると當業者を威嚇してゐる

滿日社友會懇親會の盛況

藝者の驛傳競爭など

あって主客歡を盡す

第四回滿日社友會懇親會は二十九日午後六時より扇芳亭にて開催、西山崎滿日社長、西片滿洲報社長、村井滿銀頭取、原田光次郎氏等の來賓を迎へて會衆四十餘名、先づ主客の挨拶ありて後宴に移り、餘興として滿洲日報の滿蒙十五鐵道驛傳競爭にあやかつて、藝者の驛傳競爭等あり、主客歡を盡して同九時過ぎ散會した

客を裝うた北崗子の强盗

小崗子署に逮捕さる

二十八日午後九時五十五分北崗子十五番地一六六雜貨商劉兆慶（五〇）方に相當の身裝をした一名の支那人が訪れ米を買ふ振をして突然拳銃にて主人を脅迫し小洋百圓を强奪逃走したが、屆出に依り小崗子署にては直に手配し被害者が何處かで見た事のある男だと云ふので必ず附近に住む者と目星を着け探索中二十九日午前十一時五十五分妾の兄柴町二丁目四ノ一四李連辛方に潜伏中を逮捕した、此奴は金州管内西門外前科一犯陳玉江（二〇）と云ひ拳銃は黒く塗つたブリキ製の玩具で北崗子海岸に遺棄してあつた物を用ひたもので目下餘罪取調中だが近來この種の玩具のピストルを持つて强盗を働く者が殖え當局も手古摺つてゐる

星陵畫伯揮毫

目下滯在し一般の揮毫に應じつゝある畫伯渡部星陵氏の爲めに今回同郷の先輩小日山直登氏を始め松岡洋右、田中千吉等の諸氏の後援に依り、書會開催中である、氏は東京美術學校本科の出身で同校教授、寺崎廣業、川合玉堂、結城素明の諸大家より將來を囑望せられて居る今回泰西の美術と風光とを研鑽せんとして、歐米漫遊の途上にあり。畫領は山水花鳥を最も得意とする處で、希望者は眞弓町三荻原哲藏方、若しくは若狹町二三二柴田博陽氏方へ申込まれたしと

美容美髪競技會

今回帝國通信大連支社では設立五周年記念の催物の一として大連美容美髪業組合後援の下に六月十五日午前十時より歌舞伎座に於て大連全市の美容美髪師競技會を主催するが、大連では最初の試みで全市の美容美髪師が一堂に會し一般觀衆の面前で各自獨特の秘術を公開競演すると

香典返し

市内紀伊町四八田中道夫氏は亡父田中武生田香典返しの意味で本社を通じ左記に金一封宛を寄贈した

慈惠病院、婦人ホーム、智光院大慈園

正誤

昨夕刊三面「邦人毆打事件」の記事中傷害犯人中華青年會蹴球部員とあるは中華基督教青年會の誤り

けふのラヂオ

昭和四年五月三十日（木曜日）

自午前十一時 相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）

自午後〇時三十分 相場（特産、錢鈔、各地相場）ニユース

自午後三時三十分 相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）ニユース

一、ニユース
二、謠曲 頼政 梅若流岩村櫻處
三、筑前琵琶 石田三成 法祭山大賀旭染
四、義太夫 岸の姫松三段目、飯原兵衛館の段 太夫藤本富士三 三味線竹本佐太夫
五、三曲 若菜 三味線富森大檢校、箏森廣子、尺八森介山
六、支那唱 珠簾寨 唱瀉筱翠、師付王鎭泉
七、料理獻立
八、天氣豫報
九、ラヂオ體操

夕刊 **滿洲日報** 五月二十九日

（日刊）明治卅八年十二月二十五日 第三種郵便物認可　昭和四年五月三十日　THE MANSHU NIPPO　（木曜日）　第八千二百七十九號　（一）

學良氏通電を發し 中央擁護を聲明
大勢蔣介石氏に有利なりと見て 東北四省の態度決定

【奉天特電二十九日發】過般來の蔣介石、馮玉祥兩氏間の軋轢に關し東北四省としては、未だ何等表面的の意思表示をしなかつたが、大勢は蔣介石氏に有利との見極めがついたので、廿八日附を以て左の如き中央擁護の通電を張學良、張作相、萬福麟氏等以下七十餘名の連名の下に中央黨部、國民政府蔣主席、國軍編遣委員會等宛に發した

凡そ國家の官吏たる者は中央に服從し政端の輔弼に挺るべきであるに劉郁芳等の通電を見るに蔣主席を誹謗し黨國に對し背反行爲を瞭にして居る、諸政は公議に決すべきであるから若し主張あらば直言するも可なりであるに輕々に戰端を醸し、鐵道を破壞して交通を遮斷し、又は糧秣を抑留して人民を苦しむ、其の罪實に大である、今や赤化の跳梁橫溢の際、學良等黨國に忠を盡し中央擁護の志人後に落ちるものでない

馮玉祥氏の下野で 戰亂の危機を脫せん
孫良誠氏のみを元兇として 南京政府で處罰か

【上海二十八日發電】韓復渠、石友三氏を寢返らせ大勢を轉換せしめた殊勳者は何應欽氏である、初め馮軍の結束固く蔣介石側不利の形勢の下に南京で最高軍事會議が開かれた時急遽漢口から歸京した何應欽氏は蔣介石氏其の他の悲觀說に對し必ず韓復渠、石友三氏を寢返らすべきを誓ひ爾來全力を擧げて買收に努め遂に成功し馮玉祥氏の手足をもぎ大勢を急轉せしめたものである、而して馮玉祥氏下野せば中央側は部下軍隊を罰せず時局を平和的に解決すべく廣西派も旣に弱つて居り戰亂の危機に直面した支那は暫く小康狀態となるものと見られてゐる、なほ廣東政府は馮軍將士の中央に復歸する者は之を許すが孫良誠氏のみは元兇として査辦に附する模樣である

中央に歸順した 韓復渠氏の魂膽

【上海大矢特派員廿八日發】韓復渠氏の中央歸順經過は最も信ずべき筋よりの消息なるに鑑みて蔣馮間の戰爭は實現すまいと信ぜられるが韓氏の中央歸順には次の如き魂膽があるとみられる

南方に於ける廣西派の發展はかばかしからず馮氏に積極的に戰を挑むも勝味なき結果南京から韓復渠拋込みにかゝつてゐるのを利用し韓氏をしてひと先づ中央に歸順せしめ其の間には河南の麥の收穫も終るのでそれをもつて西北へ退却せんとする計畫即ち韓氏をして西北軍の退却を掩護せしむる策略ではないか、なほ韓氏は從來より河南政府主席ではあり且つ今回の歸順の功により河南が韓氏の手に殘ることは確定的で河南を韓氏の手に殘して置けば河南は依然馮の地盤として殘るわけだ、韓氏の中央歸順といふもこれをもつて直に韓氏が馮氏に寢返つたとみるのは早計であるのみならず實は却つて馮氏の窮餘の一策に過ぎぬかも知れないとみられる

韓氏の態度
馮派に打擊
舊同志に通電

【漢口廿八日發電】中央服從の態度を闡明した韓復渠氏は李興中氏の第二十師一萬五千を率ひ武勝關に向け移動してゐる、韓復渠氏は舊同志に電報し

自分は馮司令に對し全然弓を引く意志はないが國內戰爭を欲せず且つ河南省首席として再び戰禍を嘗めさせ度くないので和平的解決を願つて中央に歸順するのである、諸氏が自分の衷情を諒察さるゝことを望むと云つて來た、韓氏の此の態度は曾て結束を誇つた馮派に對し重大なる打擊で馮氏は無茶な態度に出でず結局下野外遊して將來に備へる途を執るであらうと

滿蒙鐵道驛傳競爭
貨車利用に成功し 紅班有利に展開
白班の第三走者神藏選手は 今夕ポクラに到着

怪電報問題を解決して紅白兩班の第二、第三走者は孰れも所定のコースを走つてゐる、即ち白班の神藏選手は廿八日午後七時十五分哈爾賓發ポクラニチナヤに向ひ廿九日午後五時半同地着、三時間を經て八時半發の西行列車で直に哈爾賓に引返す豫定である、此の邊ダイヤは紅班よりも好都合に行きさうな形勢にある、又紅班の第二走者木村選手は廿八日午後八時廿分敦化發の貨物列車を利用して吉林に引返し廿九日午前八時吉林發吉海線に入つた、即ち此の行程は先日白班が不幸にして成功しなかつたものが紅班によつて達成されたのであつて從來の經過から見て動もすれば不利と想像された紅班の行程の上に極めて有利な展開を與へたので兩班の競爭はいよ〳〵接戰狀態となつた

木村選手
輝吉線入り

【吉林特電二十九日發】紅班第二走者木村選手は二十八日午後八時二十分敦化發貨物列車に便乘して引返し今朝六時廿六分吉林歸着、直に吉林總站に到り八時發列車にて朝陽鎭に向つたが、氣貴はれた貨物列車が運轉したゝめ木村選手は豫定のダイヤより一日を短縮し得たと語つてゐた

秋山、加藤 兩選手歸社

紅班の第一走者として去る十九日大連發以來滿鐵本線、四洮、洮昂、齊克、呼海、東支の各線、此の實走行程約三千哩を十日間にわたり走破した秋山選手は、白班の第二走者加藤選手と共に廿九日午前八時廿分大連驛着歸社した、秋山選手は大陸經驗のあるコースであつたが加藤選手は四洮、吉長、吉敦、瀋海等初めてのコースを順序よく踏破して白班のダイヤ運行を確實ならしめた兩選手とも元氣である

きのふ中央黨部に 孫文の靈柩安置
夫人等泣崩れて哀愁一入深く 南京第一夜を過す

【南京二十八日發電】孫文靈柩は二十八日午後二時過ぎ中央黨部に到着大禮堂內に入り本館正面玄關に向へる前にとゞめられた、次で宋慶齡未亡人、蔣介石氏夫人宋美齡、孫文の令孫等親族家族は向つて左に、吳稚暉、胡漢民、蔡元培、蔣介石、陳果夫、林森、于右仁氏等の中央黨部要人は右側に整列して迎へた、一同最敬禮裡に二十餘名の靈柩捧持者が孫文の義兄孔祥熙氏指揮の下に靈柩を玄關から大禮堂に運んだ、大禮堂正面には等身大の故孫總理の寫眞を揭げ其の兩側には「革命未だ成功せず」「同志須らく努力せよ」の孫文の遺訓を書いた對聯を掛け天井は青天白日旗、菊の花輪で裝飾されてゐた靈て正面机上に安置さるゝや軍樂隊哀の曲を奏し諸員最敬禮裡に喪主孫科氏花輪を捧げ靈前に進み之を手向けた時には宋美齡、孔祥熙氏夫人等はよゝとばかりに泣き崩れ哀愁一入深きものがあつた、一同黨歌を歌ひ默禱を捧げ三鞠の禮をなした後式は終り散會したが、孫科夫妻、宋慶齡、孔祥熙夫妻、宋美齡女史等の孫文の靈柩前にしめやかな御通夜をする、六月一日奉安祭の政府首席、各院長の連名の祭文は蔣介石氏が朗讀することゝなつた

日本側 參列者の立並び

遺族等 は今夜中央黨部

外人參列者は日本人のみ
犬養翁の外約三十名

【南京二十八日發電】孫文靈柩移靈祭に我犬養翁はフロックコートにシルクハツト、頭山翁は五つ紋附羽織袴の扮裝で宮崎滔天未亡人等婦人連は黑紋附白襟姿で隨行員二十餘名と共に孫文氏親戚の資格

柳條溝事件 圓滿に解決す
支那側見舞金を贈る

【奉天特電二十九日發】既報去る廿六日午後四時頃柳條溝の我守備隊分遣所附近に於て支那人群衆の爲めに小山軍曹及び朝鮮人李參玉が負傷を受けた事件に就いては率天總領事館より嚴重抗議中のところ廿八日金公安局長から陳謝と共に小山軍曹及び李に對しそれ〴〵見舞金を差出すことゝなつて圓滿に解決した

鐵道改善の 材料を供給せん
米國が支那への投資 結局一億ドル程度を實現か

【東京二十九日發電】支那鐵道の全國的統一及び根本的改善のため鐵道部長孫科氏の委囑を受けて過般來支せる米國各鐵道會社代表オ1ダー博士は目下多數の專門技師を指揮して鋭意鐵道現狀調査中であるが最初アメリカは鐵道投資を一手に引受けんとし米貨五億弗までの出資を應諾してゐたが調査の結果甚だ理想に遠きものたること判明し五億弗の出資は到底覺束なく一億弗程度の改善材料の供給を實現するだらうと見られてゐる

支那代表に 抗議せん
カラハン氏から

【哈爾賓廿八日發電】露西亞總領事館は本日平常通り執務してゐるがメリニコフ總領事は傾相を築農政府に打電し請訓中である、なほモスクワに於てはカラハン氏からモスクワ駐在支那代表に抗議するはずであると

田中大使 近く歸任す
奉天通過は 四日頃

日露漁業條約改訂に關する打合せ其他の用務を帶びて久しく滯京中であつた田中駐露大使は島田同大使館附書記官帶同、六月一日午後九時廿五分東京發列車で朝鮮經由直行歸任する旨滿鐵に通知があつたが多分一行の奉天着は四日午後二時となるべく目下例の邦人の自由出漁問題等が紛糾してゐる際ではあり同大使の歸任は可成り注目されてゐる

【東京二十九日發電】此の日中央黨部大禮堂で列席した、此の日中央黨部大禮堂に參列したものは僅に八十餘名に過ぎず、其の內日本人が二十名加はつた外外人は一名も參加しなかつたことは日支兩國の關係が離るべからざるとを國民政府要人の胸に深く刻みつけた如くである

拓務省案可決さる
けふの樞府本會議にて

【東京二十九日發電】樞密院定例本會議は二十九日午前十時宮中東溜間に開會、去る二十五日政府が再諮詢の手續を取り天皇陛下行幸前樞府に御諮詢になつた左記拓務省官制並に之に伴ふ諸案件十一件を上程した

一、拓務省官制々定に關する件（去る二十三日第三回精査委員會で政府原案の拓殖省の名稱を拓務省に改め實施期六月一日の豫定を同十日に延期し又朝鮮部を特設し朝鮮總督の上奏權を拓務大臣を經ず直接總理に依り上奏する等修正を加へたるもの）
一、各省官制通則中改正の件
第一條 拓務省追加
一、奏任文官特別任用令中改正の件（拓務省理事官追加）
一、拓務省理事官特別任用に關する件
一、臺灣總督府官制中改正の件
一、關東廳官制中改正の件
一、樺太廳官制中改正の件
一、南洋廳官制中改正の件
一、鐵道省官制中改正の件（滿鐵の監督權削除）

右につき金子精査委員長から去る七日第一回精査開始以來の經過並に結果につき報告あり直に審議に入り二、三顧問官から質疑あり田中首相初め政府側委員より說明をなしたる後採決に入り內田、石井兩顧問官反對したるも結局政府が再諮詢を仰いだ原案即ち金子精査委員長の報告通り修正案を承認可決し午後一時五分散會した、依つて倉富議長は此の旨直に行幸先に奏答申し上ぐべき手續きを執つた

政友政調役員と 黨幹部の聯合會
きのふ本部にて開會

【東京特電二十八日發】政友會の新政策に關する調査項目を決定すべき政務調査會役員と黨幹部の聯合會は二十八日午後本部に開會協議の結果、本年度の調査會の進行方法として

一、前年度より引繼ぎたる事項即ち社會立法、思想問題、稅制整理、對支問題、教育制度、產業立國の具體化、貴族院改革、行政整理等公選舉法改正、知事公選等は新設特別委員會又は各部會に調査を委託すること

二、今期議會で審議未了となつた重要諸政策も同樣右特別委員會又は各部會に調査を委託する

三、今年新に特別委員會を設け調査すべき事項は、（イ）產業振興に關する國家施設、（ロ）公私經濟に於ける冗費節約、（ハ）失業難、就職難對策、（ニ）金融制度及國際貸借改善、（ホ）農村生活安定 農村經濟 の改善の 五項とする

尙政務調査會を來月四日開議承認を求むることゝした

政府の言動に 民政黨警告

【東京廿九日發電】民政黨は最近財界の動搖相當深刻なるものあるについて政府當局の不謹愼輕卒なる言動が動もすれば其の原因をなすものありとし之が對策につき協議を練つてゐたが二十八日協議會の結果いよ〳〵六月二、三日頃大會に代るべき兩院議員と評議員の聯合會か又は議員總會を開いて黨として正式態度を決定することゝなつた、當日は濱口總裁起つて金解禁に關する所信、財界對策と政府の處置等につき詳細演說し政府に警告を發し輿論に愬へる

神鞭理事上京

神鞭滿鐵理事は來月二十日東京に於て開催される滿鐵株主總會に出席のため山本社長より一足先に二十日滿鐵午前八時

萬國工業大會

【東京廿八日發電】數年來の懸案たる萬國工業大會及び動力會議は愈〻今秋十月廿九日より一週間に亘り帝國議會議場にて行はること〻なり目下着々準備中である、我國に萬國工業大會を開催するに至つたのは大正十三年ロンドンの動力會議席上加茂正雄博士が說明したに端を發し、斯波男爵も勸說に努めたもので既に各國より參加決定の專門家工業家は四百二十餘名に上り內地の參加者を合せば二千名に上る見込みである、尙總裁に秩父宮殿下を奉戴し首相を名譽會長とする筈である

人事

▲森岡正平氏（芝罘領事）廿九日得利號にて來連直にばいかる丸にて上京
▲神鞭常孝氏（滿鐵理事）廿九日出帆のばいかる丸にて上京
▲川上精一氏（獨立守備隊附步兵大尉）同上
▲熊本縣立宇土中學生一行八十三名 同上歸校
▲宮崎縣教育會第四回鮮滿地方視察團一行二十四名 同上
▲福岡市西南學院高等部生一行十八名 同上
▲山下汽船東光丸船員一行二十一名 同上歸任

大觀小觀

◇馮派がへコたれたのを見て安心して閻責の通電を出した奉天政團は、さすがに頭が好い。

◇遠方の火災に賴まれもせぬ消防隊を出して、飛火が近くに燃え移らうとしてゐるのを知らぬらしい

◇スポーツでは日支親善が出來てゐる。驛傳競爭も支那側の大歡迎を受けてゐる。あまり排日々々の際に固くならぬことだ。

◇拓務省漸く生まる。事務次官だけ決まつて、大臣が出來ない。乃ち首相兼攝とある。

◇三億元の奉票大受渡しの翌日暴騰と來る。檢擧すれば相場が昂るのだから仕事がしよい。

歌集

木蓮　長尾昌一

君おもふさみしきことを旅に來て胸にも病むかかなしかぎりに

命數を靜かに花の散る夕ゝ生命終れば終れ今今

吾れ知れる總ての世界未知の世界任しまつらむ人はあらずや

宿世てふ因果ふかくなるもかかるさだめに生れたる吾か

現實の歎かはしさに追憶の頁をくるはいかにさみしき

やまず雪小路も大路もうづむ夜さ君忘れしやかの日かの頃

天氣豫報

三十日（晴）南西の風 一時曇り

日出四時卅一分 日沒七時十一分
滿潮午前二時 午後二時三十分
干潮午前八時 午後九時三十五分

驛傳競爭成績

◇……十九日午前八時十分開始
◇……廿九日午前八時十分現在

紅班 踏破鐵道 二一一七・九哩（實走行程三一四一・三哩）
白班 踏破鐵道 一六六五・一哩（實走行程二五四八・九哩）

聖上陛下御恙なく けさ八丈島御上陸
艦載水雷艇に召れて

【八丈島神港二十九日發電】御召艦那智は廿九日八時神港着、那智、長門、五十鈴の三艦から二十一發の皇禮砲を發射し次で那智檣頭の天皇旗は艦載水雷艇に移され、陛下には八時五十四分長門に御移乘皇禮砲轟く中を長門から艦載水雷艇にて九時二十分御恙なく御上陸あらせられた

天候快晴に復し 歡喜、全島に漲る

元村近村四ヶ村小學生約六百名が午前四時ごろ元村に參集、青年團員七百名も同じく奉迎する筈で三原山は二十九日全部登山者をとゞめ全山登山道の大掃除と共に消毒を嚴重に行つた本日の天候の模樣では元村に御上陸にならう、此の場合は午前七時御召艦長門は元村沖着、八時五分御乘艇同二十分御上陸、四里餘りの嶮岨な三原山道を御踏破午後五時波浮の港御出港關西に向はせられる御豫定である

【八丈島八根廿九日發電】昨夜風浪高きため八根港沖の那智に御假泊の天皇陛下には今朝同港より御上陸の御豫定であつたが、颱風未だ全くおさまらざるため御豫定變更午前六時御召艦は神港に廻航した、島民は雨にもかゝはらず、午前二、三時頃より八根、神港兩港海岸を埋めた、御召艦那智は以下を從へ午前八時神港に入港したが此の時風も漸次靜かになり波のうねりもおさまり快晴となり島民の潮の如き萬歲の聲が沿岸に渦巻いた、午前八時十分天皇陛下には艦上に伺候した平塚府知事、和田第一師團長等に謁を賜つた

愈ゝ明日は 大島へ
元村御上陸か

【大島元村廿九日發電】卅日陛下大島御上陸地は當日午前二時決定御召艦より大島支廳に無電で通達されることになつてゐるが、御上陸地點が豫定通り元村なる場合は

實滿野球 爭霸戰前記
三選手を加へたる 實業團の新陣容
守備の堅實を恃む滿倶も 油斷をゆるさぬ

今年の滿倶の多士濟々であるのに對し實業團の陣營を見るに洵に一種の寂しさを感ぜざるを得ない、今年新に加はつた選手は鮮鐵から來た木下投手、釜山商業出の渡邊捕手、滿倶投手團の一人藤枝君と共に松山高商の二壘手として聞えた梶下選手、京阪商業からきた橘本選手で、木下選手が岩瀨投手を輔けて

善投する ことは勿論であるが岩瀨君がプレートに立つ場合には右翼に入るであらう、渡邊捕手は中等學校を出て間もないことであり、古つはもの達の多い實業の連中に伍して捕手の重任が勤まるかどうかといふ點が實業の勝負の間に相當懸念されてゐたが先輩の岩瀨君その他の熱心な指導激勵と、自身の不撓不屈の眞劍な練習の結果昨今では岩瀨、木下兩投手の剛球を輕く捕球するやうになつた、二壘投球モーションと一、三壘走者に對する牽制が

更に進境 を示せば一段の努力によつて中學選手級から脫離することが出來るであらう、唯一つ一般から案ぜられてゐるのは實滿戰のごとき大觀衆を集める、そしてエキサイトする大試合に臨んで少壯選手にありがちな、極度の昂奮狀態に伴ふ心理的動搖より來る焦燥に災ひされぬこと、卽ち人に醉うてあがらぬやうな精神的の落つきが必要だといふので、先輩も當人も專らこの點に留意してゐるので、試合當日は案外の

出來榮え を示すかも知れない、次ぎは安藤二壘手が他の壘に廻つた場合、當然二壘に入るべき梶下選手は倭軀短少ではあるが左利きで敏捷隼の如く、強肩ではないが守備は頗る好い方である、以上の三選手の打擊は特に異色のある方ではないが、渡邊、木下兩選手は長打、梶下選手は短打で何れも好い當りをしてゐる、宮武、安藤、高橋、福山、中島等の

強打者に 交つて相當の成績を示せば守備の堅實を恃む滿倶にとつても決して油斷の出來ぬ相手であらうと思はれる、以上新入選手を交へた實業守備の位置を豫想すれば大體左の如くである

投 捕 一 二 三 遊 左 中 右
岩瀨 渡邊 平田 安勝 安藤 梶下 高橋 宮武 福山 中島 木下

活躍を期待の 新加入選手
實業(右)上―梶下二壘手、同下―渡邊捕手(右)木下投手

獨立守備隊 新入營兵
明朝着連する

本年度滿洲獨立守備隊に編入された第一、二、十四師各團の新入營兵七百六十六名は三十日午前九時入港の海福丸にて來連するが滿鐵では同日午後四時半から協和會館に將校以下全員を招待して歡迎會を催す可く當日は活動寫眞、少女舞踊等各種の餘興のほか辨當茶菓の饗應をなし繪葉書等を贈つて大任を帶びた新入營兵の遠來の勞を大に犒ふと

兒童四十名 死傷す

【靜岡二十九日發電】惠須取廳附近の山火事次第に猛烈となり二十八日朝に亘り全町に危機迫り小學校燒失し生徒四十名の死傷者を出だすに至つた

心臟の音を 東京から放送
慶大の久保博士が
我ラヂオ界では最初の企て

【東京特電二十九日發】東京放送局では家庭講座として毎週一回生理學を放送してゐたが、今回右講座擔任の慶大教授加藤基一博士が米國に赴いたので慶大助教授久保守德博士がその後を擔任することゝなつた、同博士は

來月四日 火曜日午後一時四十分より心臟の音を放送することゝなつた、此の放送には米國ウエスターン會社の電氣聽診器を使用するが、大體ステーションの構成器と同樣の原理で心臟の原音を忠實に出すため非常に精微な構造を有するマイクロホンによつて心音が電氣の波に變化しこれを數倍に擴大するものであつて當日の放送は成人の心音と

マラソン 選手の心音及び兩人を驅らせた後の心音、兒童と大人の心音、兎の心音特に兎の神經に刺戟を與へた後の心音で放送局最初の企であるだけ多大の期待を以て迎へられてゐる

人妻の家出

市內財神街五番地山本神勵方竹下丈作妻キン(二九)は二十八日午後八時ごろ夫婦喧嘩をして家出し間もなく何處からか電話を掛け「永々お世話になりました是でお別れ致します」と夫に告げた儘所在不明となつたので家人は小崗子署に搜索方を願出た

大連映畫界の 急・行・展・望
(上)
立花高四郎

門司で抱へ込むだ滿日の一束、洋上平穩のあまりに耽讀した、(但映畫關係ばかり)耽讀するに堪へる程左樣に映畫方面の記事が多いのに驚いた譯だ、貴紙に對して甚だ失禮な申分ではあるが、正直に申上げるとさうなのである。其折將に大連映畫館は改造期に達して居る「大日活」並のものがドシ〳〵出て來てよい樣な記事があつたと思ふ、それで大連着即夜に市內各館を大急ぎ、最大急行で廻つて見たのである。疾走中の列車の窓から驛名を讀むだ位しか、大連映畫界に就いての知識はない。けれど私の眼に映つた印象を無秩序に書きつけるとかうである

×

映畫館の多くが、最初からその目的、映畫館として建てられたかどうか、お話によるとあながちさうでない。つまり改造して映畫館にしたのがあるさうで(改造映畫館と云ふ感じは全く如實に見せられた、して見ると改造期、達して居る所の騷ぎでない、達し過ぎて居る、經營難と云ふ聲もあるとかで、容易なことでないに相違ないが、その問題に觸れずに考へると、何と云つても達し過ぎて居る。それよりも大連市民諸君――フアン諸君はよく我慢して居る、知識階級の方々が應接間を奇麗にして御夫婦で蓄音機にきゝ惚ることはあつても、常設館へ行く氣にはなれないと言ふが、私は成程アノ樣子では御尤も至極である

映畫興行の不振(もしありとするならば)は當業者諸君が求めてやつて居ることであつて、消極的態度の結果と見なければならぬ、千客萬來の設備を盡してそして尚且不振なればそれは眞の不振であらうが、來られない樣な仕打をして置いて、不景氣をかこつのは考へ直す必要がある。映畫館は私的に考へたら金儲けをする場所かも知れぬが、一面社會敎育方面から考へたら文化學院でもある、こと改めて固くするにも及ばぬが、映畫館の使命を少しは考へてもよい。

僞醫者遂に捕る
ふたりとも浪速町で

醫師を裝ふて良家を訪れ得態の知れぬ藥を押賣して暴利を貪る惡漢が市內を徘徊する事を大連署で探知し搜索中、廿八日午後一時頃市內浪速町二丁目先を通行中の二人の男を擧動不審と睨み同行取調べの結果、右は市內伊勢町山岡旅館止宿原籍長崎市大浦町三一山下久三郎(五四)同市松山町七四河野慶次郎(五三)と云ひ先月初め頃市內乃木町尾辻清方で高貴藥なりと稱して怪しげな藥を廿五圓で押賣りしたのを初め外八ヶ所に於て同樣の不正行爲を働いた事を自白尚餘罪ある見込みで引續き取調中

軌道に石を積んで 列車の顚覆を圖る
營口行の旅客列車危く難を免る
きのふ奉天柳條溝で

【奉天特電二十八日發】二十八日午後四時五十分奉天驛着の營口行第二十二號旅客列車が奉天柳條溝守備隊分遣所の附近に差懸つた際線路上に直徑約三十サンチもある岩石十數箇も積重ねあるを同列車の看守が發見し、直に列車を停車し該岩石を全部取退けて發車したので漸く顚覆を免れたが同地點はこれまで度々斯かる事件があり、しかもそれは子供のいたづらとも思はれず、同日は張學良氏の誕生祝の準備のため支那側も大警戒してゐるにも拘らず、これを默過してゐるとは全く支那側で故意にしたものか、それとも官憲の煽動によるものであるとしか思はれぬので日本側關係者も非常に緊張して犯人の搜査につとめてゐるが一方總領事館からも嚴重抗議を申込む筈である

鮮人を毆打して 肥料車を奪ふ
犯人は支那巡警こ判明
奉天の排日愈ゝ甚し

【奉天特電二十九日發】最近支那官民の對日輕侮の觀念は鮮人に對する迫害となり被害頻々たるものがあるが廿八日鮮人原農場內の鮮農崔成萬は城內に肥料を購入に行つた際西北門外に差掛ると彼が鮮人なるが爲めに邊に居た巡警に荷車の上から引降ろされ袋叩きにされた、崔は命からぐ〵に逃げ歸つたが朋輩の鮮人が急を聞いて駈けつけた時には既に遲く加害者は勿論肥料積の荷車も蔭も形もなく支那警察も相手にしない、此の爲在奉鮮人の神經は昨今非常に苛立つてゐる

馬に蹴られて 支那人死す

二十八日午前九時ごろ香爐礁三區二二四劉作禮方門前で同家馬車夫左連平(三七)が馬を引き放して居た處突然何物かに驚いた馬は狂奔し通りを步いてゐた同四區四一劉在香(三五)は蹴倒され腦震盪を起して人事不省に陷つたので、直に同壽病院に擔ぎ込み醫師の手當を受けたが間も無く死亡した、加害者劉は業務過失で目下沙河口署に於いて取調中

播磨町警官派出所

新設の市內播磨町(電車交叉點)警官派出所は六月一日から事務を開始する

中華青年會蹴球部員ら 十二名けふ起訴
邦人四名を毆打、重傷を負せた

去る四月二十八日小崗子寶來街一番地に於て市內若狹町鵜瀨牛次外三名を毆打重傷を負はせた傷害犯人中華青年會蹴球部員田聯甲外十一名は大連檢察局池內檢察官係で取調中であつたが、罪狀明白となり二十九日起訴され、六月六日公判に附せられることゝなつた

男は女のどこに

心を惹かれるか?各方面の名士が『あゝ美しいな!』と感じた印象を婦人俱樂部六月號に發表!

中央公園內の辻强盜は 僅か十九の支那人
ゆふべ虎溪橋附近に潛伏中を 發見、格鬪のうへ逮捕

夜の大連を脅かした辻强盜搜査のため所轄大連署では連夜署員を督勵し中央公園一帶を警戒中、廿八日午後十一時ごろ公園內虎溪橋附近の木蔭に潛伏してゐる怪しげな男を張込み中の佐々木巡査が發見誰何すると件の怪漢は脫兎の如く逃走したので同巡査は警笛をならして追跡

應援の 庄司刑事、今谷巡査、張巡捕と共に大格鬪のうへ逮捕し、本署に引致嚴重取調べると、右は山東生れ當時若狹町車夫合宿所內無職柳長勝(一九)といひ、懷中に刃渡り一尺餘の支那刀を所持してをり、去る二十二日中央公園內で田部豐次郎を脅迫三十五錢を强奪したのを手初めに連夜附近に出沒し宮下某、松山某、小田某を襲ひ強盜を働いた旨を自白した餘罪多數の見込で引續き取調中

けふ華北運動會 盛大に擧行さる
北陵新グラウンドにおいて
わが學生選手ら招待

【奉天特電二十九日發】參加選手二千名その規模に於ても前例なき第十四次華北運動會は時恰も孫文移柩祭に當るので張學良氏も開催を躊躇してゐたところ、二十八日午後三時南京政府より差支へなしとの電報に接したので六月一日を休むことにして二十九日朝八時より北陵新運動場にて擧行に決した

先づ青天白日旗の掲揚

孫總理 肖像への三鞠躬禮、遺囑の朗讀、三分間の默禱など全然國民黨式の儀式があり八時三十分より男子の百米突競走より競技開始された、午前十一時となるや張學良會長は夫人以下多數を同伴臨場、始終熱心に競技に見入り時々夫人と何やら私語し愉快さうであつた、今回の第十四次華北運動會は民國十年奉天で行はれたほか、多く北平、天津、保定、大原、開封、濟南に於て開催され

奉天こ してこれが第二回目である、日本側よりは岡部平太氏等張學良氏の招待で各專門學校學生選手團を引率して參觀した

◇…奉天松島町の神木は廿五日除撤去したが、滿鐵では祟りを恐れる支那人夫を督勵して地下五尺ほど掘り下げたところ二百餘發の小銃彈が飛び出して二度ビツクリ、該小銃彈は日露戰役當時露兵の隱匿したものだと

全く驚歎に價する獨逸の製鐵鋼業

徹底したその「產業の合理化」

滿鐵顧問　伍堂卓雄述

三

自分はこの事に就て、英國の勞資協調に功勞のあつた元のサー、アルフレツド、モンド其の後改名した卽ちロード、メルチエツトを訪問したとき、左の樣な問答をした事がある。

自分が「產業の合理化の意義如何？」と質問したのに對し彼は言下に答へて曰く「常識！」と。

で、自分は「產業の發達は激烈な競爭に依つて行はれると云ふのが、從來の常識であつたのに、近頃では同業者の聯合又は共同經營に依つて產業の繁榮を圖らんとの傾向となつて來た。卽ち常識の推移とも云ふべきで、單に常識では解釋出來ないではないか」と反問した。

所が、これに對し彼は「競爭のみに依るのは前世紀の常識だ！」と、こともなげに一蹴した。

これは素より一場の餘談であるが、英國は一體に斯う云ふことを餘り喧ましくせずこの「產業の合理化運動」の如きも、時代常識に依つて解釋してゐる樣である。

四

それは兎に角、獨逸の產業合理化の具體的方法としては、次の樣なことが着々と行はれてゐる。

伯林に一大事務所を設け官民合同の種々の調査會が設けられて居る。其の中の一例をあぐれば「獨逸工業規格統一調查會」と云ふのがあり、各種の工業用規格統一に關し調查研究し、其の結果に基き具體案を定め以て之を實行せしめつゝあるが、これを略稱して「DI・N」シイステムと云ひ、今日では世界的に權威あるものとなつてゐる。

日本にも商工省内に規格統一調查會はあるが、未だ議論倒れの域を脫せず、却々實行は難しいようだ。それに比べて「DI・N」シイステムは調查會設立後五年目に旣に完全に確立し、單に國內においてのみならず、これを[illegible]となつた

國外にまで及ぼしてゐる。實に羨ましいことだ。

これはホンの一例に過ぎないが、その効果の適確なるは眞に驚く可きものがあり、從つて獨逸の經濟的復興力は素晴らしいもので、今日に於ける獨逸の產業的地位は世界に於てもアメリカに次ぐ優勢さを占むるものと云はれて居る。

五

而も、一方獨逸の債務は、利子支拂だけでも年額二十億麻克、ドウズ案に依る支拂額二十五億麻克を加へれば、實に四十五億麻克の巨額に達し、之を年々國外に支拂はねばならぬ譯である。

試みに、それを邦貨に換算して見ると、約二十五億萬圓弱で、現在日本の國債は五十八億圓に達して居ると騷いでゐるが、これ位の債務は、獨逸が年々國外に支拂つて居る金額で、三年以內には完濟する事が出來る譯である。

獨逸は斯の如く巨額の債務を支拂ひながら國內の產業は着々として復興し、しかも金利安く、物資豐富な諸外國と競爭し毫も負け目を感じない處、其經濟的の力强さ眞に測り知り難いものである。

百萬噸に上る粗惡炭處分

成るべく安くして供給し他の燃料と對抗せん

山本滿鐵社長は過般撫順炭礦視察の際粗惡炭の處分に關し活用の必要意見を述べたが右に就いて小川販賣課長の語るところによれば

粗惡炭の量は作業場所並に採炭計畫の如何によつて年々異るが大體總採炭量の一割乃至一二分位ひで、先づ撫順の粗惡炭は百萬噸內外である、將來石炭の產出改善の爲め錆炭或はカロリーの少いもの又は「挾み」等を普通炭から販除くので粗惡炭はもつと增える見込みである、從つて之が有利なる處分は甚だ必要なことである、現在は炭礦の自家用として六七十萬噸市場賣りは三四十萬噸である、而して市場賣りは現在では粗惡炭に高い運賃をかけて遠くまで運ぶは馬鹿臭いので奉天、鐵嶺、遼陽等手近かな方面へ賣捌くことにして居る、又他燃料に對抗するため安くして競爭に仕向けてゐるので今日でも相當有利に消化してゐる

河豆二重徵稅解決の請願

哈市商議より外相へ

【哈爾賓發】當地河豆の二重徵稅問題に關しては商工會議所關稅委員において對策を講究中であつたが、廿七日取敢ず外務大臣並に關東廳に對し左記の如き請願書を提出し正式に該問題の解決を計ることゝなつた

【前略】松花江埠頭發哈爾賓着土貨に對しては一九一〇年北京における露支議定書第六條に基き輸出關稅を哈爾賓河關にて徵收し滿洲里及綏芬河關經由により、之を外國に輸出する場合に於ては再度の徵稅をなさざることに相成居候處之を南滿諸港經由にて輸出する場合は右輸出港において再び輸出關稅を徵收せられ居る實情に御座候、本件に關し吾が當局は大正十二年以來度々支那側に對し折衝を重ねられたる歷史あるもその結果は依然曖昧模糊として荏苒今日に及び【中略】川物土貨を南送する場合は採算全く不引合にて永年その取引杜絕致し居候松花江航運により哈爾賓に搬集せらるゝ大豆及び小麥は每年四十萬噸以上にして年々その產出高增大致候【中略】右事情により本件解決方を支那政府に取り急ぎ御交涉被下度此段奉請願候

外人經營の製莨工場

州內に移轉か

【奉天發】遼寧省管內の外人關係煙草關係製造業者は煙草稅賦課に困らされてゐるが、殊に英米トラストの如きは一時支那官憲との間に紛糾を生じ納稅を條件として解決したが、最近中機煙公司の如きも關東州內に工場移轉の議擡頭し來り、その他に於ても附屬地內に倉庫建設の計畫を樹てゝゐる模樣であるが、之が實現の曉には東亞煙草會社の蒙る影響は甚大なものであらうと云はれてゐる

賣方の大手筋を投機犯として引致

奉票忽ち五百元暴騰

【奉天特電二十九日發】官銀號死物狂ひの活躍も大勢如何ともすべからず廿九日朝は六千元を突破するものと豫想されてゐたが、奉票は、今朝支那官憲で賣方の大手筋と見做さる、小西門內支那錢鈔義和永にいたり投機犯として番頭二名引致と共に帳簿を押收し去つたので、奉天取引所では五千五百九十元に寄附いたものが高値五千六百二十元より五千四百元に、昨引けより五百元方暴騰した、此の爲め市場は稍混亂狀態を示し市場當事者は證據金徵收の爲め立會を中止した、此の日前場出來高八百六十三萬六千元である

三萬噸の制限

撫順炭を五ヶ月間

內地に於ける送炭制限率五分增に取つて之に應ずることゝなつた期間は五月から九月まで五ヶ月間で撫順炭の制限量は三萬噸であると關し石炭聯合會から滿鐵にも交涉があつたが滿鐵としても根本計畫に齟齬を來さぬので一致の步調を[illegible]

諸株配當豫想

大連株式市場では現物取引の左記株式を三十日後場から左の通り配當落として取引することに決定

銘柄	配當
豆新株	四十五錢
商信株	三十一錢
錢鈔株	六十二錢五厘
郊外土地	二十三錢

南滿一帶の水田

播種は極めて順調　月末迄に終了せん

【奉天發】南滿洲一帶に亘る水田の播種は本月上旬から開始され、現に大半は之を終了し、本月末までには全部終了する豫定であるが、本年は播種期前に適當の降雨ありゝあると播種も順調に進み、氣溫も上つてゐるので芽先良好である、尙その他農作物も今の處順調に發育しつゝある

滿鐵大汽聯絡運賃も値上

商船聯絡に追隨して

滿鐵大連より門司、神戶、大阪に至る汽船運賃を左の通り改正來月一日から實施することゝなつた

大連より阪神間に至る滿鐵大阪商船聯絡貨物運賃中一部穀物の運賃の値上を見たが之に追隨して

△豆粕百斤に付十二錢を十四錢に△大麻子、小麻子、蘇子、蕎麥、麵子、棉實百斤に付十六錢を十八錢に△落花生(皮附)百斤に付二十四錢を二十七錢に△其他の穀類及種子類百斤に付十四錢を十六錢に△滑石、マグネシヤ、白土一米噸に付二圓二十錢を二圓五十錢に△苦土石ドロマイド一米噸に付二圓七十錢を三圓に改正

鴨綠江の流筏順調

【安東發】解氷以來今年は殊に降雨少く江水も著しく減少して木材並に大豆等の流下に對し支障を感じてゐたが過日の雨にて上流地方一帶に約二尺內外の增水あり水量頗る順調となり流筏並に河豆の出廻り、頗る活氣を呈し殊に河豆の如きは恰も需要期のことゝて一日五六千石から八千石の到着を見取引も急に活氣を呈して來た

着筏漸く增加

【安東發】料棧側の着筏は四月下旬以來弗々到着し二十六日までに四百二十五臺到着した、直營材は例年より遲れ、今月十七日初筏を見て以來每日三四臺宛新材が到着し、二十六日迄に三十臺一萬八千尺締に達したが、料棧、直營兩者とも昨年度に比し著しく減少してゐる、然し昨今水量豐だから、六月中には可なりの多數に上る見込であると

數字に現れた滿洲の財界

大連商議書記長　篠崎嘉郎

九、勞銀

滿洲に於ける日本人は內地に比して一般の生活程度が高く從つて勞働者の賃銀も比較的高價なるを免れない、然れども支那人勞働者は生活程度極めて低きを以て勢ひ其の勞銀も低率である殊に一定の職を有せず普通雜役に使用されて居る所謂苦力に至つては更に一層低率である

≡此等≡の勞銀も一般物價の高低に比例して騰落するを常とし滿洲に於ては大正三、四年より漸騰し同七、八年財界の好況に伴れ各種の新事業勃興し同時に建築界の殷賑を極め勞働者の需要著しく喚起したので從つて日支人の勞働賃銀も一齊に昂騰した

と同樣の≡徑路≡を辿り十年、十一年は反落し十二、十三年は再び騰貴したが其後漸落を告ぐる情勢となつた

今試みに大連に於ける大工、左官、施工、木挽、煉瓦積職、屋根職、鍛力職、硝子職、畳職、疊職、經師職、活版職、洋服職、鍛冶職及人夫に就て大正二年を一〇〇とした日本人及支那人の累年指數を見るに大正三年より漸騰し五年に日本人一一〇、支那人一二四二に上り九年に至つて日本人二三七、支那人二四七に奔騰した十年、十一年は稍や低落したるも十二年より再び騰貴し十三年には日本人二五三、支那人二一一に上り十四年再び下押の觀を呈したるも好況時の七、八九年より遙に上押の形勢で昭和三年には日本人二四二、支那人一八五になつた。而して支那人が日本人に比較して騰落の甚しきは銀相場の變動に依る結果である。卽ち大正二年より九年迄は大勢漸騰にありたることは物價に於けるさうして日本人の勞銀が戰前一〇〇として二四二であるに不拘支那人の方は一八五であるといふのは銀建の結果であらう是れは獨り勞銀に限らず物價に於ても同一であつて、從來金は價値の變動最も少なく通貨の購買力を安定せしむる最適の金屬として世界に尊重されて居たのであるが、何ぞ料らん上海に於ける事實は却て銀貨國の物價こそ能く安定を保つたことを證して居るのである。

團體巡り一時休載す

目下記事輻輳に付當分休載す、何れ、掲載する豫定であるから未掲載の同業組合、其他の經濟團體中進んで材料及寫眞の提供を得ば幸甚です（經濟部）

宮內省の郵船株

四百萬圓で三菱が買收

【東京二十九日發電】嚢に各務謙吉氏が白仁武氏の後任として郵船の新社長に就任したについて、三菱では名實共に各務氏を後援する目的の下に過般來宮內省の持株である郵船新株（十二圓五十錢拂ひ[illegible]

黄塵

◇…五月の中央公論を觀ると東京の某雜誌文士が「經濟的に見た田中外交」と題して滿蒙問題に論及して居るが、その內容噴飯に價するものが多い。

◇…その一例を示せば「滿蒙の特殊權益を算盤で彈くと滿鐵資產の四億何千萬圓かに過ぎない、これを擁護する爲めに一個師團以上の軍隊を駐在せしむるのは算盤に合ない」てな調子。

◇…算盤が聞いて呆れる、こんな算盤が知つたか振りに滿蒙問題を論ずるのだから堪つたものではない。

◇…歐細聯合會の創立記念、月に二回「現金販賣デー」の催しは結構。

◇…但しその代り年中「不廉賣デー」の催しであつてはならない。

市況

[illegible]

平安異香（3）

葉多默太郎 作　中一彌 畫

非常線（三）

栖倉右京太夫樣の御邸を、小一丁の目前にして俄に周章てだした彌陀六、──こいつはいけねエ。一體おつうちやんはどんなつもりでゐるんだらう。このまゝ栖倉樣へ擔ぎ込まれると事は忽ち露見と來らあ。おつうちやんはもとの牢へ逆戻り、俺は御主のお手かけの女を誘拐したてんで首が飛ぶ──

「おつと待ちな、待つてくれ」

思はず叫んだ彌陀六。

「へえ？　どうしました？」

歩きながら振向く輿丁。

「お前達は一體何處へ行つてるんだ」

「何處へつて、それそこの栖倉樣、それがどうかしましたかい？」

「うん、なに、違はあ。栖倉、栖倉樣ぢやねえや。す、すみ、すみよし樣だ。住吉樣へ御參詣だ」

彌陀六は、一生懸命、汗をかきかき叫んだものだ。輿丁はとぼけてゐる。

「へエー、住吉樣？　さうですかい、そいつは飛んだ聞き違エだ。お客樣、栖倉樣でなくて住吉樣へ御參詣なんですか？」

「あゝ、さうでござんす」輿の中からおつねの地聲を殺した艶な聲だつた。

「あたしや住吉樣へ詣でるつもりでござんすよ」

「しつかりしろよ、兄い」

「うん、だが相模さんは確に栖倉樣へ送るんだと云つたやうだつたがなあ」

輿丁は笑つてぐるりと向を變へた。

「御苦勞だな」

彌陀六はすたこら輿について往く。芋虫のやうな眉の奥で酒に濁つた眼が笑つてゐる。

それから濱傳ひの攝津街道、御影の濱を過ぎて住吉までは四里半はあらう、輿が住吉明神の大鳥居の前に下された時には、陽はすつかり傾いて、山麓に湧いた夕闇が波のやうにひたひたと、冷たく迫つて來る時分だつた。

「うまい都合だつたね。六さん」

「うむ、うまい都合だつた」

輿丁が邸へ歸つて、この方角へ逃げたと知れて、直ぐ追手がかゝるとしても二時の間は充分かゝる。まづまづこれで逃げ了せたといふものだ──と思ふと、俄に女はぐつたりとなるのだつた。

俄に氣疲れが出てくたくたと崩れるやうに路傍の松の根に腰を下すと、その硬い松の根からも、足を下してゐる土からも、冷冷とした夜氣が身内に滲みて、腰のまはりが金のやうになつて來る。輿に乘つてゐた時からチクチク痛んでゐた胸先がキリキリと錐を揉み込むやうな苦痛になつて來る。熱い茶の一杯も飲めば助かるのだがと思ふが、それさへ叶ひさうもない場所であり時でもある。

「いまいましい唐變木だ」

無闇と、間の抜けた彌陀六の面が癪に障つて、思ふさま張飛ばしてやりたいやうな苛々した氣持になるのだが、藥にでも縋りたい場合なのでじつと我慢をしてゐるおつね。

「六さん、これからどうしたものだらう。こゝ迄逃げて來るのは來たが」

「どうするつておつうちやん、お前はどうせ京へ行くんだから、この足で直行からうぢやねエか」

「行かうぢやねエか、もいゝが、あたしや先刻から胸が痛くつて堪んないのだよ。足だつて凍えて動きやしない」

「つつ、おつうちやん、お前は二口目には敵々といふが、そんな氣の弱い事で色の怨みが晴らせるのか」

「その時にはその時の氣持になるのさ」

「怪しいもんだな。第一お前の方から御前樣に首つたけだつて云ふぢやねエか。それがうるさいんで納屋へなんぞへ押籠められたつて……」

「くどいね。自棄になつた女がどんな事をするか見てゐるがいゝ。お前だつて、そんなに愚圖愚圖云ふなら世話にならないよ。さつさと何處へでも勝手に往きな」

「なにもお前、そんなに血相變へなくたつて。さあつかまんな」

云つて差向けた戸板のやうな廣い背へ、おつねが負さつて頸玉にかぢりつくと、それから二時間ばかり、物も云はず歩き續けて、大物の浦へかゝつたのが今で云ふ八時過ぎ、ふつと彌陀六が立停つたかと思ふと、

「變だぜ」と云ふ。

見ると、行手の方の樹隱れに、六ツ七ツの灯火だ。長刀らしいものも見える。捕棒も見える。何か物々しい大捕物でもあるらしい様子だつた。

映畫と演藝

淺野舞踊團 大好評 今夜も開催

滿鐵社員倶樂部並に大連高等音樂院舞踊科主催滿鐵社會課後援の淺野童謠民謠舞踊大會の第一夜は二十八日午後七時半から協和會館に於て開催されたが、可愛い少女達の洗練された舞踊と巧な照明でいづれも大喝采を博した、殊に淺野ユリ子孃の舞踊は素晴らしい出來榮であつた、尚今夜も引續き開催されるが、少年少女達の情操教育に適はしい催しものとして各方面から歡迎されてゐる

梅澤昇の劍劇來る 歌舞伎座に

劍劇團梅澤昇一派が村上演藝部の招聘で六月初旬來連し歌舞伎座で開演することになつたが、演出物は澤正の出世狂言と目されたもの許りを選び國定忠治、月形半平太等を他の劍劇團の追從を許さぬ眞劍な立廻りを以て上演すると、また觀劇料も大衆本位として破天荒の料金で安く面白い芝居を見せると【寫眞は月形に扮した梅澤昇】

發聲映畫雜話（四）

矢野クニジ

トーキー製作は從來の無聲映畫の撮影方法を根底から覆へした。而も其の撮影たるや我々の豫想以上に困難で我國での最近の試作はどれもこれも殆ど失敗である。撮影には非常に鋭敏なと云ふより神經質なマイクロフオンがある爲め、雜音一切禁物で準備萬端が整ひ、俳優が所定の位置に就いたならば、

サイレンス！

と先づ叫び、次に、

インターロツク！

と、命ずる事により俳優のアクシヨンが初まり音響防止になつたキヤメラ、ブースの中では、モーターによつてキヤメラは音も無く廻轉を初め、俳優の動作は普通の如く一秒時十六マス位の速度で撮影されて行くのである。同時に一方レコーディングルーム內ではキヤメラの廻轉と全くシンクロナイズして大型の蠟圓盤も廻轉を初めて音響をレコードして行くのであるが、何故にフキルム、メソツドに斯く二重に音響を記錄するかの理由は後に讓るとして、マイクロフオンに依つてピツク、アツプせられた音響─臺詞は制禦されたマイクロフオン電流となり、眞空球の擴大裝置にて所要の大きさ（二十萬倍─百萬倍）に擴大せしめて撮影機內に導き、こゝに裝置せる一種特別な白熱電球を、この擴大電流によつて直接點火せしめるのである。モウこゝまで來ればシメたものであるが、この特種電球には一寸說明を要する。同くフオレー博士の苦心の發明であつて、フオーシヨン電球と命名され、適當に排氣された硝子球內にセリウム、モリブデナイト等の金屬を鍍金したフキラメントより成り、光りに對して非常に鋭敏な感度を有し、而も最も大切であるところのタイム、ラツグが非常に少く毎分三千回程の電流の脈流即ち一種の交流に對してまでも忠實にシンクロナイズして、其のフキラメントの光輝度を變化すると云ふ、一種特別な白熱電球なのである。

滿洲日報

滿洲日報

內亂終熄すべきや

◇馮玉祥氏が果して下野したか何うか未だ確められて居らないが、孰れにしても、中央政府に對する反抗を斷念し、甘肅に還り、時機を見てロシアに赴くに決したといふことはもはや確定的の事實と見て宜い。乃ち蔣介石氏を中心とする南京政府は、眼前の難局を無事切り拔け得て心措きなく孫文移靈祭に奉仕し大に黨國の基地を固めることが出來るのは、中國民衆のために欣ぶべしと謂はねばならぬ。

◇然しながら、之を以て一切の內訌が終熄したりと見得るであらうか。極左の大立物汪兆銘氏を中心とする一派は、廣西派と結んで擡頭の機會を狙ひ、既に大體の陣立が成立したと謂はれて居り、一方馮玉祥氏の下野なるものも、其の腹心韓復榘氏の躊躇のため一時開戰を見合はすといふだけであつて、甘肅、綏遠地方に根強い勢力を有する馮氏は、復びロシアと提携することによつて、捲土重來を期してゐることは想像に難くない。斯く見れば、今回の安定も果して何時まで續くか疑問である。

◇我等は強て事態を過大に見やうとするものではなく、又民國の內亂を拍手して悅ぶといふやうな心持は寸毫も有せぬのみならず、支那大衆の康寧のため常に之を憂へるのである。從つて現在の各勢力者が一日も速に渾然融合し、私利私慾の爭ひを拋つて、國利民福の增進に專念し兵火の對抗を廢して、言論の抗爭の時代に移らんことは、夙夜我等の切望する處に他ならぬ、若し蔣馮兩氏の正面衝突が、幸に回避された今日を一轉機として、支那の兵燹が永久に根絕されたならば、幵は單り民國人の幸福のみに止まらぬであらう。

◇北滿のクーデター

嘗て北京に於てロシア公使館に對しクーデターを行ひ、外交問題を惹起せる前例を有する支那官憲は、又もやハルビン及びポクラニチナヤに於いて同樣の手段を敢行したと傳へられる。支那側の主張する處によれば、勞農官憲は馮玉祥系と相呼應して、東北四省赤化の重大なる陰謀を企てつゝあつたといふことである。果して事實か何うかは不明であり、或は風聲鶴唳の類であるやも知れず、或は又之を口實に東支線問題を一擧に解決せん底意であるかも知れないのであるが、從來の經過及び露支國境方面の近狀より見れば、全然無根の事實でもないやうに考へられる。

◇問題は寧ろ今後に在らう。支那側の高壓態度に對するロシアの反撥の相當の強力なることを想像せねばならぬと共に、從來孜々として營まれつゝあつたソウエートロシアの外蒙政策が、馮玉祥氏の中央進出蹉跌と共に一層具體化するであらうといふことも想像せねばならぬ。孰れにしても滿蒙は多事多端となるであらう。我等は張膽明目して推移を監視する要がある。

滿蒙鐵道驛傳競爭

齊克線で面目一新せる齊々哈爾の繁盛振

自動車に驚き走る野兎の群

(第十一信)　チ、ハルにて　秋山紅班選手

◇十年振りに見たチ、ハルの姿は齊克線の敷設によつて面目を一新した。齊々哈爾驛前に乘合自動車が十餘臺並んでゐるだけでも其の變遷の跡が窺はれ、新開地の都市と云ふ感じがする。この自動車が車輪を沒する泥濘のうねに波濤を蹴つて疾走するのであるからウカウカすると車からほうり出されさうな氣がする、自動車に馴れない地方民はもの珍しさうに見てゐる城內の雜沓と、素晴らしい勢ひで延びて行くこの市街は益々發展の餘力を想はれるに充分だ、今は萬福麟氏が省政府主席委員として權勢を握つてゐるが、南方政府からの指導員代表派遣には反對の樣子である。

◇其の萬福麟君が私財三十萬圓を投げ出してホテルを造る計畫があるとかで、黨政府になつた今日でも主權者は金儲けには決して拔け目がない。城內各方面の對日思想は奉天、吉林に比較しては左程でもないが、矢張り依然として餘り香しからぬ風潮があり、日本人に對して一切土地を貸與してはならぬと云ふ密令を發してゐる。

◇チチハル城の將來は齊克線が延長し訥河、嫩江に至り黑河に達して初めて北滿中部穀倉が開拓され經濟的により一層惠まれる時代が來るであらう、元來黑龍江省省城として探塞が設けられた原因はロシヤとの關係による軍事的必要に迫られた爲めであるが、今はロシヤの勢力失墜とはいへ新興ソウエートロシヤの思想勢力と外蒙、コロンバイルの聯盟運動が伏在してゐるので前途は決して樂觀を許さないものがある、郭道甫君のコロンバイル獨立運動は郭君の逮捕省政府の懷柔策で一時挫折した樣子にあるが、全然終熄したのではない。當時外蒙に遁竄した德明泰君が時々糸を引き再擧を計らんとしてゐるので哈滿司令梁忠甲君は遼寧省政府に對して飛機、彈藥、重砲等の武器送付方を要請してゐる但し今直ぐ擧兵をせんとする程に危機は迫つてをらぬが、何とはなしに風雲低迷の形で將來の禍として殘された傾向はある、この點は黑龍江省のもつ不安の一つであらう。

◇日本人の居住者は百數十名であるがソウエート聯邦代表者として領事もゐる早川公所長夫妻の厚意で晩餐を共にし所長獨特の對滿政策の名論を聞かされ暫時休憩、夫妻から「一路平安を祈る必勝を期せられたい」との激勵を受け、城頭高く朧月かゝる北滿の春宵、うら冷やかな露を含んだ平原を自動車に身を托して東支齊々哈爾驛に向ふ、一望遮ぎるもの無き平野はうす明りに照らされ大海に孤舟を泛べた如く自動車はヘツドライトを一縷の賴みとして進む、道路は凹凸甚しく少しく進路を誤ればいづこの涯に至るやも知れぬ方向を支那人運轉手は無闇に疾走する、時々この魔の如き異樣の怪物に愕いた野兎が畑中から飛び出し右往左往する、同車した加賀山局長は「斯う云ふ情調と風光は到底內地でみられぬ」と感嘆する。

◇其夜齊々哈爾驛前唯一の日本旅館昂榮館に宿る主人の井杉延太郎君は滿鐵公所の案內係として齊々哈爾に出張したきり家には歸つて來ない、ランプの火影で照り出された旅館は昔の女郎屋であつた樣式を備へてゐる、旅客の少いので經營も却々容易でないらしいが、勿論設備も充分でない、唯親切な點が旅情を慰める、夫妻は昔ハルビンで料理屋を經營してきたことがある舊知の人であつたが、語らず去る、翌朝午前一時廿七分加賀山局長一行と別れて滿洲里へ！、バラバラと降る雨を冒して旅館から驛まで砂路を辿る、北滿の夜、星は落ちて四邊は陰慘の氣が漂ふ

吉長の車窓に見る紅い陽と豐穰な土

支那人に判らぬ「リレー」の字

(第十一信)　吉長車上　加藤白班選手

◇白班びいきの齋藤車掌と別れて長春驛に下車、丁度五時十五分神藏支局長、田上警部その他多數の人々の出迎を受ける、神藏氏とは戰友だ從つてかゆい所へ手の屆く樣な周到ぶり、十五分間にライスカレーをかき込んで吉長鐵路の人となる、漸くたそがれ時、旅愁がグッと込みあげてくる。支那鐵路の夜は私の前に大きな不安となつて擴つてゐる。

◇美くしく堀返された畠地が兩側に眞黑い豐穰な色合を見せてゐる。ねぎの一尺許り、菜種の八寸許り、生々としてゐる、羊、馬、牛、豚が窓外至るところに放牧されて慣れぬ目に奇異の感を起させる、吉長路は四洮路と共に民國國有の鐵道で、全線營業哩は一二七哩七であつて、開業當時は經營頗る困難であつたが最近收入の增率を見たものであると、先驅は私に數へて與れた。

◇最初のダイヤグラムでは長春泊りの筈であつたが、幸運は我軍に吉林まで足を延ばさしてくれたのだ、勝たねばならぬと云ふ意氣込みだ。寢なくても好い、一哩でも遠くまで飛びたいのだ支那人が物珍らしげに肩にかけた白たすきを見乍らブツブツ云つてゐる、リレーと染め出した片假名が解らないのだ。

◇日本の片田舍に行くとよく曲がりくねつた木橋をゾロゾロ人が通つてゐる、興隆山、伊通河、龍家堡を通過する、一帶に地帶平坦、河流の灌漑よく肥沃の土地であるが、只一面巨大な太陽は眞赤に染まつてコロリと西方に沈んでしまつた。只一人の旅だ歌でも唄へ幸ひ一等の客車には私一人だ、大きな聲で唄つてやつた。いつの間にか飲馬河に來る、昔、高勾麗の駐兵した大城子がある、この邊楊柳の多いのが目につく、暫く行くと濁つた水の河を渡る。この河からこの街の名が出たさうな、下九臺、營城子、土們嶺を過ぎる頃全くの宵闇と化した。さあいよいよ淋しい、慌ただしい旅である丈けに一つの村一つの山にも何かしら名殘惜しいものがある樣な氣がする。こゝらの支那人は氣が荒いと聞いてゐたが、案に相違實にオツトリしてゐる、哈大門、粉刀王、さては仁丹なんかの廣告が人家の壁にベタベタ貼られてゐる。今夜の八時半吉林着の豫定。

◇—蒙古婦人の風俗

市長問題と助役、收入役

若翁

投書歡迎　新聞行數五十行以內のこと　中傷を目的とするのは採らず

一、吾輩は一旅行者であるが最近論議されてゐる大連市長問題について自由の立場から少し批判して見たい。

一、問題の基因は市長選擧の際滿鐵系の議員が現市長石本氏を選擧するに際し小數賀前助役を留任する事を條件としてゐたといふ處にあるものゝやうであるが、かゝる條件なり密約なりがあつたとすれば其の罪は双方にある、斯る密約條件が即ち政治の腐敗の根源をなすもので「明るき」行政を希望する市民は絕對に反對なるのみならず正に將來監視する必要があると思ふ。

一、但し一面より觀測すると双方に理由はあると思ふ選約せる市長に對し村田議長が憤慨辭職するのも當然であるし市長が板挾みになるも當然である。

一、玆に於て助役を（收入役は問題外として）事務官とするか政務官とするかに依而本問題は解決すると思ふ、政務官的にするとしたなら市長に一任するが先づ隱當であり又政治道德上當然の義務である。

一、助役收入役の否決に依る結果市長に辭職を強要する理由は無いと思ふ。助役收入役選擧は議事日程として上程した一議案に過ぎない其一案が一票の差で否決せられたる理由を以て市長が辭職する先例を作るは大連自治行政の發達を阻止する者で必ずや惡例となると思ふ、市長としても自分の推薦者たる候補者が反對派の爲めに否決せられたりとせば宜しく反對派に對し候補者を推薦せしむるが好い、又否決した反對派も政治道德上より好き候補者を推薦する義務がある。

一、殘る所面子の問題であらう、市長の面子村田議長の面子否決候補者の內海氏の面子問題である。政治の要諦は反對派を餘り窮地に陷いれ無い程度がよろしいと思ふ、村田議長並に革新派市議の一考を希望する

一、大連には多士濟々、市の長老もある事故對市長問題も此邊にて打切り村田議長の辭表撤回、助役の選擧を圓滿に解決せられん事を希望する

一、市長の議員兼任問題は法規上差支無しとするも市長當選と同時に辭任議員する先例を作り度いと希望する、石本市長もし助役問題解決と同時に實行す可きであると思ふ

排日運動首謀の學生十名を放校

◇—支那側の芝居か

【哈爾賓】當地支那紙の傳ふるところによると去る二十二日から二十五日に亘つて斷續的に行はれた哈爾賓國民救國會主催の排日示威運動には學生の參加を嚴禁されてゐたにかゝはらず第一中學生がその

禁令を冒して該運動に加はつたことが後になつて發見されたので張長官は教育廳長に對し首謀者十名の放校處分を命じた、然るにこれを聞いた一中生は右放校處分にあつた十名の者は全部優秀生ばかりであり且全學生の犧牲となつたものであるといふので大擧して長官公署に押かけ長官並に教育廳長に對し右十名助命方を請願したが長官は頑として聽諾せず十名の放校學生に旅費三千元を給し本年學校を卒業するものは大學に送り未だ在學中のものは他校へ

轉校せしめることゝなつたと傳へてゐるが、これは全く支那側の芝居で曾て八木總領事が發した抗議に對し張長官が學生の排日運動は一切禁止すると回答した言質に對する責任回避の手段であると見られてゐる

農民の貯藏穀物遂ひに强制徵發

稈、高粱の食法も研究さる

沿海州の食糧缺乏

【間島】沿海州方面の食糧缺乏に就ては屢報の通りであるが最近某情報機關に達した調査によれば浦鹽斯德に於ては本年二月上旬コペラチーヴ食糧賣出しに一層制限が加へられ共産黨員、各種職業組合員並にその家族に對してはパン及び副食物一日大人一フント半、小兒一フント、一般市民に對しては購買券所持者に限り一フントを

供給することゝし一般市民は購買券を得る爲め三錢づゝの手數料を支拂ひ二時間乃至四時間長い列をつくつて待つといふ有樣で時間外は一切販賣せぬ爲め購買券を持つてゐても買へないまた購買券は發行當日のみしか通用しないので翌日は新たに下附を受けねばならない、而して最近に至つては食糧益々缺乏をつげ一日一人四分三フントまで量が減ぜられる事もあり、帝制時代の一人當り二フント半乃至三フントに比し約三分の一に

減ぜられたわけである、地方に於てもまた食糧の缺乏深刻を極め大麥、燕麥、米等が漸次主食物の地位を占め來り最近には粟稗、高粱等の食法が極力考究されつゝある狀態であるが當局は都市の食糧缺乏を緩和すべく非常對策を講じ農民の貯藏穀物を集める爲め、ゲ・ペ・ウ員を派遣して臨檢せしめ公定相場を以て強制買上げを行ひ隱匿者を發見すれば全部沒收の手段に訴へてゐる。從つて一般物價の昂騰も著しく農民中には被服に窮する結果

麻袋を衣服に仕立て着用してゐる者もあるなど恰も原始時代へ逆轉した觀がある、以上の如くで三岔口ボグラニーチナヤ地方から支那領へ移住するもの續出し此の現象は收穫期までに愈深刻化するに至るべく或は憂慮すべき事態が勃發するのではあるまいかと惧れられてゐると

排日月刊雜誌

章廳長が計畫

【間島】吉林省政府民政廳長章啓槐氏は民政に關する月刊出版物を發行することゝなり六月十五日ごろ創刊號を發行するとの事であるが同氏は名うての排日家である處から其の內容は必ず排日記事で充たされ之を以て反日思想の鼓吹に努めるものと見られてゐる

滿日詩壇

賀出岡喜代女士新婚　韓宗東

學通東亞又西歐、際此桃夭賦好逑、宜室宜家昌百世、紀元佳節祝千秋（女士紀元節生）

賀田岡喜代女士新婚　楊希三

郎才女貌結同心、璧合珠聯滿古今、韻雅風流輝漢史、齊眉好合靜如琴

賀田岡喜代女士新婚　劉雅溪

絕艶清標兩不群、天教玉女配參軍、賀方南國才吟絮、藝擅東瀛巧運斤、一代文壇欣續、九重春色喜平分、瑤琴調作同心曲、半洽閨風半入雲

恭賀出岡喜代女士新婚之喜八首（錄一）　瀋陽　趙德闓

蛾眉畢竟惜娉婷、故教詩書受過庭、志在相夫方下嫁、身因繼父好傳經、瑤琴錦瑟停花燭、雲髻香鬟擁玉、南望迢迢看銀漢、紅鸞禧護女牛星

文藝

新劇の危機
—(滿洲に素人劇出でよ)—

青木實

(三)(つゞき)

新劇協會は今年創立十周年だつたそうで、五、六月頃その記念公演をやり、プロ作家葉山嘉樹作「海に生きる人々」を脚色して上演するとの事、以後河上肇の「貧乏物語」なぞも脚色の上、上演するとのことだ、そして寂しい新劇界に最も時代に適應したものを上演すると新劇協會のピカ一畑中蓼波氏は言つてゐるが、果してそうまく行くか知らん、同協會は創立十周年とは云へ、一時中絶したりして大して良い成績を遺したでもなく、徒らに馬齢を加へたに過ぎぬと思ふ。自分は昨年十二月(?)久々振りでの公演をみて、俳優の未熟、上演作品選擇の下手糞さ、寧ろ出鱈目に驚いたのである。

心座は、歌舞伎の新人河原崎長十郎、市川團次郎、市川笑猿が同人で、演出は村山知義が受持つてゐる。四月下旬第九回公演として、ロシアのメイエルホリド演出で成功したエレンブルグ作「トラスト、D、E」を、ジャズ舞踊、幻燈、映畫等を取入れ舞臺装置は御立を立てるだけで、花道までも使つて華々しく演るんだそうだが、それが單なる奇抜、思ひつき等に終らなければ幸ひである。

左翼劇場は、俳優難、劇場難、經濟難だそうで、近頃ア、トルストイ作「ダントンの死」を演じ、三日間を通して滿員といふ經濟的成功を收めたそうだが、不幸にして見に行かなかつた。

一體自分は、左翼劇場には、見たい魅力を餘り強く感じないのである、自分一個の考へを言はせて貰ふならば、勿論劇は一般大衆を相手とする丈に何かの、衛生でも火災でも、共産主義でも、その宣傳には好都合には違ひない。だが宣傳劇であるのを知り乍ら見に行くことは、即ち意識して乗ぜられることは、自分には馬鹿らしいのだ——必ずしも「ダントンの死」が宣傳劇だといふのではない勿論自分だとて、現在の社會組織を完全とは思はない。大きな缺陷があるには相違ない。だからその社會組織の缺陥が問題となつて劇にも現れるのは當然すぎるほど當然である。然しそれがその問題のみが人生の總てではない。それは一部分の問題にしかすぎない。劇の根本は、人間を描き出すに始まつて、人間を描き終つて幕が下りる。人間と人間との睨ち魂と魂との葛藤を描くにある。之は最も古くして最も新しき問題であるのだ。少くとも自分一個はそう信じてゐる。

喜劇座は、長田秀雄、關口次郎、岩田豐雄氏らに依つて呱々の聲を擧げ、先日ピランデロ「御意に召すまま」森鷗外作「生田川」岸田國士作「可兒君の面會日」三篇を掲げて私演した許りである「御意に召すまま」で和服を使用したことと「可兒君の面會日」が一寸よかつたといふだけで、その存在はまだまだ未知數である。

(四)

結局問題として殘るのは、築地小劇場一個である。大正十三年六月客席定員四百名、建物敷地坪數二百七十坪、バラック建築築地小劇場は、銅鑼のけたたましい音と共に幕を上げた。第一回公演、チエホフ作「白鳥の歌」ゲエリング作「海戰」海戰は闘戰でもあるコムマアシヤリズムから一歩も出ない日本劇壇に擧げた闘戰の狼火である。さうみるのも無理ではあるまい。

築地小劇場の強味は、常設としての劇場を持つてゐるとにある。新劇團の惱みは劇場難の惱みを必然的に伴ふ。一寸した小舍を借りれば三日間で二千圓位の小舍代を取られるのである。バラック建、築地小劇場は、此れら群小新劇團にとつては便宜な存在であつた。

築地小劇場上演戯曲は、昭和四年四月現在にて、日本物二十七篇、飜案物九十篇、飜案一篇、合計百十八篇である。築地小劇場は昨年十二月小山内薫を失つた。今回又俳優丸山定夫、薄田研二、伊藤晃一、山本安英、高橋豐子、細川ちか子六名の脱退を見、續いて、友田恭助、田村秋子の夫妻を携へて脱退した。後に殘る良き俳優は汐見洋、東屋三郎、東山千榮子、村瀬幸子に過ぎない技術的に見て最も惜き脱退者は、友田恭助、山本安英の二名である。この兩人に、汐見洋を加へた三名が常に築地俳優の中心を爲してゐた。

然らば、この惜むべき分裂を生じた原因は何であるか?それは單なる感情問題に過ぎないのである。單なる感情問題から發生した悲劇を我々は此處にも見せられたのである。人間が個人としての感情の解が人類としての進歩に、如何に多大なる損害を與へてゐるか知れない。そんなことも今更に考へてもみるのである。

築地小劇場全體としての統率者小山内薫を失つたとき、又部の土方派、反土方派の感情問題が露骨に表れ始めたのが重なる原因だと自分は思ふ。尤もそれは、小山内氏在世中からも両派の小葛藤もあつたに違ひないのだが、大なる小山内氏の存在が、爆發しやうとする反感を、内に内にと押へてゐたに過ぎないのである。築地小劇場は、土方與志出資に依つて建設されたものである、又同時に土方氏は演出をも兼てゐたとしてみれば土方氏の意志が或ひは土方臭さが、何かにつけて表れるのは至極當然の筈であるこれが反土方派を作つた、いへば土方氏の金權に對する反感が醸されたとでも言ふのだらう。

高濱虚子氏歡迎俳句會

去る廿一日夕滿鐵社員倶樂部で開かれた高濱虚子氏歡迎俳句會は市内は勿論旅順、周水子、貔子窩、瓦房店等より集つた俳人七十餘名尚遠く安東、奉天方面からの投句も有つて近來稀に見る盛會であつた。兼題「日傘」席題「苺」通じて四句、互選の後虚子氏はその選句に就き一々感想を述べ十時近く散會した。當日の高點句及び虚子氏選句並に作句左の通り

八點句　朱城
繪日傘を疊めば搖るゝ耳環かな

六點句　三堂
砂山の一草叢や蛇苺　三味
城門を出てゝ風ある日傘かな
傾けし日傘に耳環光りけり　霞水

五點句　三堂
いさゝかの苺畑や幼稚園

四點句
わが舌に夏は來にけり初苺　默子
傾けて二階と語る日傘かな　北仙
繪日傘の水に映りて通りけり　三耕
繪日傘や葉がくれに行く乳母車　海月

三點句　夜城
磐石にのりたる徑や蛇苺　双松
繪日傘の街を見下ろすホテル　梅園

初苺摘んで佛へ供へけり　竹老
お針子の思ひ〳〵の日傘かな　日向人
重なりて石段下る日傘かな　蘇城
樹洩れ日のちら〳〵當る日傘哉　三耕
馬車の上に傾け合へる日傘かな　浪々
少し外れし蟻の道あり草苺　三福
繪日傘の河面にうつる渡舟かな　方山
木苺や倒れしまゝの道しるべ　紅石
繪日傘や從者連れたる支那婦人

虚子氏選句
日傘人濟はるかに立ち戻り　水光
大廣場支那貴婦人の日傘連れ　十三樓　天潮
敷石に花の落ちたる苺かな　幽靜
刑務所の中の畑の苺かな　鷗洲
日傘傾け合ひてよりにける　朗月
自働車の埃をあとの日傘かな　夜城
支那服を着て誰彼や日傘　三耕
馬車の上に傾け合へる日傘かな　幸叢
支那馬車に揺られかざせる日傘　紅石

虚子氏作句
繪日傘や從者連れたる支那婦人
たゞみたるまゝにかざせる日傘かな
話し來る一つ日傘に出つ入りつ
支那人の黒き日傘もうち交り
つぶしたる苺流るゝ乳の中

「鷄」……常木庄藏氏作

一昨日まで開催してゐた滿洲美術協會展に彫刻が二點出品してあつた、それは常木庄藏氏の鷄と習作でその内鷄は小品ではあるが氏が最も力を注いだ新しい表現の試みであることが窺はれる、即ち首を斜に左方に向けて何物かを注意してゐる姿勢を落徒とし頭部を實物よりも小さく足を大きくして剛性的な力を強調し更に線を出來る丈け單化して美の要素丈けを生かし藝術の本質に邁進したところに作者の苦心の跡が見える

裸蠟燭の影

砥上榮次郎

藤棚の下の木馬には、煙る様な銀絲の雨に、紫の雫が滴つてゐた。肩に擔ひだ蛇の目傘の柄をくるくる廻し乍ら、妻皮の高下駄で、落ちた櫻の花の地面に、幾遍も幾遍も、虹の櫂を架け換へてゐた英子は、ただ一人校門の傍の藤棚の蔭で、人待ち顔に佇立つてゐた。

階段の脇の職員室には、もう誰も居殘つては居なかつた。

廊下の出口に吊り下がつてゐる鐘が、伸銅の様に淋しく光つてゐる。小使は通りすがり遠くの方に居る英子にお辭儀しながら、澤山の藥罐を提て長い廊下を曲つて、行つてしまつた。

便所の横の壁には、松葉帯と履服がお行儀よく、四年生、五年生と書いた名札の所に並べてあつた。何處の廻轉窓も、カーテンも締つて、當番の生徒達も歸つてしまつたらしい。

放課後の氣味惡い程な靜けさ——ただ當直の先生であらう。ピアノを叩く音か、緩やかに音樂室の方から、ポプラの若葉を漏れて流れて來るのであつた。

英子は誰かしら——と考へて見た。そして浮かりこうして立ち盡して居た事が無駄事であつたのに氣付いた。

——三上先生は宿直だつたにと呟やく彼女は、何かしらほつと溜息を吐いた。今の今迄どう口を切つたものかと考へ厭んでゐた事で、急に氣抜けした様に蹌踉と躍りかけた。

何時も通る往還端の淫祠の前を通り抜ける時、暗がりの街角で裸蠟燭の火影に照して、怪しい繪を賣付けてゐた男の事を思ひ出して眞赤になつた。

宿に戻つた英子は、今日も彼に打明ける機會を失つた事を酷く氣にしてゐた。

彼女には是迄に眠られない夜が段々續いたのである。

股の間が粘い液でひどく汚れてゐる様な氣持もした。

でも猶股が汚れない様になり、月經が止まつて何ケ月になるかしらと、彼女が華奢な指を折つて見た時、人事でなく切端詰つてゐる自分である事を知つたのである。

其内に、其内にと思ひ乍ら今日迄もそうした事を明瞭言へないでゐる彼女は、自分の仕事が恐ろしくさへ思へたのである。

……先生が、先生が……妊娠……

そして教壇の上で、急に産氣づいて、月足らずた秘密の子でも生み落したならば……

肩を波打たし乍ら、鉛の様に鑑つて行く自分の顔色であらう事を思つて、堪い眩暈を覺えた。

やつと冷め切つた白湯を一杯注いで、一包の粉藥を飲み終ると、たまらない氣倦さに、袴も脱がないなりで辨當室を抛り出した儘、机の上に打伏してしまつた。

旅の饒舌

教專江南旅行團

(6) 南京の味

僕の豫想してゐた南京は、鐵骨の風景に添えてゐる青天白日旗であつた。そして如何に濃くその白日旗を縫どる深紅の色が燃えあがらうとも、南京は冷たい瞑想の街である、もし昨日までの僕が、南京に櫻と鶯との存在を聞かされようものなら、それこそ五十の婆アさんと破瓜の美少年とが惚あつて午後三時のニューヨークの眞ん中で抱合心中をした位の荒唐無稽な話でも聞かされたあと位の侮蔑的な哄笑を惜まなかつたに相違ない

それ程に僕の描いてゐた假想の南京は、革命的であり、動亂的であり、國民政府的であり、蔣介石的であつたのだ。

しかも何と現實の南京は甘い平和な味にあふれてゐることだ。

僕は幾度か

これが、

これが、

これが南京?……

そんな蠱惑的な言葉を繰返した。それは南京站に下りた時のあまりに緊張した敵愾の心が、氣の抜けるまでに打ち碎かれた南京の味の所爲である。パインアップルの味の所爲である。

× × ×

支那第一だと云ふこゝの城壁を見る爲の途中。左手の古鷄鳴寺に鶯の聲を聞いた。

× × ×

午後五時。江藴の春の陽がはるか彼方の大江の水をほの明るく照して黄昏れかゝつた清涼山頂である案内の支那親父が流暢な日本語で説く日支親善の言葉。

「支那人は皆教育がないです。それを宣傳でおだてるのが惡いです分らない者を宣傳でおだてゝ、つまらない排日を起させるのです。支那人は決して惡くない。上の者が惡いです」

物の分つた親父である。人のよささうな親父である。彼は口を極めて日本と支那とは永遠の信義を重ねなければならないと說く。僕は最もあり得べからざる所で、最もあり得べからざる容姿の人間からの言葉として、偉大なる興味と會心とを感じた。丁寧に辭儀をする事をお諭できたへてゐる親愛なる我等の堀越先生がこのかくれた偉大なる親日家に賛同する快い答辭が疲れた清涼山の夕の暮に開かれた。

× × ×

南京の第二日。

滸石新興の氣に燃ゆる街である總理の墓に走る馬車の伺と輕快な事だ。近く大祭をやると云ふ總理孫文の墓所は偉大である。三民を唱ふる事のおそかりしよと思つたのも僕一人ではないらしい。次に訪れた明の孝陵には總理の墓のモダーンな雄大さに對照する實にふさはしい骨董的な雄大さを感じた。それが如何にも近世に於ける一世の革命兒孫文と、明の太祖事時の大革命兒高祖皇帝とを象徴してる様な感じをそゝる。孝陵は盛んに改修されてゐた。そして境内には八重の櫻が亂れてゐた。「革命者なるが故に……」誰かゞセンチメンタルな叫びをあげる。だがきつと今頃、並んで葬られた二大革命兒は地下で堅い握手を交しながら、お互ひに支那に生れた事の幸福さを觀福しあつてゐるのではないかしら。

兩島に行幸の天皇陛下

海上御安らかに八丈島に御安着

光榮に手の舞ひ足の踏む處を知らぬ有樣の島民ら

【八丈島三根二十八日發】今朝濱須賀御出發の天皇陛下には氣象臺の天氣豫報不安なるため御途中を御案じ申上げたのであるが、天佑か東京灣を出でさせ給ふ頃から霧雨も次第に霽れ東南東の風少しく強く雲は低く波さまで高からず

陛下には 始終艦首に設けの御座に出でさせ時速三十餘節の快速力を以て航進する御召艦上より飛翔する近藤大尉操縱の海軍飛行機の飛行振り等を天覽あらせられ、海上極めて平穩に午後五時三十分八丈島八重根港に御入港安着あらせられた、八丈島は今朝來雨であつたが島民の至誠天に通じてか午後二時半頃より雨歇み雲こそ低けれ風も強からず、波のうねり少し高きも御召艦を迎ふるに差支へなく先着の警備艦五十鈴より二十一發の皇禮砲殷々たる中に御召艦は供奉の灘風、潮風、島風を從へ巨姿を現した

八丈富士 山麓より打揚げられたる花火が島民の歡喜の爆發とばかりに響き亘る、沿岸堵列の島民此の光榮に手の舞ひ足の踏むところを知らぬ有樣であつた

龍顏いと麗はしく八丈島を御巡幸

島節を御興深く聞し召さる

大島へ向はせ給ふ

【八丈島三根特電二十九日發】天皇陛下には二十九日午前九時二十分神港より御上陸、行幸の第一歩を印せさせられたこの日大雨に洗ひ清められた草木は彌が上に緑濃く神港から御道筋の要所に定められた奉拜所には光榮に感激する老幼男女の群早々から詰めかけ威儀を正してゐる、陛下には鈴木侍從長、奈良武官長、關屋次官、望月内相、宮田警視總監、平塚知事等の供奉員を從へさせられ畏くも

御徒歩に て進ませ給ひ、船着場より約二十分にして八丈富士山麓なる飛行場に成らせられたが、龍顏いよく麗しく拜されたが、それより三根女學校に行幸あらせられたが、沿道に於て九十歳以上の高齡者十二名が席の上に端座奉迎せるには大御心を止めさせ給ふた樣に拜された、斯くて同十一時二十分測候所御着、藤原博士の說明にて、各地の氣象圖やその他貴重な研究資料を御覽のうへ屋上展望臺に上らせられて八丈富士初め諸方の眺望に時刻を移させ給ふた、次で八丈支廳に行幸、正午勳六等以上の有勳者三名に謁を賜ひ、椿油、木油、黃八丈その他島の物產を御覽のうへ、御晝餐を聞こし召された、かくて陛下には輕快な

登山服に 御召換へあり、ステツキを御攜行遊ばされ極めて御輕裝で不動の瀧に御登攀遊ばされた、支廳より瀧まで半里、それから田圃道を經て急坂の山道を登らせ給ふこと十七町、途中眺臺に玉歩をとゞめさせ給ひ油繪の如く浮出した村々の景色や眼下に展ける洋々たる海原をあかず御覽遊ばされた、この日豫て支廳の計らひで附近の木立の間に配してゐた島節の名手三名がこゝを晴れと歌ひ續ける、ショメ節に陛下には暫し御耳を傾け給ひ御興深く聞し召された、瀧は三丈餘り昨日來の豪雨で水量加はり非常なる壯觀であつた

陛下には 一時間に亘り御觀賞、また微生物等を御採集になつて午後四時二十分船區士ケ濱に向はせられ、午後六時御乘艦同七時大島に向はせられた

大島警備の豫行演習

歌の練習

【大島元村廿八日發電】いよく三十日天皇陛下の行幸を仰ぐことゝなつた大島では午前八時から當日陛下御上陸第一候補地たる元村に警備員五百四名參集、其の日のまゝなる豫行をなし九時十分支廳發三原山より波浮小學校を經て四里餘の行幸巡路の警備豫習を行ひなほ此の日榮えある四名の大島節の歌手は三原山腹で、波浮小學生三十名は同校でそれぐ大島節ダンスの練習をなした

『那智』に御假泊

折柄風強く浪高きため

長門御移乘御取止め

【八丈島八重根特電二十八日發】天皇陛下には御豫定の如く八重根に御安着あらせられたが、折柄風強く浪高きため長門へ御移乘の儀は御取り止めとなり其儘那智に御假泊遊ばされた、供奉の望月内相等も浪に遮られ八重根港を目の前にしつゝ上陸を見合せた

最初の海軍機天覽飛行

【橫須賀二十八日發電】御召艦那智は正午館山沖から全速力で行進をはじめた、それと同時に同艦に搭載されてゐた最新式艦上機は近藤大尉操縱し日本海軍航空界に於ける最初の天覽飛行をなし親く天覽に供し奉つた

鶴のおめでた

電園で二度のお產

電氣遊園の鶴が卵を生みましたコブシ大の卵三つを二羽の親鶴が交代で溫めてゐるのはホントに可愛らしく又親らしい情愛をひしと感じます、どうかこの珍しい卵が無事に雛になるやう育てゝ貰ひたいと思ひます。こんなやさしい投書が本社に來ました、行つて見ると成程一時間交代と云つた具合で卵を二羽の親鶴が溫め合つてゐます、寫眞を向けると親鶴は卵をかばひ乍ら鳴き廻る、電園の鶴はこんどで二度の御產、去年は卵を七面鳥に抱かせたら腐つてしまつたと云ふので、今年は親鶴に抱かせてゐます、雛になるのはさて何時ごろでせうか。

わが學生選手團張學良氏を訪ふ

シャンパンの杯を擧げ健康を祝す

和氣張氏邸に漲る

【奉天特電二十八日發】旅順工大庭球部主將兵頭君外奉天醫大、教專、大連工專の各學校運動選手廿五名は滿鐵岡部、長澤、工大教授茂木三氏に引率され廿八日午後二時張學良氏をその私宅に訪ねた

一行は 王家楨及陝、杜の三秘書の出迎へを受け特別室に入り小憩後、張學良氏現はるゝや岡部氏が遠征團を代表し來意を述べると、張氏は王秘書の通譯で「本日日本の學生諸君に會ふことは非常に愉快である、日支兩國の關係は其の人種、文化及び言語に於て離るべからざる關係にある、そしてこの關係を果す責任の地位にあるものは兩國の青年諸君をおいて他に無い、青年は無　氣でその精神まつたく清淨無垢にして、政略的又は國際的關係に於ても何等の野心も惡心も持つて居らぬ、だから兩國の青年は互に會合し知り合ひになると云ふことは何よりも先づ必要なことである、今兩國の間にはかなりの

誤解が ある、而もその誤解たるものは主として言語の不通の爲め會合の機會少なく互に知り合にならない爲に生ずるものである、故に學生諸君は出來る限りお互ひに會談の機會を作り相接觸するやうにすればその間に意思の疏通をはかりうべく、かくて相共に東亞の興隆の爲め努力されんこと切望に堪へぬ」と語り、次いで岡部氏より昨年東方大學學生團の東渡役として日本におもむける際に日支學生の心からなる親善の事實を述べ、日本側からも奉天の東北、馮庸の兩大學は勿論遠く平津各地の大學チームとも運動競技を仲立として

貴說の 實現をはかりたいと述ぶるや「それは吾等の歡迎措かざるところだ」と答へ、シャンパンの杯を擧げ一同の健康を祝し頗る上機嫌で「諸君は餘り飮むとスポーツマンの資格に影響する」等の冗談を云ひ和氣靄々の光景を呈した、こゝに於て學生は張學良氏の萬歲を三唱し張氏又之に答へ會見四十分餘にして辭去した因に吾學生團は同日夜六時からヤマトホテルに支那側の東北、馮庸二大學及同澤中學の學生代表廿二名外陪賓に支那側劉東北大學副校長首め各學校々長、日本側稻葉醫大學長外數名を招き日支學生の懇談會を催す筈

全滿洲バレーボール選手權大會組合せ

來月二日彌生高女コートに於て開催される全滿洲バレーボール選手權大會組合せは抽籤の結果左の通り決定した

午前九時（兩コート同時に開始）
組　彌生高女對神明高女
組　神明高女對彌生高女A
午前十時（男子）
大醫對商業　大連商業豫備戰
二對大工　決勝一
會年青對者勝豫備戰
女子決勝戰
男子決勝戰

感動と滿足を聽衆に與ふ

諧謔を交へ興味深く

橘氏講演會第一夜の盛況

立花高四郎のペンネームで映畫評論家として名聲のある警視廳檢閱係長橘高廣氏を迎へた本社主催の一般ファンのための映畫講演會は、既報の如く廿八日午後七時半から大連滿鐵社員俱樂部第二食堂に於て開催された、講演に先立て情報課撮影のニュースリール「多くのハルビン」二卷を封切公開し、次いで臼井本社總務部長の開會の辭があつて橘氏の講演に移つたが、聽衆は殆ど大連に於ける映畫人及び高級ファンを網羅し終始熱心に傾聽したが、橘氏は映畫の見方と題して約一時間半に亘り氏一流の諧謔を交へて頗る興味深い講演をなし聽衆に感動と滿足を與へた、講演後更に情報課のニュースリール「滿洲を拓くもの」二卷を封切し十時頃第一夜の講演を終つた

演習中に七名死傷

火藥爆發して

【靜岡廿七日發電】名古屋第三師團管下豐橋工兵第三大隊三中隊高崎大尉が二十八日午前七時兵卒五十餘名を指揮して練兵場にて築城突擊演習中に、突然數個の火藥爆發して下士卒七名の死傷者を出し加藤上等兵、菅沼曹長の二名は即死し五名は危篤である、急報に依り豐橋憲兵隊は現場に驅け付け應急手當中

英艦長に盆栽

石本市長贈る

目下入港碇泊中の英國支那艦隊カーバーランド號艦長に對し石本大連市長より二十八日盆栽三鉢を贈呈した

街路上で大怪我二人

何か爆發して

廿八日午後三時半頃小崗子永樂街一番地土屋鐵工所前に於いて榮町滿鐵宿舍三五雷世榮（三）が路上で拾つたパイプ樣の物を何氣なく針金でつゝき廻して居た處一大爆音と共に破裂し雷は左手の小指を殘した儘四本の指をもぎ取られ血塗れとなり打倒れ、傍に居た王陽街鄭廣順（二四）は破片の爲め脚部に治療一ケ月の傷を受け人事不省となつた、附近の人は直に兩名を博愛病院に擔ぎ込んだが小崗子署では直に該爆發物を調べたるも附近に破片もなく確な事は判らないが雷管ではないかと言つてゐる

奉票暴落の餘波

邦商美豐號に及ぶ

店主の嚴談に押收帳薄は返還

官憲檢擧續行を揚言

【奉天特電二十九日發】既報の如く支那官憲では奉票暴落阻止の窮策として廿九日朝一齊に奉天城内支那錢鈔の帳簿檢查を行ひ義和永では宗期賣買を行つた形跡ありと稱して帳簿を押收し番頭三名を檢束したが、千代田通り邦商田中次郎氏經營の美豐號小西門外支店も帳簿押收の厄に遭つたので田中氏は支那警察に出頭しその非を詰つた結果、投機を行つた形跡なきこと判明、帳簿を返還したが、支那當局では更に憲兵隊を動かし第二次の檢擧を敢行すると當業者を威嚇してゐる

女ゆゑに罪を

犯した男の公判三つ

元滿鐵職工金井久藏（三〇）は昨年十二月初め逢坂町橘樓に登樓し酌婦榮吉こと勝部ハマを敵娼に一夜の甘夢を結んだのが緣となり末は夫婦と言交したが、女には既に他の男と夫婦約束があり義理と愛慾の板挾みとなつた女は去四月九日金井に對して「死んで吳れ」と心中を持ちかけた、さうして二人は翌十日旅順に赴き同日午後一時ごろ司臺三番地の松林內で女から「貴方を先に……」と所持せる海軍ナイフで男の咽喉を突き刺し、さらに男が苦悶のうちにナイフを取つて女の胸部と腹部に刺通して絕命させた、しかし男はその時もう自分の生命を絕つだけの勇氣なく其場で苦悶してゐるを發見救助されたといふ自殺幇助事件の被告は素直に事實を認めたが、最後に判官から女が悶死せる現狀の寫眞を見せられて「濟まなかつた」と男泣きに泣き崩れた、かくて立會の池內檢察官は懲役七ケ月を求刑判決言渡しは來る六月四日

◇

昭和の鼠小僧を氣取つて貧乏人を助けやうと盜みを働いたがその金は全部遊女に入れ揚げ、前後八回に亘る窃盜が暴れて今は裁きの廷に立つ青年——市内愛宕町二十八番地菊地德次郎方久我三平（三）に係る窃盜罪は、長島判官の審理を終へ池內檢察官は被告に懲役七ケ月を求刑、大内辯護人の執行猶豫の辯論あつて閉廷、判決言渡しは六月四日

◇

夕刊一部所報、莫連女の手管にかゝつて滿鐵小學基金一萬餘圓を橫領した元滿鐵學務課勤務松田利甫（二九）——夕刊中松田利甫は誤り——及び逢坂町末廣樓娼妓竹千代こと植木タカ（二五）に係る證據湮滅並に贓物罪の公判は二十七日午前中に事實審理を終へ、同午後三時長島判官から松田利甫に對し懲役一ケ年、竹千代に懲役七ケ月罰金五十圓の判決言渡しがあつた

客を裝うた北崗子の强盜

小崗子署に逮捕さる

二十八日午後九時五十五分北崗子十五番地一六六雜貨商劉兆臣（五〇）方に相當の身裝をした一名の支那人が訪れ米を買ふ振をして突然拳銃にて主人を脅迫し小洋百圓を强奪逃走したが、屆出に依り小崗子署にては直に手配し被害者が何處かで見た事のある男だと云ふので必ず附近に住む者と目星を着け探索中二十九日午前十一時五十五分妾の兄 榮町二丁目四ノ一四李連辛方に潛伏中を逮捕した、此奴は金州管内西門外前科一犯陳玉江（三）と云ひ拳銃は黑く塗つたブリキ製の玩具で北崗子海岸に遺棄してあつた物を用ひたもので目下餘罪取調中だが近來この種の玩具のピストルを持つて强盜を働く者が殖え當局も手古摺つてゐる

金二萬圓

計算中紛失

奉天に於て

【奉天特電二十八日發】奉天宮島町三番地綏鈔藥興順長では二十八日奉天取引所の受渡し日に當るので所用金票三十二萬六千圓を受取るべく、同日朝十一時店員四名を派して千代田通東三省官銀號支店に派し前記金額を受取り計算中、内一萬圓を紛失せるに大騷ぎとなり奉天警察より司法刑事出張取調べ中であるが今尚不明である、同時刻に金票八萬圓を受取つた城內の一支那人に嫌疑が懸つたが、取調べの結果さうではなかつた

紛失品の辨償

滿鐵々道部新制

滿鐵々道部では從來物品の紛失に關して一般社員が甚だしく輕視する弊がありとし今回之が矯正の爲め鐵道物品辨償規定を制定責任者に辨償せしむることゝし十月一日から施行に決した

多々羅氏畫展

東京太平洋畫會教授多々羅義雄氏は一昨年來連展覽會を開催多大の好評を博したが、本年は哈爾賓地方に於て材料を蒐集すべく日本水彩畫會々員間所一郎氏と共に最近來連來る廿九、三十の兩日滿鐵社員俱樂部に於て展覽會を開催する

海中に墜ち死す

廿八日午後三時ごろ魚船一濤丸が嶺口より西北五十哩の地點に於て漁業中乘組員吳作松（二十）がふざけて鮮人林某（廿三）を海に落す眞似をしたところ誤つて兩人もんどりうつて海中に墜ち、吳は直ちに救助されたが林某は生死不明

本社懸賞當選小説

人生の曲藝（145）

瀬野皓太作　浅枝次朗畫

ホテル、オブ、ミラクルス（三）

朱の不安は女の言葉のそとで渦まいてゐるかの樣だつた。無論女は、しつこく强請まないわけには行かなかつた。

「このまゝ歸つて了ふつてわけじやないわね」

「うん」朱は漸く返事をした。「そとは、天氣かな」

女は、つと立ち上つて窓のブラインドを引いた。

哈爾賓の星空は冴えてゐる。

「えゝ、明日は幸ひ、天氣らしいわ」

女は滿足らしい顏つきで答へた。

「明日が天氣なら、お前は朝、起きかけに公立病院に行つて見るんだ。あの日本婦人の容體を聞きにね」

今宵だけは女の心には、今晩の勘算用を忘れてゞもゐるかの樣に欣ばしさうに答へた。

「あなたのお頼みがなくたつてさ、あの方は妾の友達なんだからね。だけど」

女は、ふとそのまゝ言葉を切つて眼を閉ぢた。

――不吉な黒い影。

と、同時に、朱の胸にも冷たい惡感がせまつて來るかの樣だつた。二人は不氣味な沈默をつゞけてゐる。

置時計は午前二時を少しばかりすぎてゐるばかりだつた。

「さあ、寢ようよ」

女は朱をうながした。

部屋の電燈が消されても二人は容易には寢つかれなかつた。朱の現つた夢はまるで萬華鏡の樣に錯綜してゐた。

考へて見れば、この朝の突然な事件までは、澤山百合子は兎も角も彼の傀儡であつた。殆ど彼の計畫の通りに凡ては運びつゝあつたのだ、とさう彼は考へてゐる。

が、たゞ一つ朱の心に消さうとしても消し難い疑念が殘つてゐるのに氣づいたのだ。

と言ふのは、いつぞや、雪の降る朝、偶然にも新橋の驛で彼女に出會つた時の、あの不思議な情景の事である。

何の爲にあの女は、旅裝のまゝあの人ごみの中で泣き續けてゐたのであらうか。

「あなたの心に映つる澤山の顏を憶ひ出して御覧なさい。その中に今私を泣かした人がゐる筈ですよ」

さう言つて嘲弄した百合子の憎々しげな顏。

そして、いくら考へても彼には解けなかつた謎。

この事を考へ出すと、朱は今宵も無性にそれにこだわつて了ふのであつた。

「あの女の戀人？」

朱は又もその事を考へて見た。

が、百合子の激しい生活の中にそして彼の絶え間ない監視の中に彼に知らせないで愛人を作る事などは思ひも寄らないのに。

ふと、そんな事も、朱はその女に話して見た。

「だからね、俺にはあの女の戀人も必要なのだ。何げなく聞いて見るんだよ」

女はうなづいた樣だつた。

「で、あんたは一體、あの人にとつては何なの。あの人の情人なのかい」

女は暫くしてからさう訊ねた。

「うむ。仇同志さ。それでゐて味方同志なのさ。ふん、まあ情人と言つたつて好いかも知れないなあ」

男はさう言つて淋しさうに笑つた。

「さう言ふ情人もあるにはあるのよ。世の中つて、さう當り前の事ばかりではないからね」

女はしみじみとさう言つた。

男は大きな、あくびを一つしながらつぶやいた。

「あしたは、上天氣か。もう一度、俺も綱渡りだ」

いつのまにやら、二人は眠つて了つてゐた。

滿日文藝

滿日俳壇

○　撫順　大野審雨

畑打つ人ちらほらと見えそめし
畑打や打ち寄りて又打ち別れ
ひたすらに荒畑を打つ男かな
或一人畑打ちやめて道に出づ
畑打や土いぢりして遊ぶ子と
畑打や家も見えざるこのあたり

○　大連　阿部天潮

畑打や白塔仰ぐ夕からす
畑打てる先生呼べる生徒かな
山畑にまだ畑打の一人かな
街道へ來て畑打の返しけり
畑打や夕靄立ちし裸山

○　哈爾賓　山崎星童

畑打にひねもす燻る芥かな
鮮かに崖の地層や畑打つ
畑打や四方の靄なる湖ほとり
模湖として興安嶺や畑打
古町や塀の内なる畑打

○　大連　高木春藹

日は闌けて畑打つ鍬の重さかな
ほろ／＼と乾き加減や畑返す
打ちおろす鍬に眞土の匂ひかな

○　新民府　石原冷花

正午の汽車通る頃なり畑打つ
畑打てあるたけの花の種蒔かん

○　哈爾賓　玉川靜波

段々に打つ畑白く乾きけり

○　旅順　柳月

畑打つて草花まける一と日かな

滿日俳壇募集規定

次回課題「短夜」「衣更」「蝙蝠」▲各題別紙▲句數無制限▲用紙半紙▲締切十月六日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八一島田青峰宛

新刊紹介

▲思想と生活（五月號）京城府黄金町二丁目一九三朝鮮貴族會館構内皇室中心社（定價廿五錢）
▲女人藝術（六月號）東京市牛込區左内町三一女人藝術社（定價四十錢）
▲實業之世界（六月號）東京市芝區愛宕町三ノ二實業之世界社（定價三十錢）
▲農業世界（五月號）東京市日本橋區本石町三丁目博文館（定價六十錢）
▲文學時代（六月號）東京牛込區矢來町新潮社（三十錢）
▲無盡通信（五月號）東京市京橋區新富町七丁目六番地全國無盡集會所（定價六十錢）
▲海外經濟事情（週刊）東京市京橋區築地三丁目十五番地中尾印刷所（二十五錢）
▲日本魂（六月號）東京市京橋區櫻橋南側日本魂社（定價卅五錢）
▲植民（六月號）模範大陸發展號東京市麹町區下六番町五十番地日本植民通信社（定價五十錢）
▲改造（六月號）東京市芝區愛宕下町四ノ六改造社（定價五十錢）

滿洲日報新聞工場用　電話二一三一四番

大阪商船出帆

●門司神戸（大阪行）午前十時出帆
はるびん丸　六月一日
うらる丸　六月四日
●上海福州基隆高雄行後三時出帆
香港丸　六月七日
ばいかる丸　六月十日
●長沙丸　六月五日
福建丸　六月十六日
盛京丸　六月廿六日
●朝鮮經由長崎鹿兒島行
關東丸　六月十二日
●北米シヤトル、タコマ行（上海神戸四日市横濱經由）
ありぞな丸　六月八日
●紐育行（神戸四日市横濱經由）船客お斷り
はばな丸　七月十七日
●歐洲行（上海香港新嘉坡經由）船客お斷り
あんです丸　五月三十日
●天津行
武昌丸　六月一日前十一時
貴州丸　六月八日後五時
河南丸　六月十五日正午
●横濱直行（後三時出帆）
河南丸　五月卅日
武昌丸　六月七日
貴州丸　六月十四日

大阪商船株式會社大連支店　電話四一三七番

專屬船客案内所　滿洲旅館協會信濃町遼東ホテル内　電四一三一番
乘船切符發賣所　大連市伊勢町ジヤパンツーリストビユーロー大連案内所　電五五四番
專屬荷客扱店（大連市山縣通）國際運輸株式會社大連支店　電話三二五一番
大山通り列車發賣所　電七〇三四番
沙河口切符發賣所　東洋行内　電話九五〇六番
二ホーム荷扱所　電話四八〇二番

大連汽船出帆

●青島、上海行
天津丸　六月一日前十一時
大連丸　六月四日前十一時
奉天丸　六月七日前十一時
●天津行
長平丸　五月卅日前十一時
天潮丸　六月二日前十一時
濟通丸　六月四日前十一時
●登州府、龍口行
龍平丸　六月一日後六時
●安東行
濟通丸　五月卅一日後六時
●香港廣東行
興順丸　五月卅一日
英順丸　六月五日

大連汽船株式會社　電話番號代表四一八五番

專屬荷扱店（大連市敷島町）永和公司　電話七二七五・七八六八番

社船大連出帆

●鹿兒島三角行
廣發丸　六月一日
●日本海行
春丸　六月十五日
●龍口行
南都丸　五月　日

大連市山縣通二二九　栃木商事株式會社大連出張所　電話七四一八番

島谷汽船大連出帆

●南鮮裏日本各港函館小樽行
鮮海丸　五月卅一日
大成丸　六月廿七日
●寄港地　鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、萩、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽
●南鮮裏日本北海道樺太行
長成丸　六月十五日
●寄港地　鎭南浦、仁川、釜山、舞鶴、敦賀、伏木、新潟、函館、小樽、大泊
●各等客室設備あり

島谷汽船株式會社大連出張所　大連市山縣通一五三　電長四七一一・三四八二一・六二三

代理店　大三商會

高橋汽船大連出帆

大連芝罘間定期船
●芝罘行
海壽丸　五月卅日午後六時

代理店　大連加賀町三〇　鹿玉軒記　電六一一七・三八五一

政記輪船出帆

廣利號　五月廿九日威海行
得利號　五月廿九日芝罘行
永利號　五月廿九日芝罘行
有利號　五月卅日龍口行
全利號　五月卅一日通州行
同利號　五月卅一日芝罘行
恒安號　五月卅一日芝罘行
乾利號　六月二日廣東行

政記輪船股份有限公司　電話四一四一番

日清汽船大連出帆

●青島、上海行午前九時出帆
華山丸　五月卅一日
唐山丸　六月八日

代理店　大阪商船株式會社大連支店　電話四一三七番
專屬荷客扱店（大連市山縣通）國際運輸株式會社　電話三二五一番

阿波共同汽船

●芝罘、威海衛、青島行
第十六共同丸　五月卅一日後七時
●芝罘、威海衛、青島行
第廿一共同丸　六月三日後七時
●芝罘、威海衛、仁川行
第廿六共同丸　六月六日後七時
●乘二浦行
長山丸　六月三日
●鎭南浦行
長山丸　六月八日

滿鐵とは貨物連絡取扱致候
大連市山縣通二〇〇番地　阿波國共同汽船會社大連支店　電長六八九一・五〇〇一番

日本郵船出帆

●歐洲行
松本丸　五月卅日漢堡行
豐橋丸　六月十九日漢堡行
敦賀丸　七月廿五日漢堡行
だかあ丸　六月六日李浦行
だあばん丸　七月二日李浦行

近海郵船大連出帆

●長崎、神戸、大阪、横濱行
玄武丸　五月卅日
勝浦丸　六月廿一日
●横濱行
相模丸　六月八日
淡路丸　六月十四日
玄武丸　六月廿九日
●天津、牛莊行
相模丸　五月卅一日
淡路丸　六月六日
勝浦丸　六月十三日
玄武丸　六月廿一日
●基隆、高雄行
第二蓬萊丸　六月六日

朝鮮郵船大連出帆

●青島、仁川行
會寧丸　六月八日
●仁川、長崎、鹿兒島行
羅南丸　六月一日

朝鮮鐵道各主要驛及本社各寄港地貨物受證發行
右汽船出帆日時は天候其他の關係により變更する事有之候
水路圖誌（海圖）販賣所
朝鮮郵船株式會社大連代理店
近海郵船株式會社大連代理店
日本郵船株式會社大連出張所　大連市山縣通電話三七三九・七八四六番
專屬客荷取扱店　監部通（吾妻橋）丸二商會　電話四二四六・五八八八番